

管 理 番 号

DB11 - 04 - 02 -



接続条件設計書

加盟店ショッピング業務・基本接続編

第4.2版

令和7年4月

株式会社NTTデータ

(Blank Page)

修正履歴		資料名	CAFI S 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編			
項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月	
1	<p>【制定】</p> <p>ICカード取引の追加に伴い、加盟店ショッピング業務の接続条件設計書体系変更を行なうことによる新規制定。本条件書は、加盟店ショッピング業務に必要な基本的な電文フォーマットを規定した条件書です。</p> <p>以下に、ICカード対応により追加となった内容について概要を示します。</p> <p>【第2章 機能仕様】</p> <p>① 売上業務を3種類に分類(表 2.1-1)</p> <p>② アドバイス業務の追加(表 2.1-2)</p> <p>【第3章 接続条件】</p> <p>3.1.3 電文構成に売上業務の分類方法記載 電文構成表に売上業務(3種類)、アドバイスの追加</p> <p>3.1.4 電文様式(変更項目)</p> <p>表 3.1-18(データ部 1-0)</p> <p>・項番9 追加データ部表示</p> <p>表 3.1-19(データ部 1-1)</p> <p>・項番 2 カード区分</p> <p>表 3.1-22(データ部 1-4)</p> <p>・項番 2 取扱区分コード</p> <p>表 3.1-43(データ部 9-n) 新規追加</p> <p>表 3.1-45(データ部 9-6-1) 新規追加</p> <p>表 3.1-46(データ部 9-7-1) 新規追加</p> <p>表 3.1-47(データ部 9-7-3) 新規追加</p> <p>表 3.1-48(データ部 9-7-4) 新規追加</p> <p>3.1.5 電文内容の推移 電文内容の推移表に売上業務(3種類)、アドバイスの追加</p> <p>3.3.5 拡張データ部の取扱 追加</p> <p>3.3.6 アドバイス要求電文中継制御 追加</p> <p>3.4 チェック仕様 の追加</p>				平成13年8月 (第1版)	
2	誤記修正／記述内容充実／仕様改善				平成14年2月 (第 1.1 版)	
	表 3.1-8、表 3.1-9、表 3.1-10 異常報告(8970)を追加	記述もれ	3-10 3-11 3-12	3-10 3-11 3-12		
	表 3.1-9 (注) IC 売上処理 → IC売上結果通知処理 に修正 データ部1-1・電文送信区分=4 → データ部1-0・電文送信区分=4 に修正	誤記	3-11	3-11		
	表 3.1-13 電文構成表(その他業務:アドバイス) 表中の不要の行を削除	誤記	3-15	3-15		
	表 3.1-14 電文構成表(その他業務:取引カウンタ精査) データ部 9-n のデータ長を max302 から max224 に修正	誤記	3-16	3-16		
	表 3.1-28 項番 4,5 ・「入力省略された場合はセットしない」を追加	記述内容 充実	3-33	3-33		
	表 3.1-29 項番 4～7 ・「入力省略された場合はセットしない」を追加	記述内容 充実	3-34	3-34		
	表 3.1-36 項番 8,9 ・「入力省略された場合はセットしない」を追加	記述内容 充実	3-41	3-41		
	表 3.1-37 項番 8～11 ・「入力省略された場合はセットしない」を追加	記述内容 充実	3-42	3-42		
	図 3.1-31、表 3.1-46 IC対応端末フラグ(1桁)の追加および予備1の桁数変更。 (表 3.1-46 項番 12 に「IC 対応端末フラグ」を追加したこと に伴い、予備 1 の桁数を 10 桁から 9 桁へ変更するとともに、以降 項番を繰り下げ)	項目追加	3-50 3-51	3-50 3-51		

修正履歴

資料名

CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編

項番	修正内容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
	図 3.1-31 端末処理時間 : 桁数8→桁数6に修正	誤記	3-50	3-50	
	表 3.1-46 項番2 AID : () の記述を変更 (Tag:4F)→(端末が最終的に選択した AID)	記述改善	3-50	3-50	
	表 3.1-47 項番2 AID : () の記述を変更 (Tag:4F)→(端末が最終的に選択した AID)	記述改善	3-53	3-53	
	表 3.1-47 ② 項番 20 処理年月日:加盟店センタ→端末に変更	誤記	3-53	3-53	
	表 3.1-48 項番2 AID : () の記述を変更 (Tag:4F)→(端末が最終的に選択した AID)	記述改善	3-55	3-55	
	表 3.2-3 一般要求電文処理の電文推移2(IC 売上結果通知) データ部 1-0 の承認番号の欄を変更。 (IC 売上結果通知の承認番号は、IC オンラインオーソリ売上承認番号が付与されている場合には、仕向センタで設定する記述を追加)	仕様改善	3-65	3-65	
	表 3.2-4 一般要求電文処理の電文推移3 データ部9-7-1に「IC対応端末フラグ」の追加	項目追加	3-66 3-63 3-64	3-66 3-63 3-64	
	表 3.2-4 一般要求電文処理の電文推移3 (注2)の内容を追加し、従来の(注2)を(注3)に変更	記述もれ	3-66	3-66	
3	ICクレジット本格開始に伴う全取扱アプリケーションへの対応に伴う 様式変更 <CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編(付録)>	様式変更	付録 全頁 差替		平成14年6月 (第 1.2 版)
4	データ項目の初期値を追記 ・表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明(1/2) 下記項目に初期値:スペースを追記 項番2 AID 項番10 PANシーケンスナンバー 項番11 レスポンスコード	記述改善	3-50	3-50	平成15年3月 (第 1.3 版)
	データ項目の内容の記述を充実 ・表 3.1-47 データ部 9-7-3 項目説明(2/2) 項番 17 承認番号の内容を変更 (旧)オンラインとして取扱われた場合、報告電文より設定 (新)オンライン許可として取扱われた場合で、仕向センタが設定 可能な場合に設定	記述改善	3-53	3-53	
	電文内容の推移に異常報告の場合の記述を追加 ・表 3.2-1 電文推移一覧表 に項番 12,13 を追加 ・表 3.2-13 一般要求電文処理の電文推移(異常報告)を追加 ・表 3.2-14 障害電文処理の電文推移(異常報告)を追加	記述内容 充実	3-62 3-79 3-80	3-62	
	CAFIS が保有するカウンタから「提携カウンタ代行サービス」用カウンタを削除(サービス提供取りやめ) 表 3.3-3 CAFIS が保有するカウンタの項番2を削除	記述削除	3-82	3-82	
	3.3.6 アドバイス要求電文中継制御のパターン図の記述改善 加盟店センタからの障害電文の報告にエラーコード(C35)を記載 ・図 3.3-8 仕向センタ送信異常 ・図 3.3-9 仕向センタタイムアウト1 ・図 3.3-11 仕向センタからの取消(再)指令	記述改善	3-93 3-94 3-95	3-93 3-94 3-95	
	加盟店ショッピング業務に「3-D Secure 用データ部」の追加 拡張データ部 9-1-2 の追加に伴う条件書の修正 ①表 3.1-7 電文構成表にデータ部 9-1-2 の追加 (与信業務, 売上業務-MS売上処理時) ②電文内容にデータ部 9-1-2 の追加 (図 3.1-36 表 3.1-51 の追加) ③電文内容の推移にデータ部9-1-2の追加 (表 3.2-2 一般要求電文処理の電文推移1) ④表 3.3-6 拡張データ部一覧にデータ部 9-1-2 の追加	3-D Secure 対応	3-9 3-10 3-20 3-59 3-63 3-86	3-9 3-10 3-20 3-59 3-63 3-86	

修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編			
項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月	
6	表 3.2-13 下の（注1）を訂正 正 （注1）エラーコードにC12, C13,C14, C50, C33をセットする場合は以下の内容をセット 誤 （注1）エラーコードにC12, C13,C14, <u>C15</u> , C33をセットする場合は以下の内容をセット	記述誤り	3-79	3-79	平成15年9月 （第 1.4 版）	
7	表 3.1-43 （データ部 9-n） 項番19 内容欄を訂正 項番4～20と同じ→項番4～18と同じ	誤記	3-47	3-47	平成18年9月 （第 1.5 版）	
8	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明(1/2) 内容欄を修正 項番14→項番15	誤記	3-50	3-50		
9	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明(2/2) 内容欄を修正 項番18→項番19	誤記	3-51	3-51		
10	図 3.1-32 データ部 9-7-3 フォーマット ブランド識別:桁数1→桁数2に修正	誤記	3-53	3-53		
11	図 3.1-33 データ部 9-7-4 フォーマット ブランド識別:桁数3→桁数2に修正 POS エントリーモード:桁数1→桁数3に修正	誤記	3-55	3-55		
12	データ部 9-7-2 項目説明 内容欄に追記 ・CAVV アルゴリズムに 0:HMAC 1:CVV 2:CVW with ATN を追記	記 述 内 容 充 実	3-59	3-59		
13	奥付けの修正変更 作成責任者: ビジネス開発事業本部→決済ソリューション事業本部	様式変更				
14	センタ識別番号、X2の設定可能範囲を 1～9, A～F → 1～9, A～Z	CAFIS 処 理 通番拡張による仕様変更	3-21	3-21	平成 21 年 1 月 （第 2.0 版）	
15	取消指令の電文種別コード 9810 → 8910 に修正	誤記	3-9	3-9		
16	表 3.2-10 取消確認(再)処理の電文推移 内容欄を修正 マスタ電文種別 (CAFISセンタ→仕向センタ)の欄 (旧) * (新) 対象要求電文の電文種別をセット	誤記	3-68	3-68		
17	表 3.1-31 データ部 2-3(パターン 2)項目説明 内容欄を修正 初回金額→分割金額に修正	誤記	3-36	3-36		
18	表 3.2-11 取消(再)処理の電文推移(CAFISセンタ発)の(注1)の内容を修正 (旧) 取消指令の場合は仕向経路番号をセット… (新) 取消指令の場合は被仕向経路番号をセット…	誤記	3-79	3-70		
19	業務判定について PAN 入力モード‘07’を追加し、記述内容を変更	非接触カード による取り扱い 対応	3-8	3-8	平成 22 年 6 月 （第 2.1 版）	
20	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 PAN 入力モードについて内容欄を修正 (旧) ‘05’:IC チップ読込 ‘90’:MS 読込 ‘95’:フォールバック (新) ‘05’:接触 IC チップ読込 ‘07’:非接触ICチップ読込 ‘90’:MS 読込(接触) ‘91’:MS 読込(非被接触) ‘95’:フォールバック		3-50	3-50		
21	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 IC 対応端末フラグについて内容欄を修正 (旧) ‘0’:IC カードアプリケーション未対応または未稼働端末(初期値) ‘1’:IC カードアプリケーション稼働端末 (新) ‘0’:初期値(設定不可)または接触 MS 専用端末 ‘1’:非接触を含む IC 対応端末 (MS+IC) 端末 ‘2’:非接触 IC 端末(EMV 仕様)※ ‘3’:非接触 IC 端末(Felica 仕様)※ ‘4’:非接触 MS 相当端末※					
22	表 3.4-2 IC 関連データチェック内容について修正 PAN 入力モードに‘07’を追加		3-89	3-89		

修正履歴

資料名

CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編

項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
23	3.1.4 電 文 様 式 表 3.1-19 データ部 1-1 項目説明 項番 4 暗証番号 [修正前] ・ 入 力 さ れ た 暗 証 番 号 [修正後] ・ 入力された暗証番号（一般要求電文時） ・ 入力された暗証番号と異なる値(ALL0 など) (障害電文時)	セキュリティ強化に伴うCAFIS仕様変更	3-25	3-25	平成 23 年 2 月 (第 2.2 版)
24	3.1.4 電文様式 表 3.1-40 データ部 2-10 項目説明 項番 3 暗証番号 [修正前] ・入力された暗証番号 [修正後] ・ 入力された暗証番号(一般要求電文時) ・ 入力された暗証番号と異なる値(ALL0 など) (障害電文時)		3-44	3-44	
25	3.1.4 電文様式 表 3.1-45 データ部 9-6-1 項目説明 項番 4 セキュリティコード [修正前] ・「項番2端末入力可否=1(可)」かつ「項番3店員入力可否=1(可)」の場合 入力されたセキュリティコード(右詰残り先頭0) ・上記以外の場合 ALL スペース [修正後] ・「項番2端末入力可否=1(可)」かつ「項番3店員入力可否=1(可)」の場合 入力されたセキュリティコード(右詰残り先頭0) (一般要求電文時) 入力されたセキュリティコードと異なる値(ALL0 など) (障害電文時) ・上記以外の場合 ALL スペース		3-49	3-49	
26	3.2 電 文 内 容 の 推 移 表 3.2-9 取消(再)処理の電文推移(仕向センタ発) 表 3.2-10 取消確認(再)処理の電文推移(仕向センタ発) 表 3.2-11 取消(再)処理の電文推移(CAFIS センタ発) 表 3.2-12 取消確認(再)処理の電文推移(CAFIS センタ発) 表 3.2-14 障害電文処理の電文推移(異常報告) データ部 1-1, 2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」の設定内容を注意書きに追記		3-68 ～ 3-71 3-73	3-68 ～ 3-71 3-73	
27	3.3.4. 取引カウンタ精査 (2)機能仕様 [修正前] D. カウンタの更新 [修正後] D. 貴社センタで保有するカウンタの更新 (b)更新契機 仕向カウンタ・被仕向カウンタの加算・減算契機について修正	記述改善	3-78	3-78	
28	加盟店ショッピング業務に「属性認証用データ部」の追加 拡張データ部 9-6-6 の追加に伴う条件書の修正 ①表 3.1-7 表 3.1-8 電文構成表にデータ部 9-6-6 の追加 (与信業務, 売上業務) ②電文内容にデータ部 9-6-6 の追加 ③電文内容の推移にデータ部 9-6-6 の追加、注釈追記 (表 3.2-2 表 1.1-1 表 1.1-2 表 1.1-3 表 1.1-4 表 1.1-5) ④表 3.3-6 拡張データ部一覧にデータ部 9-6-6 の追加	属性認証サービス対応	3-9 3-10 3-20 3-50 3-51 3-63 3-62 3-71 3-72 3-73 3-74 3-76 3-86 3-92	3-9 3-10 3-20 3-50 3-51 3-63 3-62 3-71 3-72 3-73 3-74 3-76 3-86 3-92	平成 23 年 8 月 (第 2.3 版)
29	3.2 電文内容の推移 表 3.2-14 障害電文処理の電文推移(異常報告)データ部 1-0 の マスタ電文種別 [修正前] 要求電文と同一内容をセット [修正後] (注5)	記述改善	3-76	3-76	

修正履歴

資料名

CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編

項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
30	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 AID について内容欄を修正 (新) 非接触の場合、AID を必ず設定するように内容を追記	非接触カード による取り扱い 対応に 関 する変更	3-52	3-52	平成 24 年 5 月 (第 2.4 版)
31	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 PAN 入力モードについて設定値を 追加 (新) ‘01’:マニュアル入力(非接触) を追加		3-52	3-52	
32	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 IC 対応端末フラグについて内容欄 を修正 (旧) ‘0’:初期値(設定不可)または接触 MS 専用端末 ‘1’:非接触を含む IC 対応端末 (MS+IC) 端末 ‘2’:非接触 IC 端末(EMV 仕様)※ ‘3’:非接触 IC 端末(Felica 仕様)※ ‘4’:非接触 MS 相当端末※ (新) ‘0’:初期値(設定不可)または接触 MS 専用端末(接触 EMV 無し) ‘1’:接触 EMV 対応端末 (MS+IC) 端末 ‘2’:非接触 EMV 対応端末、接触 EMV 無し ‘3’:非接触 EMV 対応端末、接触 EMV 有り ‘4’:非接触 MS 専用端末、接触 EMV 無し ‘5’:非接触 MS 専用端末、接触 EMV 有り		3-52	3-52	
33	表 3.1-46(付録 1) IC 対応端末フラグの設定方法について(注 2)に記 載		3-53	3-53	
34	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 格納データレングスに関して注釈 として(注 4)を追加 (新) (注 4) データ部 1-1・カード区分≠5,6 の場合で、データ部 9-7-1 が存在した 場合、データ部 9-7-1・IC 関連データ中の格納データレングスが 0000 を 設 定します		3-54	3-54	
35	表 3.1-48 データ部 9-7-4 項目説明 IC 対応端末フラグに関する項目を 定義 (旧) 項番 項目 桁数 内容 14 予備 1 72 ALLO (新) 項番 項目 桁数 内容 14 IC 対応端末フラグ 1 使われた端末が保有する機能を示す (表 3.1-46 項番 12 と同様) 15 予備 1 71 ALLO ※以降の項目は項番修正	非接触カード による取り扱い 対応に 関 する変更	3-57	3-57	平成 25 年 4 月 (第 2.5 版)
36	表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 AID について内容欄を修正 (新) 非接触の場合、AID を必ず設定するという内容を削除		3-52	3-52	
37	表 3.2-9、表 3.2-10、表 3.2-14 仕向センター→CAFIS センタの電文推移 においてトレーラレングスの設定内容を修正 (旧)同上 (新)トレーラレングス		3-72 3-73 3-77	3-72 3-73 3-77	
38	表 3.2-11、表 3.2-12 CAFIS センタ→カード会社センタの電文推移にお いてトレーラレングスの設定内容を修正 (旧)同上 (新)トレーラレングス		3-74 3-75	3-74 3-75	
39	図 3.1-2、表 3.1-18 予備の 2 桁のうちの下 1 桁をリカーリング取引識別 子として定義	リカーリング 取引 取扱い に 対 応 す る 変 更	3-23	3-23	平成 25 年 10 月 (第 2.6 版)
40	電文推移に新規定義したリカーリング取引識別子の内容を記載		3-62,64, 65,69,70 72~77	3-62,64, 65,69,70 72~77	
41	図 3.1-2、表 3.1-18 のリカーリング取引識別子の設定値に mPOS フラグ を追加し取引種別として再定義	mPOS 取 引 取扱いに 対 応する変更	3-23	3-23	平成 27 年5月 (第 2.7 版)
42	電文推移に定義変更した取引種別の内容を記載		3-62,64, 65,69,70 72~77	3-62,64, 65,69,70 72~77	

修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編			
項番	修正内容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月	
43	表 3.2-5 送信電文区分＝4に関して取消のパターン電文遷移表が存在しないため含む形式に修正	誤記修正・記述改善	3-64	3-64	平成 27 年 12 月 (第 2.8 版)	
44	表 3.1-45「データ部 9-6-1 項目説明」項番 4 の誤記を修正 (誤)店員入力可否⇒(正)店員入力有無		3-49	3-49		
45	セパレータの項番が「3」になっていたため、「4」に修正		3-27	3-27		
47	表 3.1-18 機種コード＝A 禁止の記載を追加		3-23	3-23		
48	表 3.2-2,表 3.2-3,表 3.2-4 代行電文エラー表示が「0000」になっていたため「000」に修正。	誤記修正	3-65 3-67 3-68 3-69 3-70	3-65 3-67 3-68 3-69 3-70	平成 29 年 2 月 (第 2.9 版)	
50	データ部 1-0 取引種別の設定値に P(パーシャルシブメント取引)を追加	パーシャルシブメント取引 対応に伴う変更	3-23 3-62 3-65	3-23 3-62 3-65		
51	表 3.1-13 電文種別コード「3550」を削除	誤記修正	3-15	3-15	平成 30 年 1 月 (第 3.0 版)	
52	データ部 9-1-2 CAVV Algorithm の設定値に「4:AEVW Algorithm」を追加	記載漏れ修正	3-60	3-60		
53	センタ識別番号、X ₂ の設定可能範囲を 1～9, A～Z → 1～9, A～Z, a～z	CAFIS 処理 通番拡張による仕様変更	3-21	3-21		
54	データ部 1-0 取引種別の設定値に C(Unscheduled Credential on File 取引)を追加	Unscheduled Credential on File 取引 対応に伴う変更	3-23 3-62 3-65	3-23 3-62 3-65	平成 30 年 5 月 (第 3.1 版)	
55	加盟店ショッピング業務に「3-D Secure2 用データ部」の追加 拡張データ部 9-1-3 の追加に伴う条件書の修正 ① 表 3.1-7 電文構成表にデータ部 9-1-3 の追加 (与信業務) ② 表 3.1-8 電文構成表にデータ部 9-1-3 の追加 (売上業務－MS売上処理時) ③ (2)電文内容にデータ部 9-1-3 の追加 ④ データ部 9-1-2 の項目説明を修正 (表 3.1-51 データ部9-1-2 項目説明の修正) ⑤ 電文内容にデータ部 9-1-3 の追加 (図 3.1-36 表 3.1-51 の追加) ⑥ 電文内容の推移にデータ部 9-1-3 の追加 注 4、注5を追記 (表 3.2-2 一般要求電文処理の電文推移1) ⑦ 表 3.3-6 拡張データ部一覧にデータ部 9-1-3 の追加 ⑧ 表 3.4-1 拡張データ部チェック内容にデータ部 9-1-3 のチェック 内容を追加	3-D Secure2 対応	3-9 3-10 3-20 3-59 3-61 3-63 3-64 3-86 3-94	3-9 3-10 3-20 3-59 - 3-62 3-63 3-83 3-93	令和元年 6 月 (第 3.2 版)	
56	表 3.1-19 データ部 1-1 項目説明 カード区分 6 の取引に関する補足事項(注 1)を追加	記述改善	3-25	3-25	令和元年 11 月 (第 3.2 版)	
57	表 3.1-50 データ部 9-1-2 項目説明 項番 5 Cardholder Authentication Verification Value について内容欄を修正 (旧) 20 桁のバイナリ領域を Base64 にて 28 桁のキャラクタに変換して設定 (新) バイナリ領域を Base64 にて 28 桁のキャラクタに変換して設定	記述改善	3-60	3-60	令和 2 年 3 月 (第 3.3 版)	
58	はじめに の関連ドキュメントを修正	記述改善	-	-		
59	表 3.1-51 データ部 9-1-2 項目説明 項番 5 Transaction Status について内容欄を修正	3-D Secure に 関するレギュ レーション変 更	3-60	3-60	令和 3 年 6 月 (第 3.4 版)	

修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編			
項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月	
60	加盟店ショッピング業務に「ブランドデータ用データ部」の追加 拡張データ部 9-10-4 の追加に伴う電文構成の修正 ①表 3.1-7 電文構成表に、データ部 9-10-4、注釈「*7」の追加 (与信業務) ②表 3.1-8 電文構成表に、データ部 9-10-4、注釈「*6」の追加 (売上業務－MS売上処理時) ③表 3.1-9 電文構成表に、データ部 9-10-4、注釈「*2」「*3」の追加 (売上業務－IC売上結果通知処理時) ④表 3.1-10 電文構成表に、データ部 9-10-4、注釈「*2」の追加 (売上業務－ICオンラインオーソリ処理時) ⑤表 3.1-11 電文構成表に、データ部 9-10-4、注釈「*3」「*4」の追加 (取消業務) ⑥表 3.1-13 電文構成表に、データ部 9-10-4、注釈「*4」の追加 (その他業務:アドバイス)	ブランドデータ 部「9-10-4」新 規追加対応	3-9 3-10 3-11 3-12 3-13 3-15	3-9 3-10 3-11 3-12 3-13 3-15	令和3年9月 (第3.5版)	
61	3.1.4. 電文様式(2)電文内容の表 項番 37 にデータ部 9-10-4 を追加		3-20	3-20		
62	3.1.4. 電文様式(2)電文内容 37. データ部9－10－4(ブランドデータ用)を追加		3-62	-		
63	加盟店ショッピング業務に「ブランドデータ用データ部」の追加 拡張データ部 9-10-4 の追加に伴う電文推移の修正 ※表番号がずれていたため、昇順に修正 ①表 3.2-2 一般要求電文処理の電文推移1に、データ部 9-10-4、 注釈「注6」を追加 (与信・MS売上・取消・照会・事故カード 中継) ②表 3.2-3 一般要求電文処理の電文推移2に、データ部 9-10-4、注 釈「注4」を追加 (IC売上結果通知) ③表 3.2-4 一般要求電文処理の電文推移3に、データ部 9-10-4、 注釈「注6」を追加 (ICオンラインオーソリ) ④表 3.2-4 (付録1) IC固有業務実施センタの再仕向処理にお ける電文推移に、データ部 9-10-4 を追加 ⑤表 3.2-4 (付録2) IC固有業務実施センタの再仕向処理にお ける電文推移に、データ部 9-10-4 を追加 ⑥表 3.2-5 一般要求電文処理の電文推移4に、データ部 9-10-4、 注釈「注1」を追加 (アドバイス:CAFIS折返し) ⑦表 3.2-6 一般要求電文処理の電文推移5に、データ部 9-10-4、 注釈「注2」を追加 (アドバイス:カード会社中継) ⑧表 3.2-9 取消(再)処理の電文推移に、データ部 9-10-4、注釈 「注10」を追加 (仕向センタ発) ⑨表 3.2-10 取消確認(再)処理の電文推移に、データ部 9-10- 4、注釈「注8」を追加 (仕向センタ発) ⑩表 3.2-11 取消(再)処理の電文推移に、データ部 9-x-x に注釈 「注4」を追加 (CAFISセンタ発) ⑪表 3.2-12 取消確認(再)処理の電文推移に、データ部 9-x-x に 注釈「注3」を追加 (CAFISセンタ発)		3-64 3-65 3-66 3-67 3-69 3-70 3-71 3-72 3-74 3-75 3-76 3-77	3-63 3-64 3-65 3-66 3-68 3-69 3-70 3-71 3-73 3-74 3-75 3-76		
64	3.5.5. 拡張データ部の取り扱い 表 3.3.6 拡張データ部一覧に項番7「データ部 9-10-4」、注釈「注 1」を追加		3-85	3-84		
65	3.3.7.ブランドデータ部(9-10-4)中継制御を追加		3-95 3-98	～ -		
66	<付録2>を追加		付録2	-		

修正履歴					
資料名		CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編			
項番	修正内容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
67	表 3.2-2 一般要求電文処理の電文推移1(与信・MS 売上・取消・照会・事故カード中継) ・データ部 1-x、2-x、9-n、9-6-1 の「仕向センタ→CAFIS センタ」の設定内容の記述を修正 (旧) 表 3.1-18～表 3.2-3、表 3.1-42、表 3.1-49 をセット (新) 表 3.1-18～表 3.1-45 をセット ・データ部 9-7-1、9-1-2、9-1-3 の「仕向センタ→CAFIS センタ」の設定内容の記述を修正 (旧) 表 3.1-45、表 3.2-4、表 3.1-49、表 3.1-50 をセット (新) 表 3.1-46、表 3.1-50、表 3.1-52 をセット	誤記修正	3-65	3-64	令和 3 年 9 月 (第 3.5 版)
68	表 3.2-4 一般要求電文処理の電文推移3(ICオンラインオーソリ) ・(注2)の内容を修正 (旧) データ部9-6-6はデータ部の利用契約を頂いたカード会社センタへのみ中継します。 (新) イシュー認証代行サービス利用時に設定されます。		3-67	3-66	
69	トークン取引用のデータ部 9-1-2 の記載を追記	サービス追加	3-20 -	3-20 3-62	令和 4 年 6 月 (第 3.6 版)
70	<付録2>データ部 9-10-4 で利用可能な Field を追加		付録 2	付録 2	
71	データ部 9-10-4 の仕向オプションに関する記述を削除		3-9～3-13 3-15 3-66～3-68 3-72～3-73 3-75～3-76 3-98～3-99	-	
72	表 3.4-1 拡張データ部チェック内容 項番2 (旧)データ部1-0・電文送信区分=4でないこと (新)データ部1-0・電文送信区分=4の時に、データ部9-7-1、9-6-1が存在しないこと	記述改善 システム改修は無し。	3-99	3-100	
73	表 3.4-2 IC関連データチェック内容 項番2 (追記)データ部1-1・カード区分≠5、6の場合、データ部9-7-1のPAN入力モード≠'05'または'07'ではないこと。			3-101	
74	表 3.4-2 IC関連データチェック内容 項番3 (追記)・電文送信区分=1の場合 データ部9-7-1が存在した場合、データ部9-7-1・IC関連データ中の格納データレングスが0000であること				
75	表 3.4-2 IC関連データチェック内容 項番4 (旧) データ部1-0・電文送信区分=1 (新) データ部1-0・電文送信区分=1、4				
76	表 3.4-2 IC関連データチェック内容 項番5 (旧) データ部1-0・電文送信区分=4 (新) データ部1-0・電文送信区分=1、4				
77	表 3.4-2 IC関連データチェック内容 項番6, 7, 8 追加				
78	表 3.1-46 データ部9-7-1 項目説明(1/2) ・PIN入力機能に '3':ソフトウェアベースでのPIN入力可能を追記 ・外付けデバイス有無フラグの項目追加	ブランドレギュレーション対応	3-52	3-52	令和 4 年 8 月 (第 3.7 版)
79	<付録2>データ部 9-10-4 で利用可能な Field を追加	サービス追加	付録 2	付録 2	令和 4 年 12 月 (第 3.8 版)
80	<付録2>データ部 9-10-4 で利用可能な Field を追加	サービス追加	付録 2	付録 2	令和 5 年 4 月 (第 3.9 版)
81	表 3.1-50 データ部9-1-2 項目説明 Transaction Status の記載を修正 (旧) 6 : COF(Credential on File)トークン取引(初回) 7 : inApp取引(初回) 8 : COF(Credential on File)トークン取引(リカーリング、パーシャルシップメント等2回目以降) 9 : inApp取引(リカーリング、パーシャルシップメント等2回目以降) (新) 6 : COF(Credential on File)トークン取引(クリプトグラム有) 7 : inApp取引(クリプトグラム有) 8 : COF(Credential on File)トークン取引(クリプトグラム無の MIT 取引) 9 : inApp取引(クリプトグラム無の MIT 取引)	記述改善	3-59	3-59	
82	図表番号のずれを修正	記述改善	全頁	全頁	

修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編			
項番	修正内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月	
83	3.1.4 電文様式 図 3.1-3 データ部 1－1 フォーマット JIS1(第2トラック)エンコード内容 (37桁)のエンコードフォーマットを追加	セキュリティ強化に伴う CAFIS 仕様変更	3-25	3-25	令和 5 年 5 月 (第 4.0 版)	
84	3.1.4 電文様式 表 3.1-19 データ部 1－1 項目説明カードエンコード内容の記載を修正 (旧) ・ 入力されたカードの磁気ストライプ上に記録されているデータまたはマニュアル入力されたデータ (カード区分=1～4) ・ ICチップから取得した磁気ストライプ相当データ (カード区分=5, 6) 入力データが69桁未満の場合は、残りスペース (新) (一般要求電文時) ・ 入力されたカードの磁気ストライプ上に記録されているデータまたはマニュアル入力されたデータ (カード区分=1～4) ・ ICチップから取得した磁気ストライプ相当データ (カード区分=5, 6) ・ 入力データが69桁未満の場合は、残りスペース (障害電文時:カード区分=1または5) カードエンコード内容のセパレータから8桁目以降～カードエンコード内容の先頭から37桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など) (注2) (障害電文時:カード区分=2または3または4または6) 一般要求電文と同内容		3-25	3-25		
85	3.1.4 電文様式 表 3.1-19 データ部 1－1 項目説明 (注2)を追加		3-25	3-25		
86	3.1.4 電文様式 表 3.1-40 データ部 2－1 0 項目説明 エンコード内容の記載を修正 (旧)入力されたカードの磁気ストライプ上に記録されている内容、またはマニュアル入力されたデータ (入力データが69桁未満の場合残りはスペース) (新)(一般要求電文時) ・ 入力されたカードの磁気ストライプ上に記録されている内容、またはマニュアル入力されたデータ (入力データが69桁未満の場合残りはスペース) (障害電文時:カード区分=1) ・ エンコード内容のセパレータから8桁目以降～エンコード内容の先頭から37桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など) (注1)(注2) (障害電文時:カード区分=2または3または4) 一般要求電文と同内容		3-44	3-44		
87	3.1.4 電文様式 表 3.1-40 データ部 2－1 0 項目説明 (注1)、(注2)を追加		3-44	3-44		
88	3.2 電文内容の推移 表 3.2-9 取消 (再) 処理の電文推移 (仕向センタ発) 表 3.2-10 取消確認 (再) 処理の電文推移 (仕向センタ発) 表 3.2-11 取消 (再) 処理の電文推移 (CAFISセンタ発) 表 3.2-12 取消確認 (再) 処理の電文推移 (CAFISセンタ発) 表 3.2-13 障害電文処理の電文推移 (異常報告) データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 2-10、9-7-3「エンコード内容」の設定内容を注意書きに追記		3-75 3-76 3-77 3-78 3-79 3-80 3-82	3-75 3-76 3-77 3-78 3-80		
89	3.2 電文内容の推移 表 3.2-9 取消 (再) 処理の電文推移 (仕向センタ発) 表 3.2-10 取消確認 (再) 処理の電文推移 (仕向センタ発) ・データ部 9-10-4 の「CAFIS センタ→仕向センタ」列を「対象要求電文内容を保障」に修正。 ・データ部 9-10-4 の注釈から「報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。」という記述を削除	誤記修正	3-73 3-74 3-75 3-76	3-75 3-76 3-77 3-78	令和 6 年 4 月 (第 4.1 版)	
90	<付録2>データ部 9-10-4 に利用可能な Field を追加 表 3.1-18 の取引種別に「I」を追加	機能追加に伴う修正	付録 2 3-23	付録 2 3-23		

修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編		
項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
91	データ部 9-6-6 の記述を削除 ① 表 3.1-7 表 3.1-8 電文構成表にデータ部 9-6-6 の削除 (与信業務, 売上業務) ② 電文内容にデータ部 9-6-6 の削除 ③ 電文内容の推移にデータ部 9-6-6 の追加、注釈追記 ④ 表 3.3-6 拡張データ部一覧にデータ部 9-6-6 の削除	属性認証サービス終了に伴う修正	3-9 3-10 3-20 — — 3-63 3-64 3-73 3-74 3-75 3-76 3-77 3-78 3-80 3-82 3-88 3-993-7	3-9 3-10 3-20 3-50 3-51 3-65 3-66 3-75 3-76 3-77 3-78 3-79 3-80 3-82 3-88 3-101	令和 6 年 4 月 (第 4.1 版)
92	表 3.2-2、表 3.2-4、表 3.2-13 の電文推移について、データ部 1-0「承認番号」の仕向センターCAFIS センタ設定を以下の通り修正 (承認後売上の際に事前取得した承認番号を設定する場合があるため) (旧) スペース (新) スペース または 承認番号	記述改善	3-63 3-66 3-79	3-65 3-68 3-81	
93	3.1.4 電文様式 表 3.1-19 データ部1ー1 項目説明 カードエンコード内容に注釈(注3)追加	記述改善	3-25	3-25	
94	3.1.4 電文様式 表 3.1-40 データ部2ー10 項目説明 エンコード内容に注釈(注3)追加	記述改善	3-44	3-44	
95	表 3.1 50 データ部9ー1ー2 項目説明 Transaction Status の記載を修正 (旧) 6 : COF (Credential on File)トークン取引 (クリプトグラム有) 7 : inApp取引 (クリプトグラム有) 8 : COF (Credential on File)トークン取引 (クリプトグラム無の MIT 取引) 9 : inApp取引 (クリプトグラム無の MIT 取引) (新) 6 : COF (Credential on File)トークン取引 (CIT 取引) 7 : inApp取引 (CIT 取引) 8 : COF (Credential on File)トークン取引 (MIT 取引) 9 : inApp取引 (MIT 取引)	記述改善	3-58	3-58	令和 6 年 3 月 (第 4.2 版)
96	はじめに の関連ドキュメントを修正	記述改善	—	—	

はじめに

本書は、株式会社NTTデータが運用するクレジット情報データ通信システム (Credit And Finance Information System) **CAFIS®** (以下、CAFIS) の接続条件における、加盟店ショッピング業務・基本接続について記述したものです。

なお、本サービスは CAFIS の加盟店ショッピングサービスのご利用を前提としています。



本書を CAFIS 接続以外の目的で使用することを禁じます。

本書は予告なく変更されることがあります。

本書を無断で他に転載することを禁じます。

本書を他に譲渡することを禁じます。

「CAFIS®」は、NTT データの登録商標です。

(Blank Page)

目次

1. 概要	1-1
1.1. 概要	1-1
2. 機能仕様	2-1
2.1. 業務処理の流れ	2-1
3. 接続条件	3-1
3.1. 電文形態	3-1
3.1.1. 電文種別	3-1
3.1.2. 電文処理形態	3-2
3.1.3. 電文構成	3-8
3.1.4. 電文様式	3-19
3.2. 電文内容の推移	3-62
3.3. 処理機能	3-81
3.3.1. 監視タイマの設定	3-81
3.3.2. 仕掛中の処理、障害処理、処理原則、経路番号の扱い、送受信電文のチェック	3-81
3.3.3. CAFISカウンタ	3-82
3.3.4. 取引カウンタ精査	3-83
3.3.5. 拡張データ部の取扱	3-86
3.3.6. アドバイス要求電文中継制御	3-91
3.3.7. ブランドデータ部(9-10-4)中継制御	3-96
3.4. チェック仕様	3-99
3.5. エラーコード	3-101
<付録> I C 関連データ設定内容（参考値）	付録 1
<付録 2> ブランド情報取り扱い項目一覧	付録 2

(Blank Page)

1. 概要

1.1 概要

加盟店ショッピング業務は加盟店で取り扱われたクレジットカードでの各種データを、加盟店センタまたは情報処理センタ経由で受付け、各カード会社センタへ中継するサービスです。

また、カード会社センタから加盟店センタへ取引を中継する場合があります。

本業務における接続形態を図 1.1-1 に示します。

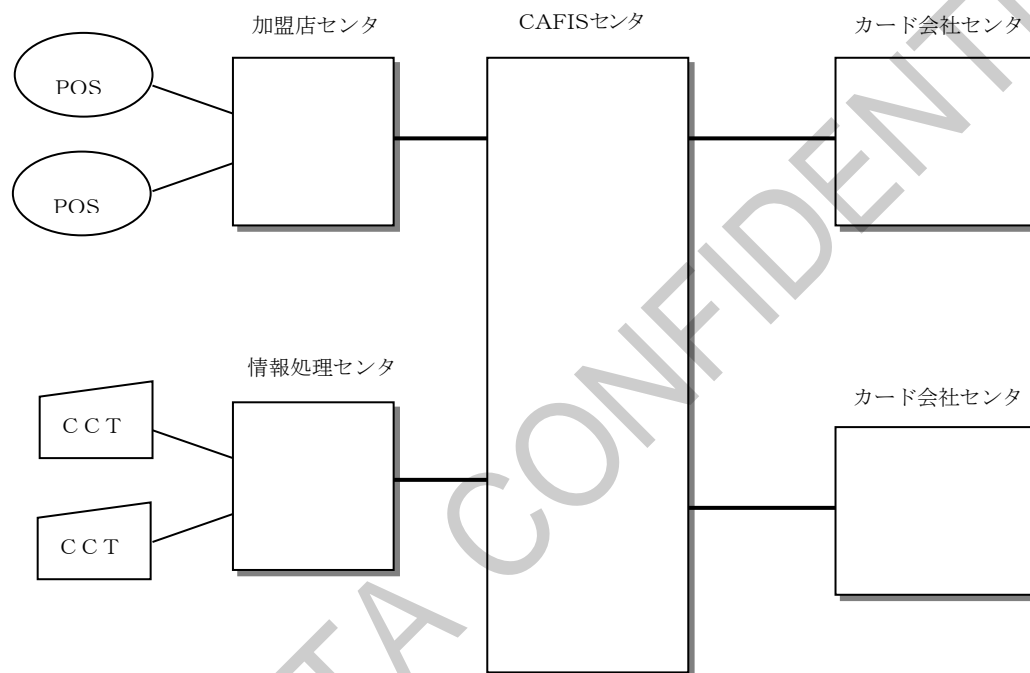


図 1.1-1 接続形態

(Blank Page)

2. 機能仕様

2.1 業務処理の流れ

基本業務処理の流れを表 2.1-1 に、付帯業務処理の流れを表 2.1-2 に示します。

表 2.1-1 基本業務処理の流れ

項番	業務処理	通信方向		主な電文設定項目
		仕向センタ	被仕向センタ	
1	与信業務	与信要求		カードエンコード相当内容、商品コード、 (金額)
		与信報告		与信可否結果
2	売上業務 (MS 読み による売 上)	売上要求		カードエンコード内容、商品コード、金額
		売上報告		売上可否結果
	売上業務 (IC 読み 取引に対 する売上結 果通知)	売上要求		カードエンコード相当内容、商品コード、 金額、売上通知用IC関連データ
		売上報告		売上可否結果
	売上業務 (IC 読み によるオン ラインオー ソリ)	売上要求		カードエンコード相当内容、商品コード、 金額、オンラインオーソリ用要求時IC関 連データ(ARQC等)
		売上報告		売上可否結果、応答時IC関連データ(A RPC、イシュースクリプト等)
3	取消業務	取消要求		カードエンコード相当内容、商品コード、 金額、伝票番号、区分
		取消報告		取消可否結果

表 2.1-2 付帯業務処理の流れ

項番	業務処理	通信方向		主な電文設定項目
		仕向センタ	被仕向センタ	
1	照会業務	照会要求		照会区分
		照会報告		照会結果
2	事故カード 中継業務	事故カード'中継要求		事故カード'データ
		事故カード'中継報告		取扱結果
3	取引カウン タ精査業務	その他要求		仕向カウンタ (被仕向カウンタ)
		その他報告		被仕向カウンタ (仕向カウンタ)
4	アドバイス 業務	その他要求		アドバイス対象取引情報 (端末情報、カード情報、IC関連データ)
		その他報告		アドバイス受信結果
		その他要求	CAFISセンタ	アドバイス対象取引情報 (端末情報、カード情報、IC関連データ)
		その他報告		アドバイス受信結果

3. 接続条件

本章は、加盟店ショッピング業務における接続条件について述べたものです。

3.1 電文形態

3.1.1 電文種別

加盟店ショッピング業務で使用する一般電文および障害電文の電文種別を表 3.1-1 に示します。

表 3.1-1 電文種別一覧表

項番	電文区分	業務区分	電文種別	電文名	備考
1	一般電文	与信	3 1 1 0	与信要求	
2			3 1 2 0	与信許可報告	
3			3 1 5 0	与信拒否報告	
4		売上	3 2 1 0	売上要求	
5			3 2 2 0	売上許可報告	
6			3 2 5 0	売上拒否報告	
7		取消	3 3 1 0	取消要求	
8			3 3 2 0	取消許可報告	
9			3 3 5 0	取消拒否報告	
10		照会	3 4 1 0	照会要求	
11			3 4 2 0	照会許可報告	
12			3 4 5 0	照会拒否報告	
13		その他	3 5 1 0	その他要求	取引カウンタ精査 オンラインテスト アドバイス
14			3 5 2 0	その他許可報告	
15			3 5 5 0	その他拒否報告	
16		事故カード中継	6 1 1 0	事故カード中継要求	
17			6 1 2 0	事故カード中継許可報告	
18			6 1 5 0	事故カード中継拒否報告	
19	障害電文	一般要求に 対する 障害処理	8 9 1 0	取消指令	
20			8 9 2 0	取消再指令	
21			8 9 3 0	取消確認指令	
22			8 9 4 0	取消確認再指令	
23			8 9 5 0	取消報告	
24			8 9 6 0	取消確認報告	
25			8 9 7 0	異常報告	

3.1.2 電文処理形態

仕向センタ、CAFISセンタ、被仕向センタ間でやりとりされる電文の処理形態一覧表を表 3.1-2～表 3.1-6 に示します。

VTTDATA CONFIDENTIAL

表 3.1-2 一般電文処理形態1 (一般要求)

処理	電文種別	通信方向				発生条件
		端末	加盟店センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	
一般処理	××要求		→			端末から××業務の取扱依頼があった場合
	××要求		→	→		××要求を中継する場合
	異常報告		←			カード会社センタへ送信不可の場合、または送信したが応答を受信できなかった場合
	××要求			→	→	××要求を中継する場合
	××許可報告			←	←	カード会社センタにて××業務の取扱を許可した場合
	××許可報告		←			加盟店センタへ××業務の取扱許可を通知する場合
	××許可報告	←				端末へ××業務の取扱許可を通知する場合
	××拒否報告			←	←	カード会社センタにて××業務の取扱を拒否した場合
	××拒否報告		←			加盟店センタへ××業務の取扱拒否を通知する場合
	××拒否報告	←				端末へ××業務の取扱拒否を通知する場合

表 3.1-3 障害電文処理形態 2 (取消指令)

処理	電文種別	通信方向				発生条件
		端末	加盟店センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	
障害処理 (加盟店センタ発 取消指令)	取消指令	×				「××許可報告」または「××拒否報告」をCAFISセンタより受信後、端末に正常送信できなかった場合 または、「売上許可報告」でICカードから拒否が応答された場合
	取消報告		←			カード会社センタへ送信後、報告を受信できなかった場合または送信不可で再度加盟店センタより障害電文を送信する必要がない場合
	異常報告		←			カード会社センタへ送信不可の場合で、再度加盟店センタより障害電文を送信する必要がある場合
	取消指令				→	CAFISセンタが加盟店センタから「取消指令」を受信した場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
	取消報告		←			CAFISセンタがカード会社センタから「取消報告」を受信した場合
障害処理 (CAFIS センタ発 取消指令)	取消指令			→		カード会社センタに「取消指令」が送信不可の場合で、その後カード会社センタが再開した場合または加盟店センタに「××要求」の報告が送信不可の場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFISセンタから「取消指令」を受信した場合

表 3.1-4 障害電文処理形態3（取消確認指令）

処理	電文種別	通信方向				発生条件
		端末	加盟店センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	
障害処理 (加盟店 センタ発 取消確認 指令)	取消確認指令		×			「××要求」に対する報告 をCAFISセンタより受 信できなかった場合
	取消確認報告		←			カード会社センタへ送信後、報告 を受信できなかった場合ま たは送信不可で再度加盟店 センタより障害電文を送信 する必要がない場合
	異常報告		←			カード会社センタへ送信不可の場 合で、再度仕向センタより 障害電文を送信する必要の ある場合 該当する「××要求」を直 前に受信していない場合
	取消指令				→	CAFISセンタが加盟店 センタから「取消確認指 令」を受信した場合で「× ×要求」の結果を受信して いる場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFISセ ンタから「取消指令」を受 信した場合
	取消確認報告		←			CAFISセンタがカード会 社センタから「取消報告」を受 信した場合
障害処理 (CAFIS センタ発 取消確認 指令)	取消確認指令				→	カード会社センタに「××要求」 を送信したのち応答がない 場合または「取消確認指 令」が送信不可の場合でカ ード会社センタがその後再開始し た場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFISセ ンタから「取消確認指令」 を受信した場合

表 3.1-5 障害電文処理形態 4（取消再指令）

処理	電文種別	通信方向				発生条件
		端末	加盟店センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	
障害処理 (加盟店 センタ発 取消再指 令)	取消再指令			→		加盟店センタが「取消指令」を送信したが応答がない場合または、再送が必要な異常報告をCAFISセンタより受信した場合
	取消報告		←			すでにカード会社センタへの取消が完了している場合
	異常報告		←			カード会社センタへ送信不可の場合で、再度加盟店センタより障害電文を送信する必要がある場合
	取消指令				→	カード会社センタの取消が完了していない場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
	取消報告		←			CAFISセンタがカード会社センタから「取消報告」を受信した場合
障害処理 (CAFIS センタ発 取消再指 令)	取消再指令			→		カード会社センタに「取消指令」または「取消再指令」を送信したのち応答がない場合、またはその後カード会社センタが再開始した場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFISセンタから「取消再指令」を受信した場合

表 3.1-6 障害電文処理形態 5（取消確認再指令）

処理	電文種別	通信方向				発生条件
		端末	加盟店センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	
障害処理 (加盟店 センタ発 取消再指 令)	取消確認 再指令		→			加盟店センタが「取消確認 指令」または「取消確認再 指令」を送信したが応答が ない場合
	取消確認報告		←			すでにカード会社センタの取消 が完了している場合
	異常報告		←			カード会社センタへ送信不可の 場合で、再度仕向センタよ り障害電文を送信する必要 のある場合
	取消指令				→	カード会社センタの取消が完了 していない場合
	取消報告			←		カード会社センタがCAFIS センタから「取消指令」を 受信した場合
	取消確認報告		←			CAFISセンタがカード会 社センタから「取消報告」を 受信した場合
障害処理 (CAFIS センタ発 取消再指 令)	取消確認 再指令			→		カード会社センタに取消確認指 令」または「取消確認再指 令」を送信したのち応答が ない場合またはカード会社セ ンタがその後再開した場合
	取消確認報告			←		カード会社センタがCAFIS センタから「取消確認再指 令」を受信した場合

3.1.3 電文構成

仕向センタ、CAFISセンタ、被仕向センタ間でやりとりされる電文構成を表 3.1-7～表 3.1-16 に示します。

電文構成欄の①～⑥はデータの順番を示します。

項番	業務名	表番号	備考 (注)
1	与信業務	表 3.1-7	
2	売上業務 (注)	表 3.1-8	MS 売上
3		表 3.1-9	I C 売上結果通知
4		表 3.1-10	I C オンラインオーソリ
5		表 3.1-11	
6	照会業務	表 3.1-12	
7	その他業務 (アドバイス)	表 3.1-13	
8	その他業務 (取引カウンタ精査)	表 3.1-14	
9	その他業務	表 3.1-15	
10	事故カード中継業務	表 3.1-16	

(注) 売上業務(電文種別=3210)における判定条件について以下に示します。

売上業務	データ部 1-0	データ部 1-1	データ部 9-7-1		判定結果
	電文送信区分	カード区分	PAN 入力モード	I C 関連データ 格納データレングス	
	1 (メモリ送信)	1～4	—	—	MS 売上
		5, 6	05、07	=0 >0	MS 売上 エラー
	2 (オンライン送信)	1～4	—	—	MS 売上
		5, 6	05、07	=0	MS 売上
				>0	I C オンラインオーソリ
	4 (I C 売上 結果送信)	—	—	—	I C 売上結果通知

表 3.1-7 電文構成表（与信業務）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部							
				1-0	1-1	2-6	9-6-1 *5	9-7-1 *5	9-1-2 *5	9-1-3 *5	9-10-4 *5*6
			63 (ﾊﾞｲﾄ)	47 (ﾊﾞｲﾄ)	98 (ﾊﾞｲﾄ)	3 (ﾊﾞｲﾄ)	30 (ﾊﾞｲﾄ)	119 (ﾊﾞｲﾄ)	111 (ﾊﾞｲﾄ)	138 (ﾊﾞｲﾄ)	Max316 (ﾊﾞｲﾄ)
与信	3110	与信要求	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8910	取消指令	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8920	取消再指令	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8930	取消確認指令	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8940	取消確認再指令	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	3120	与信許可報告	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	3150	与信拒否報告	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8950	取消報告	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8960	取消確認報告	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]
	8970	異常報告	①	②	③	[④] *1	[⑤] *2	[⑥] *3	[⑦] *4	[⑧] *4	[⑨]

(注) *1 : [④]は、端末機種コード=3のときデータ部2-6が存在することを示す。

*2 : [⑤]は、データ部1-1・カード区分=1~4の場合のみ設定可能です。被仕向センタへは受信契約がない場合には中継されません。

*3 : [⑥]は、仕向センタ側の設定は任意であるが、被仕向センタへは受信契約がない場合には中継されません。

*4 : [⑦]、[⑧]は、データ部1-1・カード区分=3の場合のみ設定可能です。被仕向センタへは受信契約がない場合には中継されません。

*5 : 拡張データ部9-X-Yは順不同です。ただし、データ部9-1-3はデータ部9-1-2の直後のみ設定可能です。

*6 : [⑨]は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.1-8 電文構成表（売上業務－MS 売上処理時）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部																	
					1-0	1-1	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	9-6-1 *1*4	9-7-1 *2*4	9-1-2 *4	9-1-3 *4	9-10-4 *4*5				
				63	47	98	3	Max 78	Max 63	3	Max 84	3	30	119	111	138	Max 316				
売上	3210 8910 8920 8930 8940 8950 8960 8970	売上要求 取消指令 取消再指令 取消確認指令 取消確認再指令 取消報告 取消確認報告 異常報告	一括	①	②	③	④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]			
			ボ ー ナ ス	バ ー ン 1	①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
				バ ー ン 2	①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
				バ ー ン 3	①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
				バ ー ン 4	①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
				バ ー ン 5	①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
			分 割	バ ー ン 1	①	②	③			④						[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
				バ ー ン 2	①	②	③			④						[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
				バ ー ン 3	①	②	③			④						[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
			リボ ー ルビ ンク	①	②	③					④					[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
			ボ ー ナ ス 併	バ ー ン 1	①	②	③						④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]
				バ ー ン 2	①	②	③						④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]
				バ ー ン 3	①	②	③						④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]
				バ ー ン 4	①	②	③						④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]
				コ ー トマ ニ ュ ア ル	①	②	③							④			[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]
			3220 3250	売上許可報告 売上拒否報告	一括	①	②	③	④								[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]
	ボ ー ナ ス	バ ー ン 1			①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 2			①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 3			①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 4			①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 5			①	②	③		④							[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
	分 割	バ ー ン 1			①	②	③			④						[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 2			①	②	③			④						[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 3			①	②	③			④						[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
	リボ ー ルビ ンク	①			②	③					④					[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
	ボ ー ナ ス 併	バ ー ン 1			①	②	③					④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 2			①	②	③					④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 3			①	②	③					④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
		バ ー ン 4			①	②	③					④				[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	
	コ ー トマ ニ ュ ア ル	①			②	③							④			[⑤]	[⑥]	[⑦] *3	[⑧] *3	[⑨]	

（注）＊１：〔５〕はデータ部１－１・カード区分＝１～４の場合のみ設定可能です。被仕向センタへは受信契約がない場合には設定されません。

＊２：〔６〕は、仕向センタ側の設定は任意であるが、被仕向センタへは受信契約がない場合には中継されません。

＊３：〔７〕、〔８〕はデータ部１－１・カード区分＝３の場合のみ設定可能です。被仕向センタへは受信契約がない場合には設定されません。

＊４：拡張データ部９－Ｘ－Ｙは順不同です。ただし、データ部９－１－３はデータ部９－１－２の直後のみ設定可能です。

＊５：〔９〕は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.1-9 電文構成表（売上業務－I C 売上結果通知処理時）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部									
				1-0	1-1	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	9-7-4 *2	9-10-4 *2*3
				63	47	98	3 Max 78	Max 63	3	Max 84	3	Max 535	Max 316
売上	3210 8910 8920 8930 8940 8950 8960 8970	売上要求 取消指令 取消再指令 取消確認指令 取消確認再指令 取消報告 取消確認報告 異常報告	一括	①	②	③	④					<⑤>*1	[⑥]
			ボ ー ナ ス	パター ン 1	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 2	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 3	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 4	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 5	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
			分 割	パター ン 1	①	②	③		④			<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 2	①	②	③		④			<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 3	①	②	③		④			<⑤>*1	[⑥]
			リボ ー ル ビ ン ク	①	②	③			④			<⑤>*1	[⑥]
			ボ ー ナ ス 併 用	パター ン 1	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 2	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 3	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 4	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 5	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
			コ ー ド マ ニ ュ ア ル	①	②	③					④	<⑤>*1	[⑥]
	3220 3250	売上許可報告 売上拒否報告	一括	①	②	③	④					<⑤>*1	[⑥]
			ボ ー ナ ス	パター ン 1	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 2	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 3	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 4	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 5	①	②	③	④				<⑤>*1	[⑥]
			分 割	パター ン 1	①	②	③		④			<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 2	①	②	③		④			<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 3	①	②	③		④			<⑤>*1	[⑥]
			リボ ー ル ビ ン ク	①	②	③			④			<⑤>*1	[⑥]
			ボ ー ナ ス 併 用	パター ン 1	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 2	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 3	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
				パター ン 4	①	②	③			④		<⑤>*1	[⑥]
			コ ー ド マ ニ ュ ア ル	①	②	③					④	<⑤>*1	[⑥]

（注）I C 売上結果通知処理は、データ部 1-0・電文送信区分=4 の場合に限りです。

*1：<⑤>は、被仕向センタが受信不可契約である場合には設定されません。

*2：拡張データ部9-X-Yは順不同です。

*3：[⑥]は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.1-10 電文構成表（売上業務－I C オンラインオーソリ処理時）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部											
				1-0	1-1	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	9-7-1 *1	9-10-4 *1*2		
				63	47	98	3	Max 78	Max 63	3	Max 84	3	Max 459	Max 316	
売上	3210 8910 8920 8930 8940 8950 8960 8970	売上要求 取消指令 取消再指令 取消確認指令 取消確認再指令 取消報告 取消確認報告 異常報告	一括	①	②	③	④						⑤	〔⑥〕	
			ボ ー ナ ス	パター1	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター2	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター3	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター4	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター5	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
			分 割	パター1	①	②	③			④				⑤	〔⑥〕
				パター2	①	②	③			④				⑤	〔⑥〕
				パター3	①	②	③			④				⑤	〔⑥〕
			リボ ^ル ビ ^ン ク ^ク		①	②	③				④			⑤	〔⑥〕
			ボ ー ナ ス 併 用	パター1	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
				パター2	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
				パター3	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
				パター4	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
			コード ^マ ニユ ^{アル}		①	②	③						④	⑤	〔⑥〕
	3220 3250	売上許可報告 売上拒否報告	一括	①	②	③	④							⑤	〔⑥〕
			ボ ー ナ ス	パター1	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター2	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター3	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター4	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
				パター5	①	②	③		④					⑤	〔⑥〕
			分 割	パター1	①	②	③			④				⑤	〔⑥〕
				パター2	①	②	③			④				⑤	〔⑥〕
				パター3	①	②	③			④				⑤	〔⑥〕
			リボ ^ル ビ ^ン ク ^ク		①	②	③				④			⑤	〔⑥〕
			ボ ー ナ ス 併 用	パター1	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
				パター2	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
				パター3	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
				パター4	①	②	③					④		⑤	〔⑥〕
			コード ^マ ニユ ^{アル}		①	②	③						④	⑤	〔⑥〕

（注）*1：拡張データ部9-X-Yは順不同です。

*2：〔⑥〕は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.1-11 電文構成表（取消業務）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部						
				1-0	1-1	1-3	2-7	9-7-1 *3	9-7-4 *3	9-10-4 *3*4
			63 (バイト)	47 (バイト)	98 (バイト)	10 (バイト)	8 (バイト)	119 (バイト)	227 (バイト)	Max316 (バイト)
取消	3310	取消要求	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8910	取消指令	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8920	取消再指令	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8930	取消確認指令	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8940	取消確認再指令	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	3320	取消許可報告	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	3350	取消拒否報告	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8950	取消報告	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8960	取消確認報告	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]
	8970	異常報告	①	②	③	④	[⑤] *1	[⑥] *2	[⑥] *2	[⑦]

(注) *1 : [⑤]は、端末機種コード=3のときデータ部2-7が存在することを示す。

*2 : [⑥]は、仕向センタ側での設定は任意であるが、カード会社センタへは契約がない場合には設定されません。

[⑥]は、データ部1-0の電文送信区分に対応してデータ部9-7-1またはデータ部9-7-4のどちらか設定することができます。

2つのデータ部を同時に設定することはできません。

*3 : 拡張データ部9-X-Yは順不同です。

*4 : [⑦]は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.1-12 電文構成表（照会業務）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部 63 (バイト)	データ部				
				1-0	1-2	2-10	9-n	E
				47 (バイト)	4 (バイト)	75 (バイト)	Max205 (バイト)	Max700 (バイト)
照会	3410	照会要求	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	3420	照会許可報告	①					②
			①	②	③	④		
	3450	照会拒否報告	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8970	異常報告	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8910	取消指令	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8920	取消再指令	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8930	取消確認指令	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8940	取消確認再指令	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8950	取消報告	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		
	8960	取消確認報告	①	②	③		[④] *1	
			①	②	③	④		

(注) *1 : [④] は条件により省略可能を示す。

データ部 2-10、データ部 9-n の付加条件は、データ部 1-2 の照会区分コードにより判定する。

(1) 照会区分=01(日計照会)、02(月計照会)のときデータ部 9-nを付加する。(省略可)

(2) 照会区分が(1)以外るとき、データ部 2-10を付加する。

表 3.1-13 電文構成表（その他業務：アドバイス）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部			
				1-0	1-4	9-7-3	9-10-4 *1
			63 (バイト)	47 (バイト)	4 (バイト)	Max742 (バイト)	Max316 (バイト)
その他	3510	その他要求	①	②	③	④	[⑤]
	3520	その他許可報告	①	②	③	④	[⑤]
	8970	異常報告	①	②	③	④	[⑤]
	8910	取消指令	①	②	③	④	[⑤]
	8920	取消再指令	①	②	③	④	[⑤]
	8930	取消確認指令	①	②	③	④	[⑤]
	8940	取消確認再指令	①	②	③	④	[⑤]
	8950	取消報告	①	②	③	④	[⑤]
	8960	取消確認報告	①	②	③	④	[⑤]

(注) *1 : [⑤]は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意です。

カード会社中継の場合、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

CAFIS 折り返しの場合、被仕向の「各フィールド利用有無」契約は参照せず、データ部9-10-4を削除して折り返します。

表 3.1-14 電文構成表（その他業務：取引カウンタ精査）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部		
				1-0	1-4	9-n
			63 (バイト)	47 (バイト)	4 (バイト)	Max242 (バイト)
その他	3510	その他要求	①	②	③	④
			①	②	③	④
	3520	その他許可報告	①	②	③	④
			①	②	③	④
	3550	その他拒否報告	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8970	異常報告	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8910	取消指令	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8920	取消再指令	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8930	取消確認指令	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8940	取消確認再指令	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8950	取消報告	①	②	③	④
			①	②	③	④
	8960	取消確認報告	①	②	③	④
			①	②	③	④

表 3.1-15 電文構成表（その他業務）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部			
				1-0	1-4	2-10	9-n
			63 (バイト)	47 (バイト)	4 (バイト)	75 (バイト)	Max205 (バイト)
その他	3510	その他要求	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	3520	その他許可報告	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	3550	その他拒否報告	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8970	異常報告	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8910	取消指令	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8920	取消再指令	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8930	取消確認指令	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8940	取消確認再指令	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8950	取消報告	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1
	8960	取消確認報告	①	②	③		[④] *1
			①	②	③	④	[⑤] *1

(注) *1 : []は条件により省略可能を示す。

データ部 2-10、データ部 9-n の付加条件は、データ部 1-4 の取扱区分コードにより判定する。

- (1) 取扱区分コードの上1桁=0~4(カード情報データ無し)のとき、データ部9-nを付加する。(省略することも可)
- (2) 取扱区分コードの上1桁=5~8(カード情報データ有り)のとき、データ部2-10、データ部9-nを付加する。
- (3) 取扱区分コードの上1桁=9のとき、データ部9-nを付加する。(省略することも可)

表 3.1-16 電文構成表（事故カード中継業務）

業務	電文 種別 コード	電文名	共通 制御 ヘッダ部	データ部	
				1-0	1-6
			63 (バイト)	47 (バイト)	30 (バイト)
事故 カード 中継	6110	事故カード中継要求	①	②	③
	8910	取消指令	①	②	③
	8920	取消再指令	①	②	③
	8930	取消確認指令	①	②	③
	8940	取消確認再指令	①	②	③
	6120	事故カード中継許可報告	①	②	③
	6150	事故カード中継拒否報告	①	②	③
	8950	取消報告	①	②	③
	8960	取消確認報告	①	②	③
	8970	異常報告	①	②	③

3.1.4 電文様式

加盟店センタ、CAFISセンタ、カード会社センタ間でやりとりされる電文の電文様式を以下に示します。

(1) 基本電文様式

項番	区分	フォーマット	
1	要求、指令、および報告電文	共通制御ヘッダ部	データ部
		63バイト	(可変長)

(2) 電文内容

項番	データ名	図番	表番
1	共通制御ヘッダ部	図 3.1-1	表 3.1-17
2	データ部1-0	図 3.1-2	表 3.1-18
3	データ部1-1	図 3.1-3	表 3.1-19
4	データ部1-2	図 3.1-4	表 3.1-20
5	データ部1-3	図 3.1-5	表 3.1-21
6	データ部1-4	図 3.1-6	表 3.1-22
7	データ部1-6	図 3.1-7	表 3.1-23
8	データ部2-1	図 3.1-8	表 3.1-24
9	データ部2-2(売上ボーナスパターン1)	図 3.1-9	表 3.1-25
10	データ部2-2(売上ボーナスパターン2)	図 3.1-10	表 3.1-26
11	データ部2-2(売上ボーナスパターン3)	図 3.1-11	表 3.1-27
12	データ部2-2(売上ボーナスパターン4)	図 3.1-12	表 3.1-28
13	データ部2-2(売上ボーナスパターン5)	図 3.1-13	表 3.1-29
14	データ部2-3(売上分割パターン1)	図 3.1-14	表 3.1-30
15	データ部2-3(売上分割パターン2)	図 3.1-15	表 3.1-31
16	データ部2-3(売上分割パターン3)	図 3.1-16	表 3.1-32
17	データ部2-4(売上リボ)	図 3.1-17	表 3.1-33
18	データ部2-5(売上ボーナス併用パターン1)	図 3.1-18	表 3.1-34
19	データ部2-5(売上ボーナス併用パターン2)	図 3.1-19	表 3.1-35
20	データ部2-5(売上ボーナス併用パターン3)	図 3.1-20	表 3.1-36
21	データ部2-5(売上ボーナス併用パターン4)	図 3.1-21	表 3.1-37
22	データ部2-6	図 3.1-22	表 3.1-38
23	データ部2-7	図 3.1-23	表 3.1-39
24	データ部2-10	図 3.1-24	表 3.1-40
25	データ部9-n(サービス終了予告)	図 3.1-26	表 3.1-41
26	データ部9-n(サービス終了、サービスカウンタ照会)	図 3.1-27	表 3.1-42
27	データ部9-n(サービス終了、サービスカウンタ照会) *IC オンラインオーソリカウンタ有り	図 3.1-28	表 3.1-43
28	データ部9-n	図 3.1-29	表 3.1-44
29	データ部9-6-1	図 3.1-30	表 3.1-45
30	データ部9-7-1	図 3.1-31	表 3.1-46
31	データ部9-7-3	図 3.1-32	表 3.1-47
32	データ部9-7-4	図 3.1-33	表 3.1-48
33	データ部E	図 3.1-34	表 3.1-49
34	データ部9-1-2(トークン(inApp、COF)取引用)	図 3.1-35	表 3.1-50
35	データ部9-1-2(3-D Secure 用)	図 3.1-36	表 3.1-51
36	データ部9-1-3	図 3.1-37	表 3.1-52
37	データ部9-10-4	図 3.1-38	表 3.1-53

1. 共通制御ヘッダ部

項目	経路番号	仕向処理通番	センタ識別番号	回線番号	CAFIS処理通番	仕向会社コード	仕向会社サブコード	被仕向会社コード	被仕向会社サブコード	電文識別	CAFIS処理月日	CAFIS送電状態表示	仕向処理日付	代行電文報告表示	代行電文エラー表示	代行再仕向表示	トレーラ・レングス
桁数	4	6	2	3	6	7	4	7	4	4	4	1	2	2	3	1	3

図 3.1-1 共通制御ヘッダ部 フォーマット

表 3.1-17 共通制御ヘッダ部 項目説明 (1 / 2)

項番	項目	桁数	内 容
1	経路番号	4	<div> <div> <div>X₁</div> <div>X₂</div> <div>X₃</div> <div>X₄</div> </div> : '0000' ~ '9999' </div> <ul style="list-style-type: none"> 奇数 : 被仕向経路(特に'0001'は制御用) 偶数 : 仕向経路(特に'0000'は制御用)
2	仕向処理通番	6	<ul style="list-style-type: none"> 仕向センタ毎に'000001'からの番号 制御電文の場合は'000000'固定 仕向センタCPU時間の00時00分00秒に'000001'にクリアする。
3	センタ識別番号	2	<div> <div> <div>X₁</div> <div>X₂</div> </div> <div> '1~9'、'A~Z'、'a ~ z' '0' : 制御電文用 '1' : 加盟店センタからのデータ '3' : クレジット会社センタからのデータ '4' : 金融機関センタからのデータ X₁ : 端末等識別 X₂ : センタ識別 </div> </div>
4	回線番号	3	<ul style="list-style-type: none"> '000'の固定
5	CAFIS処理通番	6	<ul style="list-style-type: none"> CAFISセンタのセンタ処理通番であり、CAFISセンタのグループ単位(センタ識別番号のX₂)に'000001'からの上昇順の番号である。 なお各センタへは一連通番とはならない。 24時間運転の場合、CAFIS CPU時間の00時00分00秒に'000001'にクリアする。
6	仕向会社コード	7	<ul style="list-style-type: none"> 仕向センタの会社コード(左づめ)
7	仕向会社サブコード	4	<ul style="list-style-type: none"> 仕向会社サブコード 不要の場合は、'0000'をセット
8	被仕向会社コード	7	<ul style="list-style-type: none"> 被仕向センタの会社コード(左づめ)
9	被仕向会社サブコード	4	<ul style="list-style-type: none"> 被仕向会社サブコード 不要の場合は'0000'をセット
10	電文種別	4	<ul style="list-style-type: none"> 表 3.1-1 電文種別一覧表 参照

表 3.1-17 共通制御ヘッダ部 項目説明 (2 / 2)

項番	項 目	桁数	内 容
11	CAFIS処理月日	4	・ CAFISが該当要求電文を受付けた月日
12	CAT送信状態表示	1	・ ‘0’の固定
13	仕向処理日付	2	・ 仕向センタが処理した日付
14	代行電文報告表示	2	・ ‘00’の固定
15	代行電文エラー表示	3	・ ‘000’の固定
16	代行再仕向表示	1	・ ‘0’ : 通常処理(初期値) ‘J’ : アクワイヤラ代行処理によるイシュアダイレクト
17	トレーラ・レングス	3	・ 後続の各種データ部の桁数(文字数)であり、シフトイン(SI)、シフトアウト(SO)符号を含まない長さとする。 ・ 10進法で3桁表示する。

2. データ部1-0

項目	エラーコード	マスタ電文種別コード	予備	電文送信区分	承認番号	端末機識別番号				端末処理通番	処理年月日	追加データ部表示	予備	取引種別	セパレータ	
						設置会社コード	メーカーコード	機種コード	端末通番							
桁数	3	4	4	1	7	5	2	1	5	5	6	1	1	1	1	

図 3.1-2 データ部1-0 フォーマット

表 3.1-18 データ部1-0 項目説明

項番	項目	桁数	内 容
1	エラーコード	3	・エラーコード表（「3. 5」）参照 ・未使用または正常の場合はスペース
2	マスタ電文種別コード （注1）	4	・××要求時は‘0000’固定 ・取消確認（再）指令時は要求電文の電文種別 ・取消（再）指令時は報告電文の電文種別
3	予備	4	・‘0000’固定
4	電文送信区分	1	・‘1’:メモリ送信電文 ・‘2’:オンライン処理電文 ・‘4’:IC売上結果通知電文
5	承認番号	7	・××許可報告の場合の伝票に出力する承認番号 ・未使用の場合はスペース
6	端末機識別番号 設置会社コード	5	・設置／取次カード会社コード ・未使用の場合はスペース
	メーカーコード	2	・メーカーコード ・未使用の場合はスペース
	機種コード	1	・機種コード（ただし‘A’は設定不可） ・未使用の場合はスペース
	端末通番	5	・メーカーコード、機種コード単位の通番 ・未使用の場合はスペース
7	端末処理通番	5	・端末で行った業務処理の通番（伝票番号） （‘99999’の次は、‘00001’に戻る） ・未使用の場合はスペース
8	処理年月日	6	・端末で処理した日付（YYMMDD） ・未使用の場合はスペース
9	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	・‘0’:初期値 ・‘1’:直収CATによる取扱データ ・‘2’:追加データ部あり ・‘3’:直収CATによる取扱データ+追加データ部が存在（注2）
10	予備	1	・‘0’固定
11	取引種別（注3）	1	・‘0’通常取引（初期値） ・‘R’リカーリング取引 ・‘M’:mPOS 取引 ・‘P’:パーシャルシッピング取引 ・‘C’:Unscheduled Credential on File 取引 ・‘I’:Installments 取引
12	セパレータ	1	・‘@’:データの区切を示す

（注1）マスタ電文種別のセットを（1）、及び（2）に示す。マスタ電文種別は仕向会社センタ、およびCAFISセンタでセットする。

（注2）拡張データ部（データ部9-X-Y）を設定する場合には、2または3をセットする。

（注3）取引種別においてリカーリング取引、mPOS取引、パーシャルシッピング取引、Unscheduled Credential on File 取引、Installments 取引の併用はできません。また、その他業務（アドバイス、取引カウンタ精査）、事故カード中継業務では「0:初期値」をセットします。

(1) 取消確認（再）指令の場合（売上処理を例とする）

	仕向会社センタおよびCAFISセンタの送信データ					
	共通制御ヘッダ部			データ部 1-0		各データ部
		電文種別			マスタ 電文種別	
売上要求		3210			0000	
取消確認指令		8930			3210	→
取消確認再指令		8940			3210	↓

(2) 取消（再）指令の場合（売上処理を例とする）

	仕向会社センタおよびCAFISセンタの送信データ					
	共通制御ヘッダ部			データ部 1-0		各データ部
		電文種別			マスタ 電文種別	
売上要求		3210			0000	
売上××報告		32×0			0000	→
取消指令		8910			32×0	
取消再指令		8920			32×0	↓

3. データ部1-1

項 目	業務区分コード	カード区分	JIS1(第2トラック)エンコード内容 (37桁)					予備	音証番号	商品コード	金額	税送料	セパレータ	
			会員番号 (14~19)	セパレータ (1)	有効期限 (4)	サービス コード(3)	任意領域 (10~15)							
			I D	JIS II エンコード内容										
				マニュアル入力										
桁数	1	1	会社コード(7)	会員番号(16)	有効期限(4)	予 備								
			69						4	7	8	7	1	

図 3.1-3 データ部1-1 フォーマット

表 3.1-19 データ部1-1 項目説明

項番	項目	桁数	内 容
1	業務区分コード	1	<ul style="list-style-type: none"> 処理する業務の区分 ‘1’:売上 ‘2’:与信 ‘4’:取消
2	カード区分	1	<ul style="list-style-type: none"> 入力されたカードの種類等の区分 ‘1’: JIS1型(ISO個別申請、ISO一括申請) ‘2’: JIS2型 ‘3’: マニュアル入力 ‘4’: JIS1 型(国内専用) ‘5’: ICチップから取得したJIS1TrackII 相当データ(Tag:57) ‘6’: ICチップから取得したJIS2相当データ(注1)
3	カードエンコード内容 (注3)	69	(一般要求電文時) <ul style="list-style-type: none"> 入力されたカードの磁気ストライプ上に記録されているデータまたはマニュアル入力されたデータ (カード区分=1~4) ICチップから取得した磁気ストライプ相当データ (カード区分=5, 6) 入力データが69桁未満の場合は、残りスペース (障害電文時:カード区分=1または5) <ul style="list-style-type: none"> カードエンコード内容のセパレータから8桁目以降~カードエンコード内容の先頭から37桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など) (注2) (障害電文時:カード区分=2または3または4または6) <ul style="list-style-type: none"> 一般要求電文と同内容
4	暗証番号	4	<ul style="list-style-type: none"> 入力された暗証番号(一般要求電文時) 入力された暗証番号と異なる値(ALL0 など)(障害電文時)
5	商品コード	7	<ul style="list-style-type: none"> 入力された商品コード
6	金額	8	<ul style="list-style-type: none"> 入力された金額
7	税送料	7	<ul style="list-style-type: none"> 入力された税送料
8	セパレータ	1	<ul style="list-style-type: none"> ‘@’:データの区切を示す

(注1)一部のカード会社は、IC チップが国内アプリケーション以外の場合エラーとなる可能性があるため、ご利用にあたっては携帯間でご調整ください。

(注2)一般要求電文と同内容が設定されていても、CAFISセンタではエラーとはせずに取り扱う。

(注3)JIS1(第2トラック)エンコード内容のセパレータは ISO 規格、EMV 規格および各ブランドの仕様を参照してください。

4. データ部1-2

項 目	業務区分コード	照会区分コード	セパレータ	
桁数	1	2	1	

図 3.1-4 データ部 1-2 フォーマット

表 3.1-20 データ部 1-2 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容																
1	業務区分コード	1	処理する業務区分のコード 照会の区分コード=3																
2	照会区分コード	2	・照会する内容を示すコード <table><tr><th>コード</th><th>内 容</th></tr><tr><td>01</td><td>日計照会</td></tr><tr><td>02</td><td>月計照会</td></tr><tr><td>03～09</td><td>予 備</td></tr><tr><td>10～49</td><td>予 備</td></tr><tr><td>50</td><td>紛失・盗難の照会</td></tr><tr><td>51</td><td>与信(残高)照会</td></tr><tr><td>52～99</td><td>予備</td></tr></table>	コード	内 容	01	日計照会	02	月計照会	03～09	予 備	10～49	予 備	50	紛失・盗難の照会	51	与信(残高)照会	52～99	予備
コード	内 容																		
01	日計照会																		
02	月計照会																		
03～09	予 備																		
10～49	予 備																		
50	紛失・盗難の照会																		
51	与信(残高)照会																		
52～99	予備																		
3	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切を示す																

5. データ部1-3

項 目	伝票番号	取消区分コード	取扱区分コード	セパレータ	
桁数	5	1	3	1	

図 3.1-5 データ部 1-3 フォーマット

表 3.1-21 データ部 1-3 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	伝票番号	5	入力された取消伝票番号
2	取消区分コード	1	・取消か返品か等の区分を示すコード 取消=1 返品=2
3	取扱区分コード	3	売上取消／与信取消及び支払方法の区分を示すコード 000～999
4	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切を示す

6. データ部1-4

項 目	業務 区分 コード	取扱 区分 コード	セ パ レー タ	
桁数	1	2	1	

図 3.1-6 データ部 1-4 フォーマット

表 3.1-22 データ部 1-4 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	業務区分コード	1	処理する業務区分のコード その他の区分コード=5
2	取扱区分コード	2	<p>・入力された取扱区分コード</p> <p><u>Y</u> <u>Z</u></p> <p>Y⇒ 0～4: カード入力無し 5～8 :カード入力有り</p> <p>Z⇒ 0 :マニュアル入力データ無し 1～5 :マニュアル入力データ有り(金額データなし) 6～8 :マニュアル入力データ+金額データ有り</p> <p><u>YZ</u></p> <p>91:被仕向センタ折り返しテスト要求 92:CAFISセンタ折り返しテスト要求 98:取引カウンタ精査</p> <p>A1:アドバイス要求</p>
3	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切を示す

7. データ部1-6

項 目	データ区分	会員番号	年号区分	有効期限	無効理由	貴社任意	セパレータ	
桁数	1	16	1	4	2	5	1	

図 3.1-7 データ部 1-6 フォーマット

表 3.1-23 データ部 1-6 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	データ区分	1	データの区分を示す 1:取替え 2:追加 3:削除
2	会員番号	16	事故カードとなった会員番号
3	年号区分	1	有効期限の年号の区分を示す 0:和暦 1:西暦
4	有効期限	4	有効期限
5	無効理由	2	無効となった理由
6	貴社任意	5	貴社任意
7	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切を示す

8. データ部2-1

項目	支払区分コード	セパレータ	
桁数	2	1	

図 3.1-8 データ部 2-1 フォーマット

表 3.1-24 データ部 2-1 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ ‘10’:一括払いを示すコード
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

9. データ部2-2 (パターン1)

項 目	支払区分コード	セパレータ	
桁数	2	1	

図 3.1-9 データ部 2-2 (パターン1) フォーマット

表 3.1-25 データ部 2-2 (パターン1) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ ‘21’:ボーナス払い(パターン1)を示すコード
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切りを示す

10. データ部2-2 (パターン2)

項 目	支払区分コード	データ識別	ボーナス回数	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	

図 3.1-10 データ部 2-2 (パターン2) フォーマット

表 3.1-26 データ部 2-2 (パターン2) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ ‘22’:ボーナス払い(パターン2)を示すコード
2	データ識別	1	・ ‘E’:次項がボーナス回数を示す識別子
3	ボーナス回数	2	・ 入力されたボーナス回数
4	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切りを示す

11. データ部2ー2 (パターン3)

項 目	支 払 区 分 コ ー ド	デ ー タ 識 別	ボ ー ナ ス 月	セ パ レ ー タ	
桁数	2	1	2	1	

図 3.1-11 データ部 2ー2 (パターン3) フォーマット

表 3.1-27 データ部 2ー2 (パターン3) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ ‘23’:ボーナス払い(パターン3)を示すコード
2	データ識別	1	・ ‘F’:次項がボーナス月を示す識別子
3	ボーナス月	2	・ 入力されたボーナス月
4	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切りを示す

12. データ部2-2 (パターン4)

項 目	支払区分コード	データ識別	ボーナス回数	データ識別 (1)	ボーナス月 (1)	データ識別 (2)	ボーナス月 (2)	データ識別 (3)	ボーナス月 (3)	データ識別 (4)	ボーナス月 (4)	データ識別 (5)	ボーナス月 (5)	データ識別 (6)	ボーナス月 (6)	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	

図 3.1-12 データ部 2-2 (パターン4) フォーマット

表 3.1-28 データ部 2-2 (パターン4) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容	
1	支払区分コード	2	・‘24’:ボーナス払い(パターン4)を示すコード	
2	データ識別	1	・‘E’:次項がボーナス回数を示す識別子	
3	ボーナス回数	2	・入力されたボーナス回数	
4	データ識別	1	・‘F’:次項がボーナス月を示す識別子	・入力が省略されたときはセットしない ・最大6回まで繰り返す
5	ボーナス月	2	・入力されたボーナス月	
6	セパレータ	1	・‘@’:データの区切りを示す	

13. データ部2ー2 (パターン5)

項 目	支払区分コード	データ識別	ボーナス回数	データ識別 (1)	ボーナス月 (1)	データ識別 (1)	ボーナス金額 (1)	(2)~(5)	データ識別 (6)	ボーナス月 (6)	セパレータ (6)	ボーナス金額 (6)	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	2	1	8		1	2	1	8	1	

図 3.1-13 データ部 2ー2 (パターン 5) フォーマット

表 3.1-29 データ部 2ー2 (パターン 5) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ ‘25’:ボーナス払い(パターン5)を示すコード
2	データ識別	1	・ ‘E’:次項がボーナス回数を示す識別子
3	ボーナス回数	2	・ 入力されたボーナス回数
4	データ識別	1	・ ‘F’:次項がボーナス月を示す識別子
5	ボーナス月	2	・ 入力されたボーナス月
6	データ識別	1	・ ‘G’:次項がボーナス金額を示す識別子
7	ボーナス金額	8	・ 入力されたボーナス金額
8	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切りを示す

14. データ2—3(パターン1)

項目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	2	1	

図 3.1-14 データ部 2—3 (パターン1) フォーマット

表 3.1-30 データ部 2—3 (パターン1) 項目説明

項番	項目	桁数	内容
1	支払区分コード	2	・‘61’:分割払い(パターン1)を示すコード
2	データ識別	1	・‘A’:次項が支払開始月を示す識別子
3	支払開始月	2	・入力された支払開始月
4	データ識別	1	・‘C’:次項が分割回数を示す識別子
5	分割回数	2	・入力された分割回数
6	セパレータ	1	・‘@’:データの区切りを示す

15. データ部2ー3 (パターン2)

項 目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別 (1)	分割金額 (1)	データ識別 (2)	分割金額 (2)	データ識別 (3)	分割金額 (3)	データ識別 (4)	分割金額 (4)	データ識別 (5)	分割金額 (5)	データ識別 (6)	分割金額 (6)	セパレータ
桁数	2	1	2	1	2	1	8	1	8	1	8	1	8	1	8	1	8	1

図 3.1-15 データ部 2ー3 (パターン2) フォーマット

表 3.1-31 データ部 2ー3 (パターン2) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・‘62’:分割払い(パターン2)を示すコード
2	データ識別	1	・‘A’:次項が支払開始月を示す識別子
3	支払開始月	2	・入力された支払開始月
4	データ識別	1	・‘C’:次項が分割回数を示す識別子
5	分割回数	2	・入力された分割回数
6	データ識別	1	・‘D’:次項が初回金額を示す識別子
7	分割金額	8	・入力された分割金額
8	セパレータ	1	・‘@’:データの区切りを示す

16. データ部2ー3(パターン3)

項 目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	初回金額	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	2	1	8	1	

図 3.1-16 データ部 2ー3 (パターン3) フォーマット

表 3.1-32 データ部 2ー3 (パターン3) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容	
1	支払区分コード	2	・ ‘63’:分割払い(パターン3)を示すコード	
2	データ識別	1	・ ‘A’:次項が支払開始月を示す識別子	・ 入力省略されたときは、 セットしない
3	支払開始月	2	・ 入力された支払開始月	
4	データ識別	1	・ ‘C’:次項が分割回数を示す識別子	
5	分割回数	2	・ 入力された分割回数	
6	データ識別	1	・ ‘B’:次項が初回金額を示す識別子	・ 入力省略されたときは、 セットしない
7	初回金額	8	・ 入力された初回金額	
8	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切りを示す	

17. データ部2ー4

項 目	支 払 区 分 コ ー ド	セ パ レ ー タ	
桁数	2	1	

図 3.1-17 データ部 2ー4 フォーマット

表 3.1-33 データ部 2ー4 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ '80':リボルビング払いを示すコード
2	セパレータ	1	・ '@':データの区切りを示す

18. データ部2ー5 (パターン1)

項 目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	2	1	

図 3.1-18 データ部 2ー5 (パターン1) フォーマット

表 3.1-34 データ部 2ー5 (パターン1) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ '31': ボーナス併用払い(パターン1)を示すコード
2	データ識別	1	・ 'A': 次項が支払開始月を示す識別子 ・ 入力省略されたときは、セットしない
3	支払開始月	2	・ 入力された支払開始月
4	データ識別	1	・ 'C': 次項が分割回数を示す識別子
5	分割回数	2	・ 入力された分割回数
6	セパレータ	1	・ '@': データの区切りを示す

19. データ部2ー5 (パターン2)

項 目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	ボーナス金額	セパレータ	
桁数	2	1	2	1	2	1	8	1	

図 3.1-19 データ部 2ー5 (パターン 2) フォーマット

表 3.1-35 データ部 2ー5 (パターン 2) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・‘32’:ボーナス併用払い(パターン2)を示すコード
2	データ識別	1	・‘A’:次項が支払開始月を示す識別子 ・入力省略されたときは、セットしない
3	支払開始月	2	・入力された支払開始月
4	データ識別	1	・‘C’:次項が分割回数を示す識別子
5	分割回数	2	・入力された分割回数
6	データ識別	1	・‘G’:次項がボーナス金額を示す識別子
7	ボーナス金額	8	・入力されたボーナス金額
8	セパレータ	1	・‘@’:データの区切りを示す

20. データ部2ー5 (パターン3)

項 目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	ボーナス回数	データ識別 (1)	ボーナス月 (1)	データ識別 (2)	ボーナス月 (2)	データ識別 (3)	ボーナス月 (3)	データ識別 (4)	ボーナス月 (4)	データ識別 (5)	ボーナス月 (5)	データ識別 (6)	ボーナス月 (6)	セパレータ
桁数	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1

図 3.1-20 データ部2ー5 (パターン3) フォーマット

表 3.1-36 データ部2ー5 (パターン3) 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・‘33’:ボーナス併用払い(パターン3)を示すコード
2	データ識別	1	・‘A’:次項が支払開始月を示す識別子
3	支払開始月	2	・入力された支払開始月
4	データ識別	1	・‘C’:次項が分割回数を示す識別子
5	分割回数	2	・入力された分割回数
6	データ識別	1	・‘E’:次項がボーナス回数を示す識別子
7	ボーナス回数	2	・入力されたボーナス回数
8	データ識別	1	・‘F’:次項がボーナス月を示す識別子
9	ボーナス月	2	・入力されたボーナス月
10	セパレータ	1	・‘@’:データの区切りを示す

21. データ部2ー5 (パターン4)

項目	支払区分コード	データ識別	支払開始月	データ識別	分割回数	データ識別	ボーナス回数	データ識別 (1)	ボーナス月 (1)	データ識別 (1)	ボーナス金額 (1)	データ識別 (2)	ボーナス月 (2)	データ識別 (2)	ボーナス金額 (2)	データ識別 (3)	ボーナス月 (3)	データ識別 (3)	ボーナス金額 (3)	データ識別 (4)	ボーナス月 (4)	データ識別 (4)	ボーナス金額 (4)	データ識別 (5)	ボーナス月 (5)	データ識別 (5)	ボーナス金額 (5)	データ識別 (6)	ボーナス月 (6)	データ識別 (6)	ボーナス金額 (6)	セパレータ
桁数	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	8	1	2	1	8	1	2	1	8	1	2	1	8	1	2	1	8	1	2	1	8	1

図 3.1-21 データ部2ー5 (パターン4) フォーマット

表 3.1-37 データ部2ー5 (パターン4) 項目説明

項番	項目	桁数	内容
1	支払区分コード	2	・‘34’:ボーナス併用払い(パターン4)を示すコード
2	データ識別	1	・‘A’:次項が支払開始月を示す識別子
3	支払開始月	2	・入力された支払開始月
4	データ識別	1	・‘C’:次項が分割回数を示す識別子
5	分割回数	2	・入力された分割回数
6	データ識別	1	・‘E’:次項がボーナス回数を示す識別子
7	ボーナス回数	2	・入力されたボーナス回数
8	データ識別	1	・‘F’:次項がボーナス月を示す識別子
9	ボーナス月	2	・入力されたボーナス月
10	データ識別	1	・‘G’:次項がボーナス金額を示す識別子
11	ボーナス金額	8	・入力されたボーナス金額
12	セパレータ	1	・‘@’:データの区切りを示す

22. データ部2ー6

項目	支払区分コード	セパレータ	
桁数	2	1	

図 3.1-22 データ部 2ー6 フォーマット

表 3.1-38 データ部 2ー6 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	支払区分コード	2	・ 支払区分を示すコード
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

23. データ部2ー7

項目	承認番号	セパレータ	
桁数	7	1	

図 3.1-23 データ部 2ー7 フォーマット

表 3.1-39 データ部 2ー7 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	承認番号	7	・ オーソリ予約を行なったときに通知された承認番号
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

24. データ部2ー10

項目	カード区分	エンコード内容	暗証番号	セパレータ	
桁数	1	69	4	1	

図 3.1-24 データ部2ー10 フォーマット

表 3.1-40 データ部2ー10 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	カード区分	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入力されたカードの区分 1 : JIS1型 (ISO個別申請、ISO一括申請) 2 : JIS2型 3 : マニュアル入力 4 : JIS1型 (国内専用)
2	エンコード内容 (注3)	69	<ul style="list-style-type: none"> ・ (一般要求電文時) ・ 入力されたカードの磁気ストライプ上に記録されている内容、またはマニュアル入力されたデータ (入力データが69桁未満の場合残りはスペース) ・ (障害電文時: カード区分=1) ・ エンコード内容のセパレータから8桁目以降～エンコード内容の先頭から37桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値 (ALL0 など) (注1) (注2) ・ (障害電文時: カード区分=2または3または4) ・ 一般要求電文と同内容
3	暗証番号	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入力された暗証番号 (一般要求電文時) ・ 入力された暗証番号と異なる値 (ALL0 など) (障害電文時)
4	セパレータ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ‘@’: データの区分を示す

(注1) エンコード内容のフォーマットについては図 3.1-25をご確認ください。

(注2) 一般要求電文と同内容が設定されていても、CAFISセンタではエラーとはせずに取り扱う。

(注3) JIS1 (第2トラック) エンコード内容のセパレータは ISO 規格、EMV 規格および各ブランドの仕様を参照してください。

25. データ部9—n(取引カウンタ精査:サービス終了予告)

項目	制御コード	セパレータ	
桁数	2	1	

図 3.1-26 データ部 9—n フォーマット

表 3.1-41 データ部 9—n 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	制御コード	2	・ 取引カウンタ精査用電文のタイプを示す ・ ‘10’:サービス終了予告指令 ・ ‘20’:サービス終了準備完了報告
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

26. データ部9-n (取引カウンタ精査:サービス終了、サービスカウンタ照会)

項目	制御コード	データパターンコード	カウンタ処理日	仕向カウンタ												被仕向カウンタ												セパレータ		
				CDキャッシング通数	CDキャッシング金額	CDキャッシング照会通数	与信通数	与信金額	売上通数	売上金額	取消通数	取消金額	照会通数	その他通数	事故カード通数	予備	CDキャッシング通数	CDキャッシング金額	CDキャッシング照会通数	与信通数	与信金額	売上通数	売上金額	取消通数	取消金額	照会通数	その他通数		事故カード通数	予備
桁数	2	1	4	5	7	5	5	9	5	9	5	9	5	5	5	24	5	7	5	5	9	5	9	5	9	5	5	5	24	1

図 3.1-27 データ部9-n フォーマット

表 3.1-42 データ部9-n 項目説明 (1/2)

項番	項目	桁数	内容
1	制御コード	2	<ul style="list-style-type: none"> 取引カウンタ精査用電文のタイプを示す ‘12’:サービス終了指令 ‘22’:サービス終了報告 ‘50’:サービスカウンタ照会指令 ‘52’:サービスカウンタ照会報告
2	データパターンコード	1	・ ‘0’:全てのカウンタ精査
3	カウンタ処理日	4	・ オンライン業務取引の月日(MMDD)
4	仕向カウンタ	5	・ CDキャッシング処理において許可で完了した通数(単位:件)
5		7	・ CDキャッシング処理において許可で完了した金額(単位:千円)
6		5	・ CDキャッシング照会処理において許可で完了した通数(単位:件)
7		5	・ 与信処理において許可で完了した通数(単位:件)
8		9	・ 与信処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1)
9		5	・ 売上処理において許可で完了した通数(単位:件)
10		9	・ 売上処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1)
11		5	・ 取消処理において許可で完了した通数(単位:件)
12		9	・ 取消処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1)
13		5	・ 照会処理において許可で完了した通数(単位:件)
14		5	・ その他処理において許可で完了した通数(単位:件)
15		5	・ 事故カード処理において許可で完了した通数(単位:件)
16	予備	24	・ ALL ‘0’ 固定
17	被仕向カウンタ	98	・ 項番4~16と同じ
18	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区切りを示す

(注1) 金額には税送料を含む。

27. データ部9—n (取引カウンタ精査:サービス終了、サービスカウンタ照会)

*ICオンラインオーソリカウンタ有り

項目	制御コード	データパターンコード	カウンタ処理日	仕向カウンタ														被仕向カウンタ		セパレータ
				CDキャッシング通数	CDキャッシング金額	CDキャッシング照会通数	与信通数	与信金額	売上通数	売上金額	取消通数	取消金額	照会通数	その他通数	事故カード通数	ICオンラインオーソリ通数	ICオンラインオーソリ金額	予備	仕向カウンタと同じ	
桁数	2	1	4	5	7	5	5	9	5	9	5	9	5	5	5	5	9	20	108	1

図 3.1-28 データ部9—n フォーマット

表 3.1-43 データ部9—n 項目説明

項番	項目	桁数	内容
1	制御コード	2	<ul style="list-style-type: none"> 取引カウンタ精査用電文のタイプを示す ‘12’:サービス終了指令 ‘22’:サービス終了報告 ‘50’:サービスカウンタ照会指令 ‘52’:サービスカウンタ照会報告
2	データパターンコード	1	・ ‘B’:ICカウンタ(ショッピング・キャッシング)
3	カウンタ処理日	4	・ オンライン業務取引の月日(MMDD)
4	仕向カウンタ	5	・ CDキャッシング処理において許可で完了した通数(単位:件)
5		7	・ CDキャッシング処理において許可で完了した金額(単位:千円)
6		5	・ CDキャッシング照会処理において許可で完了した通数(単位:件)
7		5	・ 与信処理において許可で完了した通数(単位:件)
8		9	・ 与信処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1)
9		5	・ 売上処理において許可で完了した通数(単位:件) (MS売上+IC売上結果通知の元取引許可扱い分)
10		9	・ 売上処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1) (MS売上+IC売上結果通知の元取引許可扱い分)
11		5	・ 取消処理において許可で完了した通数(単位:件)
12		9	・ 取消処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1)
13		5	・ 照会処理において許可で完了した通数(単位:件)
14		5	・ その他処理において許可で完了した通数(単位:件)
15		5	・ 事故カード処理において許可で完了した通数(単位:件)
16		5	・ ICオンラインオーソリ処理において許可で完了した通数(単位:件) (電文送信区分=2, かつカード区分=5, 6分)
17		9	・ ICオンラインオーソリ処理において許可で完了した金額(単位:円) (注1) (電文送信区分=2, かつカード区分=5, 6分)
18	予備	20	・ ALL‘0’固定
19	被仕向カウンタ	108	項番4～18と同じ
20	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

(注1) 金額には税送料を含む。

28. データ部9—n

項目	オペレータ入力情報	セパレータ	
桁数	Max205	1	

図 3.1-29 データ部 9—n フォーマット

表 3.1-44 データ部 9—n 項目説明

項番	項目	桁数	内 容
1	オペレータ入力情報	Max 205	・ オペレータが入力した任意データ
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

29. データ部9－6－1

項目	任意データ部種別	セキュリティコード*			JIS2 面情報			予備	後続データ部表示	セパレータ	
		端末入力可否	店員入力有無	セキュリティコード	端末入力機能有無	JIS2面情報有無	JIS2カード情報				
桁数	4	1	1	4	1	1	6	10	1	1	

図 3.1-30 データ部9－6－1 フォーマット

表 3.1-45 データ部9－6－1 項目説明

項番	項目		桁数	内容
1	任意データ部種別		4	・ 任意データ部の使用目的区分を示す ・ ‘0601’:セキュリティコード用データ部を示す
2	セキュリティコード	端末入力可否	1	・ POS端末等でのセキュリティコードの入力可否を示す。 ‘0’ : 否(初期値) ‘1’ : 可
3		店員入力有無	1	・ 店員によるセキュリティコードの入力有無を示す。 ‘0’ : 無(初期値) ‘1’ : 有
4		セキュリティコード	4	・ 「項番2端末入力可否＝1(可)」かつ「項番3店員入力有無＝1(可)」の場合 入力されたセキュリティコード(右詰残り先頭0)(一般要求電文時) 入力されたセキュリティコードと異なる値(ALL0 など)(障害電文時) ・ 上記以外の場合 ALLスペース
5		端末読取機能有無	1	POS端末等でのJIS2面情報の読取機能の有無を示す。 ‘0’ : 無(初期値) ‘1’ : 入力機能有
6	JIS2面情報	JIS2面情報有無	1	カード上のJIS2面情報の存在有無を示す。 ‘0’ : 正常に読み取れないまたは磁気ストライプ無し ‘1’ : 正常に読み取れた
7		JIS2カード情報	(6)	JIS2面エンコード情報の一部を設定する 初期値:ALLスペース
		JIS2カード情報1	1	磁気ストライプ情報の開始符号から2桁目
		JIS2カード情報2	1	磁気ストライプ情報の開始符号から3桁目
		JIS2カード情報3	4	磁気ストライプ情報の開始符号から8桁目から4桁
8	予備		10	ALL0の固定
9	後続データ部表示		1	後続にデータ部が設定されているかどうかを示す。 ‘0’ : 無(初期値) ‘1’ : 有
10	セパレータ		1	・ ‘ ’@’:データの区切りを示す

31. データ部9-7-1

項目	任意データ部種別	AID	POS エントリモード		加盟店会社コード	加盟店契約会社コード	加盟店分類コード	端末処理日付	端末処理時間	PANシーケンスナンバー	レスポンスコード	IC対応端末フラグ	予備1	CAFIS 認証代行エリア				IC関連データ	後続データ部表示	セパレータ
			PAN入力モード	PIN入力機能										認証代行フラグ	代行結果コード	詳細コード	予備2			
桁数	4	32	2	1	11	11	4	8	6	2	2	1	9	1	2	3	10	可変	1	1

図 3.1-31 データ部9-7-1 フォーマット

表 3.1-46 データ部9-7-1 項目説明 (1/2)

項番	項目	桁数	内容
1	任意データ部種別	4	<ul style="list-style-type: none"> 任意データ部の使用目的区分を示す。 ‘0701’:ICクレジット用のデータ部を示す。
2	AID (Application Identifier)	32	<ul style="list-style-type: none"> ICカードから取得したAID(端末が最終的に選択した AID) 16 バイトの AID を(注1)に示すキャラクタ変換を施しセット 左詰め残りスペース (初期値:スペース)
3	PAN入力モード	2	<ul style="list-style-type: none"> 会員番号の取得方法を示すコード ‘01’:マニュアル入力(非接触) ‘05’:接触ICチップ読込 (EMV 仕様) ‘07’:非接触ICチップ読込 (EMV 仕様) ‘90’:MS読込(接触) ‘91’:MS 読込(非接触) ‘95’:フォールバック
4	PIN入力機能	1	<ul style="list-style-type: none"> PIN入力機能を示す。 ‘0’:不明 ‘1’:PIN入力可能 ‘2’:PIN入力不可 ‘3’:ソフトウェアベースでのPIN入力可能
5	加盟店会社コード	11	<ul style="list-style-type: none"> 取引を実施した仕向センタ(加盟店センタ)の会社コード
6	加盟店契約会社コード	11	<ul style="list-style-type: none"> 加盟店が当該取引において支払契約をしているカード会社の会社コード (再仕向処理時の塗替え不可)
7	加盟店分類コード	4	<ul style="list-style-type: none"> 加盟店の取引業種を識別するためのコード(Card Acceptor Business Code) カード会社が指定するコードを加盟店センタにてセット(初期値 ALL0) (再仕向処理時の塗替え不可)
8	端末処理日付	8	<ul style="list-style-type: none"> 取引を実施した日付(YYYYMMDD)
9	端末処理時間	6	<ul style="list-style-type: none"> 取引を実施した時間(HHMMSS)
10	PANシーケンスナンバー	2	<ul style="list-style-type: none"> 取引を行なったICカードから取得されたPANシーケンスナンバー(Tag:5F34) 初期値 スペース
11	レスポンスコード	2	<ul style="list-style-type: none"> イシューにおける取引の判定結果(カード会社センタにてセット) (Tag:8A) 初期値 スペース
12	IC対応端末フラグ(注2)	1	<ul style="list-style-type: none"> 使われた端末が保有する機能を示す。 非接触非対応の場合は、‘0’または‘1’、非接触対応の場合は‘2’～‘5’を設定する ‘0’:初期値(設定不可)または接触 MS 専用端末(接触 EMV 無し) ‘1’:接触 EMV 対応端末 (MS+IC) 端末 ‘2’:非接触 EMV 対応端末、接触 EMV 無し ‘3’:非接触 EMV 対応端末、接触 EMV 有り ‘4’:非接触 MS 専用端末、接触 EMV 無し ‘5’:非接触 MS 専用端末、接触 EMV 有り
13	外付けデバイス有無フラグ	1	<ul style="list-style-type: none"> mPOS 取引における、COTS 端末※への外付けデバイス有無を示す。 ※市販のスマートフォンやタブレットを始めとする汎用デバイス ‘0’:対象外取引(初期値) ‘1’:外付けデバイス有り ‘2’:外付けデバイス無し(COTS 端末に組み込まれている)
14	予備1	8	<ul style="list-style-type: none"> 予備(ALL0)

表 3.1-46 データ部 9-7-1 項目説明 (2 / 2)

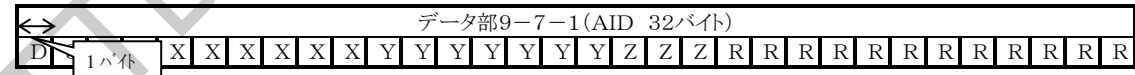
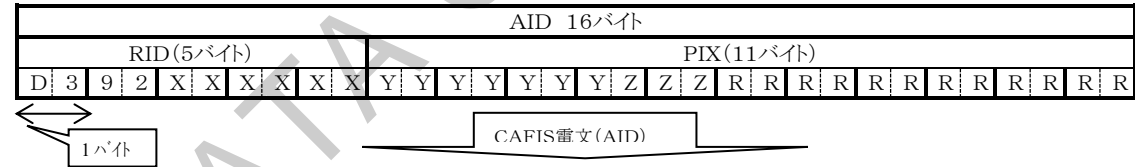
項番	項目	桁数	内 容
15	CAFIS 認証代行エリア	1	・ CAFISにてイシュア認証代行を行なった場合に設定するフラグ(CAFISにて設定) ・ ‘0’ : 初期値(認証代行無し) ‘1’ : イシュア認証
16		2	・ CAFISにてイシュア認証代行時、処理結果を示すコード ・ 初期値 00
17		3	・ 項番15の結果コードに対する詳細コード ・ 初期値 000
18		10	・ 予備(ALLゼロ)
19	IC 関連データ(注3)	1	・ IC関連データのフォーマット種別を示す。 ・ ‘B’ : バイナリ (固定)
20		1	・ エンコードの有無を示す。 ・ ‘0’ : エンコード無(項番22の内容がバイナリデータ) ・ ‘1’ : BASE64によるエンコード有
21		2	・ スペース固定
22		4	・ 後続の格納データのレングスを10進標記でセット(先頭右詰0) 項番19のエンコード種別=1(エンコード有)のときは、エンコード後のデータ長を設定。
23		可変 max 340	・ 端末にて生成されたカード会社へ送信すべきIC関連データ(各ブランドにより規定) TLV(Tag Length Value)形式で格納。
24	後続データ部表示	1	・ 後続データ部の有無を示す。 ・ ‘0’ : 初期値 ・ ‘1’ : 後続データ部有り
25	セパレータ	1	・ データの区切りを示す。(‘@’の固定)

(注1) AID(Applicatipn Identifier)の設定方法

1バイト(8ビット)を、上位4ビット下位4ビットにわけてそれぞれ4ビットをキャラクタ1バイトに置換えます。

<設定例>

AID (1バイトに2キャラクタが設定されて16バイト)



(注2) IC 対応端末フラグの設定方法

IC 対応端末フラグの設定方法について表 3.1-46(付録 1)に示します。

表 3.1-46(付録 1) IC 対応端末フラグ設定

項番	IC 対応端末フラグ	非接触 R/W	接触 EMV	非接触 EMV
1	‘0’:初期値(設定不可)または接触 MS 専用端末(接触 EMV 無し)	無	無	無
2	‘1’:接触 EMV 対応端末 (MS+IC) 端末	無	有	無
3	‘2’:非接触 EMV 対応端末、接触 EMV 無し	有	無	有
4	‘3’:非接触 EMV 対応端末、接触 EMV 有り	有	有	有
5	‘4’:非接触 MS 専用端末、接触 EMV 無し	有	無	無
6	‘5’:非接触 MS 専用端末、接触 EMV 有り	有	有	無

(注3) IC関連データ(格納データ)の設定方法

IC関連データの格納データはバイナリ項目です。

CAFISで伝送上使用するコードにおいてはバイナリ項目が使用できない場合があるため、バイナリ伝送不可である文字コードをご利用される場合には、Base64にてエンコードを施した後伝送を行ないます。

(バイナリ伝送が行なえない文字コード : EBCDICコード/JIS7コード)

Base64に関しては、RFC2045の符号化仕様およびパディング仕様のみを使用します。

エンコードされたデータ内には符号化キャラクタのみが存在し、改行(CR, LF等)のキャラクタは使用しません。また、エンコードの仕様を示すヘッダデータについても使用しません。

エンコードされたデータで使用可能な文字を表 3.1-46(付録 2)に示します。

表 3.1-46(付録 2) エンコードデータで使用可能文字

項番		使用可能文字	対応値
1	数字	0123456789	52～61
2	英大文字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ	0～25
3	英小文字	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	26～51
4	記号	+/-	62～63
5	穴埋め(パディング)	=	—

(注 4) 格納データレングスの設定方法

データ部 1-1・カード区分≠5,6 の場合で、データ部 9-7-1 が存在した場合、データ部 9-7-1・IC 関連データ中の格納データレングスは 0000 を設定します。

32. データ部9-7-3

項目	任意データ部種別	AID	加盟店会社コード	加盟店契約会社コード	MS/IC情報取得区分	オン/オフ区分	取引結果	強制オンライン	強制承認	処理レベル	ブランド識別	POSエントリモード	チップコンディショニングコード	予備1	予備2	予備3	取引情報				後続データ部表示	セパレータ
																	データ部10情報	データ部11情報	データ部12情報	IC関連データ		
桁数	4	32	11	11	2	1	1	1	1	1	2	3	1	72	10	64	31	93	83	可変	1	1

図 3.1-32 データ部9-7-3 フォーマット

表 3.1-47 データ部9-7-3 フォーマット (1/2)

項番	項 目	桁数	内 容
1	任意データ部種別	4	<ul style="list-style-type: none"> 任意データ部の使用目的区分を示す。 ‘0703’: アドバイス電文用のデータ部を示す。
2	AID (Application Identifier)	32	<ul style="list-style-type: none"> ICカードから取得したAID(端末が最終的に選択したAID) 16 バイトの AID をキャラクタ変換しセット 左詰め残りスペース
3	加盟店会社コード	11	<ul style="list-style-type: none"> 取引を実施した仕向センタ(加盟店センタ)の会社コード
4	加盟店契約会社コード	11	<ul style="list-style-type: none"> 加盟店が当該取引において支払契約をしているカード会社の会社コード
5	MS/IC情報取得区分	2	<ul style="list-style-type: none"> カード情報の取得元を示す区分 IC: ICチップより取得 MS: 磁気ストライプより取得 MN: マニュアル入力
6	オン/オフ区分	1	<ul style="list-style-type: none"> オン/オフ区分 ‘0’: オンライン取引 ‘1’: オフライン取引 ‘2’: オンライン不能
7	取引結果	1	<ul style="list-style-type: none"> 取引の結果 ‘0’: 許可 ‘1’: 拒否
8	強制オンライン	1	<ul style="list-style-type: none"> 強制オンライン状態を示す。 ‘0’: 強制オンライン未実施(初期値) ‘1’: 強制オンライン実施
9	強制承認	1	<ul style="list-style-type: none"> 強制承認状況を示す。 ‘0’: 強制承認未実施(初期値) ‘1’: 強制承認による取引
10	処理レベル	1	<ul style="list-style-type: none"> 処理レベルを示す。 ‘0’: IC関連データ無 ‘1’: IC関連データ有
11	ブランド識別	2	<ul style="list-style-type: none"> ブランドの識別を示す。 00: 国内独自 / 35: JCB / 36: ダイナース / 37: アメックス 40: VISA / 50: MasterCard
12	POSエントリモード	3	<ul style="list-style-type: none"> POSエントリモード (表 3.1-46 項番3, 4と同様)
13	チップ・コンディショニング・コード	1	<ul style="list-style-type: none"> チップコンディショニングコード 当該取引が磁気ストライプ取引で且つ磁気ストライプ上のサービスコードが 2xx、6xx時にのみ以下の値を設定。 スペース: 初期値(ICチップ取引時) 1 : 前回取引がICチップ読み込みに成功した 2 : 前回取引がICチップ読み込みに失敗した
14	予備1	72	• ALL0
15	予備2	10	• ALL0
16	予備3	64	• ALL0

表 3.1-47 データ部9－7－3 項目説明（2／2）

項番	項 目	桁数	内 容
	取引情報		アドバイス対象の取引の情報(CAFISのオンライン電文イメージ)
17	承認番号	7	・ 対象取引がオンライン許可として取り扱われた場合で、仕向センタ側で設定が可能な場合には設定 ・ 初期値:スペース
18	端末機識別番号	13	・ 端末機識別番号
19	端末処理通番	5	・ 伝票番号
20	処理年月日	6	・ 端末で処理が行なわれた日(YYMMDD)
21	業務区分コード	1	・ 処理した業務の区分 1:売上
22	カード区分	1	・ 入力されたカードの種類等の区分 (表 3.1-19 項番2と同様)
23	エンコード内容	69	・ 表 3.1-19 項番3と同様
24	商品コード	7	・ 入力された商品コード
25	金額	8	・ 入力された金額
26	税送料	7	・ 入力された税送料
27	データ部2-X情報	83	・ オンラインで使用するデータ部2-X(セパレータを除く) 左詰め残りスペースをセット (内容については表 3.1-24～表 3.1-40を参照)
28	フォーマット種別	1	・ IC関連データのフォーマット種別を示す。 ‘B’の固定
29	エンコード種別	1	・ エンコード種別 ‘0’:エンコード無(格納データがバイナリデータ) ‘1’:Base64によるエンコード有(格納データが Base64 にてエンコード)
30	予備	2	・ スペース
31	格納データレングス	4	・ 格納データのレングスを10進標記でセット(先頭右詰0) (格納データに対してエンコードを実施している場合には、エンコード後のレングスをセット)
32	格納データ	可変 max 308 (注)	・ 端末にて生成されたアドバイスとして必要なIC関連データ TLV(Tag Length Value)形式で格納
33	後続データ部表示	1	・ 後続データ部の有無を示す。 ‘0’:初期値 ‘1’:後続データ部有り
34	セパレータ	1	・ データの区切りを示す(‘@’の固定)

(注) 指定されている Max 値は予備エリアを含んだ値です。1 電文で許容されている最大電文長までの範囲内で拡張される場合があります。

33. データ部9-7-4

項目	任意データ部種別	AID	加盟店会社コード	加盟店契約会社コード	MS/IC情報取得区分	オン/オフ区分	取引結果	強制オンライン	強制承認	処理レベル	ブランド識別	POSエントリモード	チップコンディショニングコード	IC対応端末フラグ	予備1	予備2	予備3	IC関連データ	後続データ部表示	セパレータ
桁数	4	32	11	11	2	1	1	1	1	1	2	3	1	1	71	10	64	可変	1	1

図 3.1-33 データ部 9-7-4 フォーマット

表 3.1-48 データ部 9-7-4 フォーマット (1/2)

項番	項 目	桁数	内 容
1	任意データ部種別	4	・ 任意データ部の使用目的区分を示す。 ・ '0704': IC売上通知用のデータ部を示す。
2	AID (Application Identifier)	32	・ ICカードから取得したAID(端末が最終的に選択したAID) 16 バイトの AID をキヤラクタ変換しセット 左詰め残りスペース
3	加盟店会社コード	11	・取引を実施した仕向センタ(加盟店センタ)の会社コード
4	加盟店契約会社コード	11	・加盟店が当該取引において支払契約をしているカード会社の会社コード
5	MS/IC情報取得区分	2	・ カード情報の取得元を示す区分 IC:ICチップより取得 MS:磁気ストライプより取得 MN:マニュアル入力
6	オン/オフ区分	1	・ オン/オフ区分 '0':オンライン取引 '1':オフライン取引 '2':オンライン不能
7	取引結果	1	・ 取引の結果 '0':許可 '1':拒否
8	強制オンライン	1	・ 強制オンライン状態を示す。 '0':強制オンライン未実施(初期値) '1':強制オンライン実施
9	強制承認	1	・ 強制承認状況を示す。 '0':強制承認未実施(初期値) '1':強制承認による取引
10	処理レベル	1	・ 処理レベルを示す。 '0':IC関連データ無 '1':IC関連データ有
11	ブランド識別	2	・ ブランドの識別を示す。 00:国内独自 / 35:JCB / 36:ダイナース / 37:アメックス 40:VISA / 50:MasterCard
12	POSエントリモード	3	・ POSエントリモード (表 3.1-46 項番3, 4と同様)
13	チップ・コンディショニング・コード	1	・ チップコンディショニングコード 当該取引が磁気ストライプ取引で且つ磁気ストライプ上のサービスコードが 2xx、6xx時にのみ以下の値を設定。 スペース:初期値(ICチップ取引時) 1 :前回取引がICチップ読み込みに成功した 2 :前回取引がICチップ読み込みに失敗した
14	IC 対応端末フラグ	1	・ 使われた端末が保有する機能を示す。 (表 3.1-46 項番12と同様)
15	予備1	71	・ALL0
16	予備2	10	・ALL0
17	予備3	64	・ALL0

表 3.1-48 データ部9－7－4 項目説明（2／2）

項番	項 目	桁数	内 容
18	IC 関連 データ	1	・ IC関連データのフォーマット種別を示す。 ‘B’の固定
19		1	・ エンコード種別 ‘0’:エンコード無(格納データがバイナリデータ) ‘1’:Base64によるエンコード有(格納データがBase64にてエンコード)
20		2	・ スペース
21		4	・ 格納データのレングスを10進表記でセット(先頭右詰0) (格納データに対してエンコードを実施している場合には、エンコード後のレングスをセット)
22		可変 max 308 (注)	・ 端末にて生成されたアドバイスとして必要なIC関連データ TLV(Tag Length Value)形式で格納
23	後続データ部表示	1	・ 後続データ部の有無を示す。 ‘0’:初期値 ‘1’:後続データ部有り
24	セパレータ	1	・ データの区切りを示す(‘@’の固定)

(注) 指定されている Max 値は予備エリアを含んだ値です。1電文で許容されている最大電文長までの範囲内で

拡張される場合があります。

34. データ部E

項目	貴社任意	セパレータ	
桁数	Max700	1	

図 3.1-34 データ部Eフォーマット

表 3.1-49 データ部E 項目説明

項番	項 目	桁数	内 容
1	貴社任意	Max 700	・ オペレータが入力した任意データ
2	セパレータ	1	・ ‘@’:データの区分を示す

35. データ部9-1-2(トークン(inApp、COF)取引用)

項 目	任意データ部種別	データ部レングス	予備	トークン取引情報	後続データ部表示	セパレータ
桁数	4	4	12	89	1	1

図 3.1-35 データ部 9-1-2 フォーマット

表 3.1-50 データ部 9-1-2 項目説明

項番	項 目	桁数 (属性)	内 容
1	任意データ部種別	4 (C)	・拡張データ部を識別するコード (データ部名称が決定すると採番される4桁の数字) データ部9-1-2の場合には'0102'
2	データ部レングス	4 (N)	・データ部9-1-2のデータレングス(10進表示)
3	予備	12 (C)	・初期値 ALL0
4	トークン取引情報	89 (C)	
	Message Version Number	10 (C)	・ALL スペース
	Transaction Identifier	28 (C)	・ALL スペース
	Transaction Status	1 (C)	・取引分類を示す 6 : COF(Credential on File)トークン取引(CIT 取引) 7 : inApp取引(CIT 取引) 8 : COF(Credential on File)トークン取引(MIT 取引) 9 : inApp取引(MIT 取引)
	CAVV Algorithm	1 (C)	・スペース
	トークン用クリプトグラム	28 (C)	・トークン用クリプトグラムの値をセット ・バイナリ領域を Base64 にて 28 桁のキャラクタに変換して設定 ・初期値スペース
	Electronic Commerce Indicator	2 (C)	・Applet から取得した値をセット、取得できなかった場合「05」 ※取得した値が 1 桁の場合は先頭ゼロ編集 ・MasterCard の MDES for Merchants の場合は「05」固定
	PAN (Cardholder PAN)	19 (C)	・スペース
5	後続データ部表示	1 (C)	・後続データ部の有無を示す。 '0':初期値 '1':後続データ部有
6	セパレータ	1 (C)	・'@':データの区切を示す

(注)トークン用クリプトグラムは、Visa の場合、Token Authentication Verification Value、MasterCard の場合、DSRP Cryptogram が該当します。

36. データ部9-1-2(3-D Secure 用)

項 目	任意 データ 部種 別	デー タ部 レン グス	予 備	3-D Secure 項目	後 続 デー タ部 表示	セ パ レー タ
桁数	4	4	12	89	1	1

図 3.1-36 データ部 9-1-2 フォーマット

表 3.1-51 データ部 9-1-2 項目説明

項番	項 目	桁数 (属性)	内 容
1	任意データ部種別	4 (C)	・拡張データ部を識別するコード (データ部名称が決定すると採番される4桁の数字) データ部9-1-2の場合には'0102'
2	データ部長さ	4 (N)	・データ部9-1-2のデータ長さ(10進表示)
3	3D Secure2 用 データ部表示	1 (C)	・3-D Secure2 用データ部9-1-3の有無を示す。(Message Version Number が2.X.X の場合のみ '1'が設定される場合があります) '0':初期値 '1':3-D Secure2用データ部9-1-3有
4	予備	11 (C)	・初期値 ALL0
5	3-D Secure 項目(注)	89 (C)	
	Message Version Number	10 (C)	・VEReq/Res, PAReq/Res または AREq/Res, RReq/Res における Message Version Number を設定 (左詰め残リスペース) 【例】1.0.2△△△△△ ・設定不可能な場合、ALL スペース
	Transaction Identifier	28 (C)	・3-D Secure1 の場合 (Message Version Number が1. 0. 2の場合) 20 桁のバイナリ領域を Base64 にて 28 桁のキャラクタに変換して設定 ・3-D Secure2 の場合 (Message Version Number が2. X.X の場合) スペース ・初期値スペース
	Transaction Status	1 (C)	・取引状態 Y : 認証成功 U : 認証できなかった A : attempt による成功 I : 情報提供のみもしくは 本人認証の免除 ・初期値スペース
	CAVV Algorithm	1 (C)	・CAVV アルゴリズム 0: HMAC 1: CVV 2: CVV with ATN/CVV2 with ATN 3: SPA AAV 4: AEVV Algorithm 9: 取引毎の指定なし (Message Version Number が2. X.X の場合) ・初期値スペース
	Cardholder Authentication Verification Value	28 (C)	・Accountholder Authentication Value ・バイナリ領域を Base64 にて 28 桁のキャラクタに変換して設定 ・初期値スペース
	Electronic Commerce Indicator	2 (C)	・ECI ・初期値スペース
	PAN (Cardholder PAN)	19 (C)	・3-D Secure1 の場合 (Message Version Number が1. 0. 2の場合) VEReq における Cardholder PAN を設定 (左詰め残リスペース) (CAVV の検証に使用する PAN) ・3-D Secure2 の場合 (Message Version Number が2. X.X の場合) AREq における Cardholder Account Number を設定 (左詰め残リスペース) (CAVV の検証に使用する PAN) ・初期値スペース
6	後続データ部表示	1 (C)	・後続データ部の有無を示す。 '0':初期値 '1':後続データ部有
7	セパレータ	1 (C)	・ '@ ' : データの区切を示す

(注) 3-D Secure 項目は可変として構築します。

各項目については固定長としますが、今後の項目追加に対しては柔軟に対応できることとします。

項目追加時には、CAFISでは項目の並びおよび桁数(固定長)を随時指定していくこととします。

このため、予備項目としては事前に定義しません。

37. データ部9-1-3 (3-D Secure2 用)

項 目	任意 データ 部種別	データ 部レン グス	3-D Secure2 項目	後続 データ 部表示	セパ レータ
桁数	4	4	128	1	1

図 3.1-37 データ部 9 - 1 - 3 フォーマット

表 3.1-52 データ部 9 - 1 - 3 項目説明

項番	項 目	桁数 (属性)	内 容
1	任意データ部種別	4 (C)	・拡張データ部を識別するコード (データ部名称が決定すると採番される4桁の数字) データ部9-1-3の場合には‘0103’
2	データ部レングス	4 (N)	・データ部9-1-3のデータレングス(10進表示) ‘0138’ 固定の数値
3	3-D Secure2 項目	128 (C)	
	DS Transaction ID	36 (C)	・Ares における DS Transaction ID を設定 ・初期値スペース
	3DS Server Transaction ID	36 (C)	・Ares における3DS Server Transaction ID を設定 ・初期値スペース
	3DSecure 拡張領域	56 (C)	・初期値 ALL0
4	後続データ部表示	1 (C)	・後続データ部の有無を示す。 ‘0’:初期値 ‘1’:後続データ部有
5	セパレータ	1 (C)	・‘@’:データの区切を示す

38. データ部9-10-4(ブランドデータ用)

項目	任意データ部種別	ブランド識別	予備	エンコード種別	情報レングス	ブランド情報				後続データ部表示	セパレータ
						項目分繰り返し					
						FieldNo	SubFieldNo	Length	Value		
桁数	4	1	5	1	3	1	1	1	可変	1	1

図 3.1-38 データ部 9-10-4 フォーマット

表 3.1-53 データ部 9-10-4 項目説明

項番	項目		桁数(属性)	内容		
1	任意データ部種別		4(C)	・拡張データ部を識別するコード ‘1004’: ブランドデータ部		
2	ブランド識別		1(C)	・ブランドを示す ‘1’: VISA ‘2’: MasterCard ‘3’: JCB ‘4’: iD		
3	予備		5(C)	・「00000」固定		
4	エンコード種別		1(C)	・ブランド情報の項目の Base64 有無を示す ‘0’: Base64 無し ‘1’: Base64 有り		
5	情報レングス		3(N)	・ブランド情報の byte 数(右詰め前0埋め) Base64 ありの場合は Base64 後の byte 数		
6	ブランド情報 (注1)	項目	FieldNo	1(B)	・項目の FieldNo をバイナリで設定 例) ‘0x01’ ※「0x」は 16 進数を表す記載であり、実際には設定しない	
7			SubFieldNo	1(B)	・項目の SubFieldNo をバイナリで設定 例) ‘0x01’ ※「0x」は 16 進数を表す記載であり、実際には設定しない	
8			Length	1(B)	・項目の Value の byte 数をバイナリで設定 例) 3byte なら 00000011=0x03、19byte なら 00010011=0x13 ※「0x」は 16 進数を表す記載であり、実際には設定しない	
9			Value	可変(注 1)	・項目の Value を設定	
10		項目分繰返し	FieldNo	1(B)	・項目の FieldNo をバイナリで設定	
11				SubFieldNo	1(B)	・項目の SubFieldNo をバイナリで設定
12				Length	1(B)	・項目の Value の byte 数をバイナリで設定
13				Value	可変(注 1)	・項目の Value を設定
14	後続データ部表示		1(C)	・後続データ部の有無を示す。 ‘0’:後続データ部なし(初期値) ‘1’:後続データ部あり		
15	セパレータ		1(C)	・‘@’:データの区切りを示す		

(注1) ブランド情報の設定内容は、<付録2>に示します。ブランド情報の項目設定順は任意です。

3.2 電文内容の推移

仕向センタ、CAFISセンタ、被仕向センタ間でやりとりされる電文の電文推移一覧表を表 3.2-1 に示します。また、電文内容の推移について表 3.2-2～表 3.2-14 に示します。

なお、表 3.2-2～表 3.2-14 の表中の＊は受信した内容を変更しない項目（以下、保障項目と記します）です。

表 3.2-1 電文推移一覧表

項番	区分	電文内容	表番	対象業務
1	一般電文	一般電文要求処理 1 (与信・売上・取消・照会・事故カード中継)	表 3.2-2	(MS 売上処理を含む)
2		一般電文要求処理 2 (I C 売上)	表 3.2-3	IC 売上結果通知処理
3		一般電文要求処理 3 (I C オンラインオーソリ売上)	表 3.2-4	IC オンラインオーソリ処理
4		一般電文要求処理 4 (その他要求：アドバイス - CAFIS 折返し)	表 3.2-5	
5		一般電文要求処理 5 (その他要求：アドバイス - カード会社中継)	表 3.2-6	
6		一般電文要求処理 6 (その他要求：サービス終了予告)	表 3.2-7	
7		一般電文要求処理 7 (その他要求：サービス終了、サービスアカウント照会)	表 3.2-8	
8	障害電文	取消（再）処理	表 3.2-9	仕向センタ発
9		取消確認（再）処理	表 3.2-10	
10		取消（再）処理	表 3.2-11	CAFIS 発
11		取消確認（再）処理	表 3.2-12	
12	異常報告	一般電文	表 3.2-13	CAFIS でエラーコード CXX を付与するケース
13		障害電文	表 3.2-14	

表 3.2-2 一般要求電文処理の電文推移 1 (与信・MS 売上・取消・照会・事故カード中継) 1/2

電文方向		仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
電文項目	桁数	CAFIS センタ		カード会社センタ	
		仕向センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ
共通制御部	経路番号	4	仕向経路番号	被仕向経路番号	*
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番をセット	*	*
	センタ識別番号	2	00	センタ識別番号	*
	回線番号	3	000	*	*
	CAFIS処理通番	6	スペース	CAFIS処理通番	*
	仕向会社コード	7	仕向センタの 接続会社コード	*	*
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの 接続会社サブコード	*	*
	被仕向会社コード	7	被仕向センタの 接続会社コード	*	*
	被仕向会社サブコード	4	被仕向センタの 接続会社サブコード	*	*
	電文種別コード	4	要求電文種別コード	*	報告電文種別コード
	CAFIS処理月日	4	0000	CAFIS処理月日	*
	CAT送信状態表示	1	0	*	*
	仕向処理日付	2	仕向センタ処理日	*	*
	代行電文報告表示	2	00	*	*
	代行電文エラー表示	3	000	*	*
	代行再仕向表示	1	0	*	*
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	トレーラレングス	トレーラレングス
データ部1-0	エラーコード	3	スペース	*	許可時:スペース 拒否時:エラーコード
	マスタ電文種別	4	0000	*	*
	予備	4	0000	*	*
	電文送信区分	1	1または2	*	*
	承認番号	7	スペース または 承認番号	*	許可時:承認番号 拒否時:スペース
	端末機識別番号	13	端末機識別番号	*	*
	端末処理通番	5	端末処理通番	*	*
	処理年月日	6	加盟店センタ 処理年月日	*	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	追加データ部表示をセット	追加データ部表示をセ ット	追加データ部表示をセ ット
	予備	1	0	*	*
	取引種別	1	取引種別の内容をセット	*(注2)	仕向センタより受信した 取引種別
	セパレータ	1	@	*	*
	データ部E(照会要求)		—	—	セット(照会処理)
データ部(注1)	データ部1-x		次ページに記載		
	データ部2-x				
	データ部9-n				
	データ部9-6-1				
	データ部9-7-1				
	データ部9-1-2				
	データ部9-1-3				
	データ部9-10-4				

(注1) 各要求電文種別に必要なデータ部がセットされます。要求に対応するデータ部については表 3.1-7～表 3.1-16を参照。

(注2) 取引種別はリカーリング取引を示す‘R’、mPOS 取引を示す‘M’、パースナルシップメント取引を示す‘P’、Unscheduled Credential on File 取引を示す‘C’、Installments 取引を示す‘I’が設定されてきた場合、CAFIS センタで一律‘0’に編集します。ただし、予め CAFIS センタに申込書で申請頂いたカード会社センタの場合、仕向センタが設定した取引種別の内容を保障して中継いたします。

表 3.2-2 一般要求電文処理の電文推移 1 (与信・MS売上・取消・照会・事故カード中継) 2/2

電文項目	電文方向		仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
	桁数	センタ	仕向センタ	仕向センタ	カード会社センタ	仕向センタ
共通制御ヘッ			前ページに記載			
データ部 (注)	データ部1-x	要求電文種別に対応したデータ部内容(表 3.1-18～表 3.1-45)をセット。 電文種別毎に設定可能なデータ部については表 3.1-7～表 3.1-16を参照		*	*	*
	データ部2-x			*	*	*
	データ部9-n			*	*	*
	データ部9-6-1			(注1)	*	(注2)
データ部 (注)	データ部9-7-1	要求電文種別に対応したデータ部内容(表 3.1-46、表 3.1-50、表 3.1-51、表 3.1-52)をセット。 電文種別毎に設定可能なデータ部については表 3.1-7～表 3.1-14を参照		(注1)	*	(注2)
	データ部9-1-2			(注1) (注3)	*	(注2) (注4)
	データ部9-1-3			(注1)	*	(注2)
	データ部9-10-4	MAX 316	表 3.1-53 の内容をセット (注5)	(注5)	表 3.1-53 の内容をセット (注5)	(注5)
	データ部E(照会要求)		—	—	必要な場合データ部をセット(照会処理)	*

(注) 各要求電文種別に必要なデータ部がセットされます。要求に対応するデータ部については表 3.1-7～表 3.1-16を参照。

(注1) データ部9-6-1、9-7-1、9-1-2、9-1-3は本データ部の利用契約を頂いたカード会社センタへのみ中継します。

(注2) 要求中継時にデータ部の削除を行った場合、仕向センタへ要求時受信内容を保障して中継します。

(注3) 被仕向の契約によりデータ部9-1-3を削除した場合、下記のとおりデータ部9-1-2の項目を編集します。

- ・3DSecure2 用データ部表示:「1」から「0」に編集します。
- ・CAVV Algorithm:「9」の場合、スペースに編集します。

(注4) 要求中継時に(注4)の項目編集を行った場合、仕向センタへ要求時受信内容を保障して中継します。

(注5) データ部9-10-4は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.2-3 一般要求電文処理の電文推移2 (IC売上結果通知)

電文方向			仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
電文項目	センタ格数	CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ	仕向センタ	
		仕向センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ	
共通制御部	経路番号	4	仕向経路番号	被仕向経路番号	*	仕向センタより 受信した仕向経路番号
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番をセット	*	*	*
	センタ識別番号	2	00	センタ識別番号	*	*
	回線番号	3	000	*	*	*
	CAFIS処理通番	6	スペース	CAFIS処理通番	*	*
	仕向会社コード	7	仕向センタの 接続会社コード	*	*	*
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの 接続会社サブコード	*	*	*
	被仕向会社コード	7	被仕向センタの 接続会社コード	*	*	*
	被仕向会社サブコード	4	被仕向センタの 接続会社サブコード	*	*	*
	電文種別コード	4	要求電文種別コード	*	報告電文種別コード	*
	CAFIS処理月日	4	0000	CAFIS処理月日	*	*
	CAT送信状態表示	1	0	*	*	*
	仕向処理日付	2	仕向センタ処理日	*	*	*
	代行電文報告表示	2	00	*	*	*
	代行電文エラー表示	3	000	*	*	*
	代行再仕向表示	1	0	*	*	*
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	トレーラレングス	トレーラレングス	トレーラレングス
データ部10	エラーコード	3	スペース	*	許可時:スペース 拒否時:エラーコード	*
	マスタ電文種別	4	0000	*	*	*
	予備	4	0000	*	*	*
	電文送信区分	1	4	*	*	*
	承認番号	7	IC オンラインにより承認番号が取得できている場合には、承認番号をセット。 オンライン取引および上記以外はスペース	*	*	*
	端末機識別番号	13	端末機識別番号	*	*	*
	端末処理通番	5	端末処理通番	*	*	*
	処理年月日	6	加盟店センタ 処理年月日	*	*	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	追加データ部表示をセット	追加データ部表示をセ ット	追加データ部表示をセ ット	追加データ部表示をセ ット
	予備	1	0	*	*	*
	取引種別	1	0	*	*	*
	セパレータ	1	@	*	*	*
	データ部	データ部1-x	データ部内容(表 3.1-18～表 3.1-40、表 3.1-48)をセット。		*	*
データ部2-x		*			*	*
データ部9-7-4		(注1) (注2)			*	(注2) (注3)
データ部9-10-4		MAX 316	表 3.1-53 の内容をセット (注4)	(注4)	表 3.1-53 の内容をセット (注4)	(注4)

(注1) データ部9-7-4は、取扱不可である旨を契約している被仕向センタへは削除して中継します。

(注2) IC関連データ部の格納データは、CAFISの接続手順によりBASE64によるエンコード／デコード処理を行ないます。

(注3) 要求中継時にデータ部の削除を行なった場合、仕向センタへ報告中継時受信内容を保障して中継します。

(注4) データ部9-10-4は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.2-4 一般要求電文処理の電文推移3 (ICオンラインオーソリ)

電文方向			仕向センタ→	CAFIS センタ→	カード会社センタ→	CAFIS センタ→
電文項目			仕向センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ
共通制御ヘッダ部	経路番号	4	仕向経路番号	被仕向経路番号	*	仕向センタより受信した仕向経路番号
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番をセット	*	*	*
	センタ識別番号	2	00	センタ識別番号	*	*
	回線番号	3	000	*	*	*
	CAFIS処理通番	6	スペース	CAFIS処理通番	*	*
	仕向会社コード	7	仕向センタの接続会社コード	*	*	*
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの会社サブコード	*	*	*
	被仕向会社コード	7	被仕向センタの接続会社コード	*	*	*
	被仕向会社サブコード	4	被仕向センタの会社サブコード	*	*	*
	電文種別コード	4	要求電文種別コード	*	報告電文種別コード	*
	CAFIS処理月日	4	0000	CAFIS処理月日	*	*
	CAT送信状態表示	1	0	*	*	*
	仕向処理日付	2	仕向センタ処理日	*	*	*
	代行電文報告表示	2	00	*	*	*
	代行電文エラー表示	3	000	*	*	*
	代行再仕向表示	1	0	(注1)	*	*
	トレーラ・レンジス	3	トレーラレンジス	トレーラレンジス	トレーラレンジス	トレーラレンジス
データ部1-0	エラーコード	3	スペース	*	許可時:スペース 拒否時:エラーコード	*
	マスタ電文種別	4	0000	*	*	*
	予備	4	0000	*	*	*
	電文送信区分	1	2	*	*	*
	承認番号	7	スペース または 承認番号	*	許可時:承認番号 拒否時:スペース	*
	端末機識別番号	13	端末機識別番号	*	*	*
	端末処理通番	5	端末処理通番	*	*	*
	処理年月日	6	加盟店センタ処理年月日	*	*	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	追加データ部表示をセット	*	追加データ部表示をセット	*
	予備	1	0	*	*	*
	取引種別	1	取引種別の内容をセット	* (注4)	*	仕向センタより受信した取引種別
	セパレータ	1	@	*	*	*
データ部(注)	データ部1-1	98	データ部内容をセット	*	*	*
	データ部2-x	可変	データ部内容をセット	*	*	*
	任意データ部種別	4	0701	*	*	*
	AID	32	AID	*	*	*
	PAN入力モード	2	PAN入力モード	*	*	*
	PIN入力機能	1	PIN入力機能	*	*	*
	加盟店会社コード	11	加盟店会社コード	*	*	*
	加盟店契約会社コード	11	加盟店契約会社コード	*	*	*
	加盟店分類コード	4	加盟店分類コード	*	*	*
	端末処理日付	8	端末処理日付	*	*	*
	端末処理時間	6	端末処理時間	*	*	*
	PANシーケンスナンバー	2	PANシーケンスナンバー	*	*	*
	レスポンスコード	2	スペース	*	レスポンスコードをセット	*
	IC対応端末フラグ	1	IC対応端末フラグ	*	*	*
	予備1	9	ALLO	*	*	*
	認証代行フラグ	1	0	(注2)	*	*
	代行結果コード	2	00	(注2)	*	*
	代行結果詳細コード	3	000	(注2)	*	*
	予備2	10	ALLO	*	*	*
	IC関連データ	可変	IC関連データ	(注3)	IC関連データをセット	(注3)
	後続データ部表示	1	0	*	*	*
	セパレータ	1	@	*	*	*
	データ部9-10-4	MAX316	表 3.1-53 の内容をセット(注5)	(注5)	表 3.1-53 の内容をセット(注5)	(注5)

(注) 各要求電文種別に必要なデータ部がセットされます。要求に対応するデータ部については表 3.1-7～表 3.1-16を参照。

(注1) アクワイヤラ代行サービス利用時に設定されます。

(注2) イシュア認証代行サービス利用時に設定されます。

(注3) 属性関連データ部の格納データは暗号化する場合、BASE64によるエンコード/デコード処理を行ないます。

(注4) 取引種別はリカーリング取引を示す‘R’、mPOS 取引を示す‘M’、バーチャルシブメント取引を示す‘P’、Unscheduled Credential on File 取引を示す‘C’、Installments 取引を示す‘I’が設定されてきた場合、CAFIS センタで一律‘0’に編集します。ただし、予め CAFIS センタに申込書で申請頂いたカード会社センタの場合、仕向センタが設定した取引種別の内容を保障して中継いたします。

(注5) データ部9-10-4は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

【ICオンラインオーソリ処理において自社発行以外のICカードに対してIC固有業務を実施するカード会社センタまたはIC処理代行事業者での注意点】

ICオンラインオーソリ処理に対してIC固有業務のみを実施し、利用されたカードに対するオーソリゼーションを行わないセンタは、オーソリゼーションを行なうために再度当該取引をカードを発行したカード会社センタへ再仕向を行なう場合があります。

CAFIS経由でへ再仕向を行なう場合には、既にIC固有業務が終了されている取引ということでデータ部9-7-1を以下のように編集することが必要となります。(下記の2種類から選択可能)

- (1) データ部9-7-1のIC関連データ(格納データ)の削除
- ・ IC関連データの格納データを削除します。
(格納データレンジス=0000, 格納データ=削除)

- (2) データ部9-7-1の削除
- ・ データ部9-7-1自体を削除

それぞれの場合のIC固有業務実施後の再仕向を行なう場合の電文推移について表 3.2-4(付録1, 2)に示します。

*IC固有業務 : TVRチェック、CVRチェック、ARQC検証、データ認証結果検証等

表 3.2-4 (付録 1) IC 固有業務実施センタの再仕向処理における電文推移

電文項目		電文方向		CAFISセンタ→ IC固有業務実施センタ	IC固有業務実施センタ→ CAFISセンタ (→カード発行センタ)	(カード発行センタ)→ CAFISセンタ→ IC固有業務実施センタ	IC固有業務実施センタ→ CAFISセンタ
		センタ 格納		①CAFIS	②IC固有業務実施センタ	③CAFIS	④IC固有業務実施センタ
共通制御部	経路番号	4	被向経路番号	仕向経路番号	*	①と同様の内容	
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番	仕向処理通番	*	同上	
	センタ識別番号	2	センタ識別番号	00	センタ識別番号	同上	
	回線番号	3	000	000	*	同上	
	CAFIS処理通番	6	CAFIS処理通番	スペース	CAFIS処理通番	同上	
	仕向会社コード	7	仕向センタの 接続会社コード	自センタの会社コード	*	同上	
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの 接続会社サブコード	自センタのサブコード	*	同上	
	被仕向会社コード	7	IC固有業務実施センタの 会社コード	カード発行センタの 会社コード	*	同上	
	被仕向会社サブコード	4	IC固有業務実施センタの サブコード	カード発行センタの サブコード	*	同上	
	電文種別コード	4	要求電文種別コード	*	報告電文種別コード	報告電文種別コード	
	CAFIS処理月日	4	CAFIS処理月日	0000	CAFIS処理月日	①と同様の内容	
	CAT送信状態表示	1	0	0	*	同上	
	仕向処理日付	2	仕向処理日付	仕向処理日付	*	同上	
	代行電文報告表示	2	00	0	*	同上	
	代行電文エラー表示	3	000	00	*	同上	
	代行再仕向表示	1	代行再仕向表示	0	*	同上	
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	トレーラレングス	トレーラレングス	トレーラレングス	
データ部	データ部1-0	47	データ部内容をセット		*		
	データ部1-1	98	データ部内容をセット	通常の再仕向処理 と同様	*	通常の再仕向処理 と同様	
	データ部2-x		データ部内容をセット		*		
	任意データ部種別	4	0701	*	*	*	*
	AID	32	AID	*	*	*	*
	PAN入力モード	2	PAN入力モード	*	*	*	*
	PIN入力機能	1	PIN入力機能	*	*	*	*
	加盟店会社コード	11	加盟店会社コード	*	*	*	*
	加盟店契約会社コード	11	加盟店契約会社コード	*	*	*	*
	加盟店分類コード	4	加盟店分類コード	*	*	*	*
	端末処理日付	8	端末処理日付	*	*	*	*
	端末処理時間	6	端末処理時間	*	*	*	*
	PANシーケンスナンバー	2	カードシーケンスナンバー	*	*	*	*
	レスポンスコード	2	スペース	*	*	レスポンスコードをセット	
	IC対応端末フラグ	1	IC対応端末フラグ	*	*	*	*
	予備1	9	ALL0	*	*	*	*
	認証代行フラグ	1	0	*	*	*	*
	代行結果コード	2	00	*	*	*	*
	代行結果詳細コード	3	000	*	*	*	*
	予備2	10	ALL0	*	*	*	*
	IC 関連 データ	フォーマット種別	1	B	*	*	*
		エンコード種別	1	0または1	*	*	*
		予備	2	スペース	*	*	*
		格納データレングス	4	格納データレングス	0000	*	格納データレングス
	格納データ	可 変	格納データ	(削除)			報告電文用 格納データ
	後続データ部表示 セパレータ	1	0	*	*	*	*
		1	@	*	*	*	*
	データ部9-10-4	MAX 316	表 3.1-53 の内容をセット(注1)	(注1)	表 3.1-53 の内容をセット(注1)	(注1)	

(注1) データ部9-10-4は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

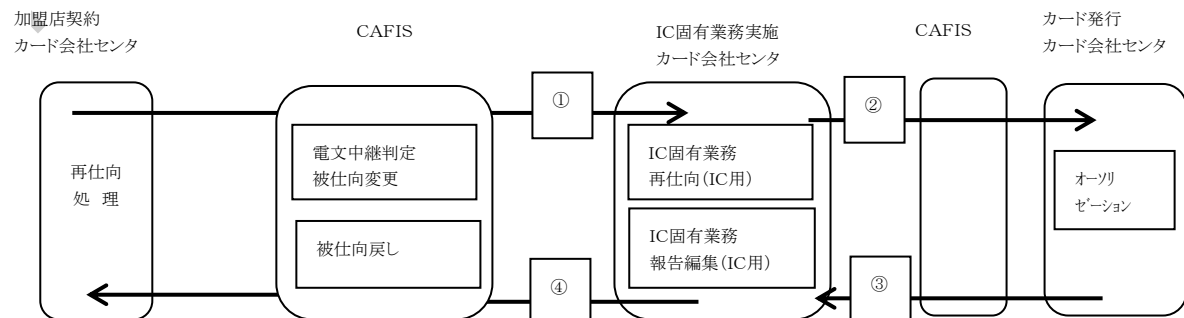


表 3.2-4 (付録2) I C 固有業務実施センタの再仕向処理における電文推移

電文方向		CAFISセンタ → IC固有業務実施センタ	IC固有業務実施センタ → CAFISセンタ (→カード発行センタ)	(カード発行センタ) → CAFISセンタ IC固有業務実施センタ	IC固有業務実施センタ → CAFISセンタ
電文項目		①CAFIS	②IC固有業務実施センタ	③CAFIS	④IC固有業務実施センタ
共通制御部	経路番号	4 被向経路番号	仕向経路番号	*	①と同様の内容
	仕向処理通番	6 仕向センタの処理通番	仕向処理通番	*	同上
	センタ識別番号	2 センタ識別番号	00	センタ識別番号	同上
	回線番号	3 000	000	*	同上
	CAFIS処理通番	6 CAFIS処理通番	スペース	CAFIS処理通番	同上
	仕向会社コード	7 仕向センタの 接続会社コード	自センタの会社コード	*	同上
	仕向会社サブコード	4 仕向センタの 接続会社サブコード	自センタのサブコード	*	同上
	被仕向会社コード	7 IC固有業務実施センタの 会社コード	カード発行センタの 会社コード	*	同上
	被仕向会社サブコード	4 IC固有業務実施センタの サブコード	カード発行センタの サブコード	*	同上
	電文種別コード	4 要求電文種別コード	*	報告電文種別コード	報告電文種別コード
	CAFIS処理月日	4 CAFIS処理月日	0000	CAFIS処理月日	①と同様の内容
	CAT送信状態表示	1 0	0	*	同上
	仕向処理日付	2 仕向処理日付	仕向処理日付	*	同上
	代行電文報告表示	2 00	0	*	同上
	代行電文エラー表示	3 000	00	*	同上
	代行再仕向表示	1 代行再仕向表示	0	*	同上
	トレーラ・レングス	3 トレーラ・レングス	トレーラ・レングス	トレーラ・レングス	トレーラ・レングス
データ部	データ部1ー0	47 データ部内容をセット	通常の再仕向処理 と同様	*	通常の再仕向処理 と同様
	データ部1ー1	98 データ部内容をセット		*	
	データ部2ーx	データ部内容をセット		*	
	任意データ部種別	4 0701			要求受信内容保障
	AID	32 AID			同上
	PAN入力モード	2 PAN入力モード			同上
	PIN入力機能	1 PIN入力機能			同上
	加盟店会社コード	11 加盟店会社コード			同上
	加盟店契約会社コード	11 加盟店契約会社コード			同上
	加盟店分類コード	4 加盟店分類コード			同上
	端末処理日付	8 端末処理日付			同上
	端末処理時間	6 端末処理時間			同上
	PANシーケンスナンバー	2 カードシーケンスナンバー			同上
	レスポンスコード	2 スペース			レスポンスコードをセット
	IC対応端末フラグ	1 IC対応端末フラグ			要求受信内容保障
	予備1	9 ALLO			要求受信内容保障
	認証代行フラグ	1 0			同上
	代行結果コード	2 00			同上
	代行結果詳細コード	3 000			同上
	予備2	10 ALL0			同上
	フォーマット種別	1 B			同上
	エンコード種別	1 0または1			同上
	予備	2 スペース			同上
	格納データ・レングス	4 格納データ・レングス			格納データ・レングス
	格納データ	可変 格納データ			報告電文用 格納データ
	後続データ部表示	1 0			要求受信内容保障
	セパレータ	1 @			@
	データ部9ー10ー4	MAX 316 表 3.1-53 の内容をセット(注1)	(注1)	表 3.1-53 の内容をセット(注1)	(注1)

(注1) データ部9ー10ー4は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

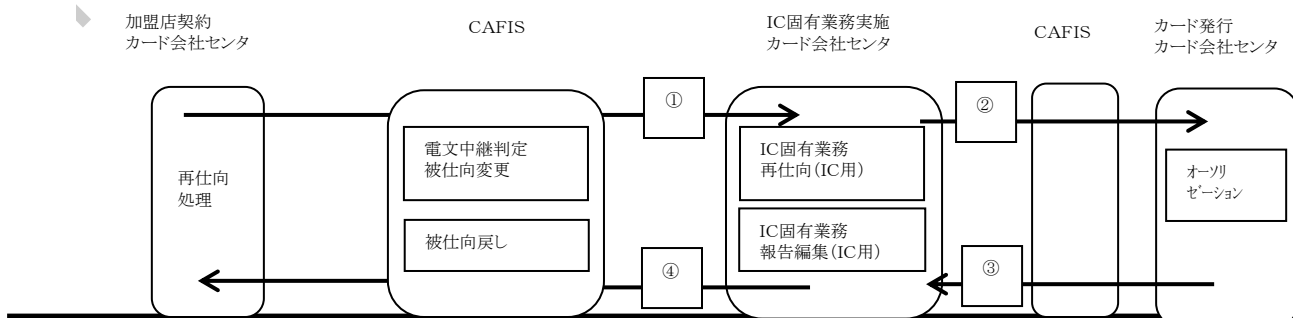


表 3.2-5 一般要求電文処理の電文推移 4 (アドバイス:CAFIS折返し)

電文方向		仕向センタ→	CAFIS センタ	CAFIS センタ→	仕向センタ
電文項目	センタ折返	仕向センタ		CAFIS センタ	
共通制御ヘッダ部	経路番号	4	仕向経路番号	*	
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番をセット	*	
	センタ識別番号	2	00	センタ識別番号	
	回線番号	3	000	*	
	CAFIS処理通番	6	スペース	CAFIS処理通番	
	仕向会社コード	7	仕向センタの 接続会社コード	*	
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの 接続会社サブコード	*	
	被仕向会社コード	7	被仕向センタの 接続会社コード	*	
	被仕向会社サブコード	4	被仕向センタの 接続会社サブコード	*	
	電文種別コード	4	3510	報告電文種別コード	
	CAFIS処理月日	4	0000	CAFIS処理月日	
	CAT送信状態表示	1	0	*	
	仕向処理日付	2	仕向センタ 処理日	*	
	代行電文報告表示	2	00	*	
	代行電文エラー表示	3	000	*	
	代行再仕向表示	1	0	*	
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	*	
データ部1-0	エラーコード	3	スペース	許可時:スペース 異常時:エラーコード	
	マスタ電文種別	4	0000	*	
	予備	4	0000	*	
	電文送信区分	1	2	*	
	承認番号	7	スペース	*	
	端末機識別番号	13	端末機識別番号	*	
	端末処理通番	5	端末処理通番	*	
	処理年月日	6	加盟店セン処理年月日	*	
	直取CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	追加データ部表示をセット	*	
	予備	1	0	*	
	取引種別	1	0	*	
	セパレータ	1	@	*	
1-4	業務区分コード	1	5	*	
	取扱区分コード	2	A1	*	
	セパレータ	1	@	*	
データ部9-7-3	任意データ部種別	4		*	
	AID	32		*	
	加盟店会社コード	11	データ部9-7-3のデータ内容に準拠し、全ての項目を仕向センタにて設定。 (表 3.1-47 参照)	*	
	加盟店契約会社コード	11		*	
	MS/IC 情報取得区分	2		*	
	オン/オフ区分	1		*	
	取引結果	1		*	
	強制オンライン	1		*	
	強制承認	1		*	
	処理レベル	1		*	
	ブランド識別	2		*	
	POSエンドリモード	2		*	
	チップコンディションコード	1		*	
	予備1	72		*	
	予備2	10		*	
	予備3	64		*	
	データ部1-0情報	31		*	
	データ部1-1情報	93		*	
	データ部2-X情報	83		*	
	IC関連データ	可変		*	
	後続データ部表示	1		*	
	セパレータ	1		*	
データ部9-10-4		MAX 316	表 3.1-53 の内容をセット(注1)		(注1)

(注1) CAFIS 折返しの場合、被仕向の「各フィールド利用有無」契約は参照せず、データ部9-10-4を削除して折返します。

表 3.2-6 一般要求電文処理の電文推移 5 (アドバイス: カード会社中継)

電文方向		仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
電文項目	センタ 桁数	CAFIS センタ 仕向センタ	カード会社センタ CAFIS センタ	カード会社センタ CAFIS センタ	仕向センタ CAFIS センタ(注)
共通制御部	経路番号	4	仕向経路番号	被仕向経路番号	*
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番をセット	*	*
	センタ識別番号	2	00	センタ識別番号(注1)	*
	回線番号	3	000	*	*
	CAFIS処理通番	6	スペース	CAFIS処理通番(注1)	*
	仕向会社コード	7	仕向センタの 接続会社コード	*	*
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの会社サブコード	*	*
	被仕向会社コード	7	被仕向センタの接続会社コード	*	*
	被仕向会社サブコード	4	被仕向センタの会社サブコード	*	*
	電文種別コード	4	3510	*	報告電文種別コード
	CAFIS処理月日	4	0000	CAFIS処理月日(注1)	*
	CAT送信状態表示	1	0	*	*
	仕向処理日付	2	仕向センタ処理日	*	*
	代行電文報告表示	2	00	*	*
	代行電文エラー表示	3	000	*	*
データ部10	代行再仕向表示	1	0	*	*
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	トレーラレングス	トレーラレングス
	エラーコード	3	スペース	*	*
	マスタ電文種別	4	0000	*	*
	予備	4	0000	*	*
	電文送信区分	1	2	*	*
	承認番号	7	スペース	*	*
	端末機識別番号	13	端末機識別番号	*	*
	端末処理通番	5	端末処理通番	*	*
	処理年月日	6	加盟店セン処理年月日	*	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	追加データ部表示をセット	*	*
	予備	1	0	*	*
	取引種別	1	0	*	*
	セパレータ	1	@	*	*
14	業務区分コード	1	5	*	*
	取扱区分コード	2	A1	*	*
	セパレータ	1	@	*	*
データ部973	任意データ部種別	4		*	*
	AID	32		*	*
	加盟店会社コード	11	データ部9-7-3 のデータ内容に準拠 し、全ての項目を仕向 センタにて設定。 (表 3.1-47 参照)	*	*
	加盟店契約会社コード	11		*	*
	MS/IC 情報取得区分	2		*	*
	オン／オフ区分	1		*	*
	取引結果	1		*	*
	強制オンライン	1		*	*
	強制承認	1		*	*
	処理レベル	1		*	*
	ブランド識別	2		*	*
	POSエントリコード	2		*	*
	チップコンディションコード	1		*	*
	予備1	72		*	*
	予備2	10		*	*
	予備3	64		*	*
	データ部1-0情報	31		*	*
	データ部1-1情報	93		*	*
	データ部2-X情報	83		*	*
	IC関連データ	可変		*	*
	後続データ部表示	1		*	*
	セパレータ	1		*	*
データ部9-10-4		MAX 316	表 3.1-53 の内容をセット (注2)	(注2)	表 3.1-53 の内容をセット (注2)

(注) アドバイス電文を中継する場合には、カード会社センタからの申込が必要です。

(注1) アドバイス電文報告が正常に受信できなかった場合、CAFISセンタは当該アドバイス電文を再送します。その際、当該項目は送信時の状態で改めて設定されます。

(注2) データ部9-10-4は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。報告時に被仕向センタで設定された場合、仕向センタへの中継は、仕向センタの利用契約に従います。

表 3.2-7 一般要求電文処理の電文推移 6 (サービス終了予告)

電文項目		電文方向 センタ 桁数	仕向センタ → CAFIS センタ	CAFIS センタ → 被仕向センタ	被仕向センタ → CAFIS センタ	CAFIS センタ → 仕向センタ
			仕向センタ	CAFIS センタ	被仕向センタ	CAFIS センタ
共通制御ヘッダ部		63	表 3.2-2 参照	同 左	同 左	同 左
データ部1-0		47	表 3.1-18 の 項目内容をセット	同 左	同 左	同 左
データ部1-4		4	表 3.1-22 の 項目内容をセット	同 左	同 左	同 左
データ部 9-n	制御コード	2	10をセット	*	20をセット (注)	*
	セパレータ	1	@をセット	*	*	*

(注) 拒否報告の場合は、受信内容を保障。

表 3.2-8 一般要求電文処理の電文推移 7 (サービス終了 サービスカウンタ照会)

電文項目		電文方向 センタ 桁数	仕向センタ → CAFIS センタ	CAFIS センタ → 被仕向センタ	被仕向センタ → CAFIS センタ	CAFIS センタ → 仕向センタ
			仕向センタ	CAFIS センタ	被仕向センタ	CAFIS センタ
共通制御ヘッダ部		63	表 3.2-2 参照	同 左	同 左	同 左
データ部1-0		47	表 3.1-18 の 項目内容をセット	同 左	同 左	同 左
データ部1-4		4	表 3.1-22 の 項目内容をセット	同 左	同 左	同 左
データ部 9-n	制御コード	2	12:サービス終了指令 50:サービスカウンタ照会 指令	*	22:サービス終了報告 52:サービスカウンタ照会 報告 (注1)	*
	データパターン	1	データパターンをセット	*	*	*
	カウンタ処理日	4	処理日をセット (注2)	*	*	
	仕向カウンタ (注3)	41	仕向として処理をしたカ ウンタ内容をセット	*	仕向として処理をした カウンタ内容をセット (注1)	
	被仕向カウンタ (注3)	41	被仕向として処理をし たカウンタ内容をセット	*	被仕向として処理をし たカウンタ内容をセッ ト(注1)	
	セパレータ	1	@をセット	*	*	*

(注1) 拒否報告の場合は、受信内容を保障。

(注2) オンライン業務の開始から終了が2日にまたがる場合は、精査すべき日付を設定する。

(注3) 仕向または被仕向のカウンタのいずれかが不要の場合は、ALL0をセット。

表 3.2-9 取消（再）処理の電文推移（仕向センタ発）

電文方向			仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
電文項目	センタ 桁数		CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ	仕向センタ
			仕向センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ
共通制御部	経路番号	4	(注1)	(注2)	*	仕向センタより受信した仕向経路番号
	仕向処理通番	6	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	センタ識別番号	2	対象報告電文内容を保障	*	*	*
	回線番号	3	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	CAFIS処理通番	6	対象報告電文内容を保障	*	*	*
	仕向会社コード	7	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	仕向会社サブコード	4	同 上	*	*	*
	被仕向会社コード	7	同 上	*	*	*
	被仕向会社サブコード	4	同 上	*	*	*
	電文種別コード	4	8910/8920	8910	8950	*
	CAFIS処理月日	4	対象報告電文内容を保障	*	*	*
	CAT送信状態表示	1	同 上	*	*	*
	仕向処理日付	2	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	代行電文報告表示	2	同 上	*	*	*
	代行電文エラー表示	3	同 上	*	*	*
	代行再仕向表示	1	同 上	*	*	*
	トレーラ・レングス	3	トレーラ・レングス	トレーラ・レングス	*	トレーラ・レングス
データ部 1-0	エラーコード	3	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	マスタ電文種別	4	対象報告電文の電文種別をセット	*	*	*
	予備	4	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	電文送信区分	1	同 上	*	*	*
	承認番号	7	同 上	*	*	*
	端末機識別番号	13	同 上	*	*	*
	端末処理通番	5	同 上	*	*	*
	処理年月日	6	同 上	*	*	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	同 上(注6)	*	*	*
	予備	1	同 上	*	*	*
	取引種別	1	同 上	要求電文の内容をセット	*	仕向センタより受信した取引種別
	セパレータ	1	同 上	*	*	*
データ部	データ部1-x	対象要求電文内容を保障 (注6)		* (注7)	*	* (注8)
	データ部2-x			* (注7)	*	* (注8)
	データ部9-n			*	*	*
	データ部9-X-X			(注3) (注5) (注7)	*	(注4) (注5) (注8)
	データ部9-10-4			(注9)	表 3.1-53 の内容 (注10)	対象要求電文内容を保障

(注1) 取消指令の場合は仕向経路番号をセットし、取消再指令の場合は取消指令と同一の仕向経路番号をセットする。

(注2) 取消指令の場合は被仕向経路番号をセットし、取消再指令の場合には取消指令と同一の被仕向経路番号をセットする。

(注3) データ部9-X-Xは、元取引と同様に各データ部の利用契約を頂いたカード会社センタへのみ中継します。

(注4) 要求中継時にデータ部の削除を行った場合、仕向センタへ報告中継時受信内容を保障して中継します。

(注5) IC関連データについては、ご利用のCAFIS接続手順により Base64 によるエンコード／デコードを行ないます。

(注6) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、入力された暗証番号もしくは入力されたセキュリティコードと異なる値(ALL0など)をセットする。データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0など)をセットする。データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0など)をセットする。ただし、データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 2-10、9-7-3「エンコード内容」が対象要求電文内容を保障している場合でも、CAFIS センタではエラーとはせずに取り扱う。また、対象要求電文にデータ部 9-X-X が存在しなくなる場合、データ部 1-0 の直収 CAT 取扱い区分／追加データ部表示には「0」または「1」をセットする。

- (注7) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、ALL0 をセットする。データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。
- (注8) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」、データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 2-10、9-7-3「エンコード内容」については、仕向センタより受信した内容をセットする。
- (注9) データ部 9-10-4 は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。

VTTDATA CONFIDENTIAL

表 3.2-10 取消確認（再）処理の電文推移（仕向センタ発）

電文項目		電文方向 センタ 桁数	仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
			CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ	仕向センタ
			仕向センタ	CAFIS センタ	カード会社センタ	CAFIS センタ
共通制御ヘッダ部	経路番号	4	対象要求電文内容を保障	(注1)	*	仕向センタより受信した仕向経路番号
	仕向処理通番	6	同 上	*	*	*
	センタ識別番号	2	同 上	センタ識別番号	*	*
	回線番号	3	同 上	*	*	*
	CAFIS処理通番	6	同 上	要求電文の内容をセット	*	*
	仕向会社コード	7	同 上	*	*	*
	仕向会社サブコード	4	同 上	*	*	*
	被仕向会社コード	7	同 上	*	*	*
	被仕向会社サブコード	4	同 上	*	*	*
	電文種別コード	4	8930/8940	8910	8950	8960
	CAFIS処理月日	4	対象要求電文内容を保障	要求電文の内容をセット	*	*
	CAT送信状態表示	1	同 上	*	*	*
	仕向処理日付	2	同 上	*	*	*
	代行電文報告表示	2	同 上	*	*	*
	予備	4	同 上	*	*	*
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	トレーラレングス	*	トレーラレングス
データ部 1-0	エラーコード	3	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	マスタ電文種別	4	対象要求電文の電文種別をセット	対象報告電文の電文種別をセット	*	対象要求電文の電文種別をセット
	予備	4	対象要求電文内容を保障	*	*	*
	電文送信区分	1	同 上	*	*	*
	承認番号	7	同 上	*	*	*
	端末機識別番号	13	同 上	*	*	*
	端末処理通番	5	同 上	*	*	*
	処理年月日	6	同 上	*	*	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	同 上(注4)	*	*	*
	予備	1	同 上	*	*	*
	取引種別	1	同 上	要求電文の内容をセット	*	仕向センタより受信した取引種別
	セパレータ	1	同 上	*	*	*
	データ部1-x		対象要求電文内容を保障 (注4)	*(注5)	*	*(注6)
データ部	データ部2-x			*(注5)	*	*(注6)
	データ部9-n			*	*	*
	データ部9-X-X			(注2)(注5)	*	(注3)(注6)
	データ部9-10-4			(注7)	表 3.1-53 の内容(注7)	対象要求電文内容を保障

(注1) 取消指令の場合は被仕向経路番号をセットし、取消再指令の場合には取消指令と同一の被仕向経路番号をセットする。

(注2) データ部9-X-Xは、元取引と同じ内容で中継を行ないます。

(注3) 要求中継時にデータ部の削除を行った場合、仕向センタへ報告中継時受信内容を保障して中継します。

(注4) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、入力された暗証番号もしくは入力されたセキュリティコードと異なる値(ALL0など)をセットする。データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など)をセットする。データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など)をセットする。ただし、データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 2-10、9-7-3「エンコード内容」が対象要求電文内容を保障している場合でも、CAFIS センタではエラーとはせずに取り扱う。また、対象要求電文にデータ部 9-X-X が存在しなくなる場合、データ部 1-0 の直収 CAT 取扱い区分／追加データ部表示には「0」または「1」をセットする。

- (注5) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、ALL0 をセットする。データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。
- (注6) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」、データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 2-10、9-7-3「エンコード内容」については、仕向センタより受信した内容をセットする。
- (注7) データ部 9-10-4 は、仕向センタ・被仕向センタともに設定は任意であるが、要求時に仕向センタで設定された場合、被仕向センタへの中継は、被仕向センタの利用契約に従います。

VTTDATA CONFIDENTIAL

表 3.2-11 取消（再）処理の電文推移（CAFISセンタ発）

電文項目		電文方向 センタ 桁数	仕向センタ →	CAFIS センタ →	カード会社センタ →	CAFIS センタ →
			CAFIS センタ 仕向センタ	カード会社センタ CAFIS センタ	CAFIS センタ カード会社センタ	仕向センタ CAFIS センタ
共通制御ヘッダ部	経路番号	4		(注1)	*	
	仕向処理通番	6		対象要求電文内容を保障	*	
	センタ識別番号	2		同 上	*	
	回線番号	3		同 上	*	
	CAFIS処理通番	6		同 上	*	
	仕向会社コード	7		同 上	*	
	仕向会社サブコード	4		同 上	*	
	被仕向会社コード	7		同 上	*	
	被仕向会社サブコード	4		同 上	*	
	電文種別コード	4		8910/8920	8950	
	CAFIS処理月日	4		対象要求電文内容を保障	*	
	CAT送信状態表示	1		同 上	*	
	仕向処理日付	2		同 上	*	
	代行電文報告表示	2		同 上	*	
	予備	4		同 上	*	
	トレーラ・レングス	3		トレーラレングス	*	
データ部 1-0	エラーコード	3		対象要求電文内容を保障	*	
	マスタ電文種別	4		対象報告電文の電文種別 をセット	*	
	予備	4		対象要求電文内容を保障	*	
	電文送信区分	1		同 上	*	
	承認番号	7		同 上	*	
	端末機識別番号	13		同 上	*	
	端末処理通番	5		同 上	*	
	処理年月日	6		同 上	*	
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1		同 上(注2)	*	
	予備	1		同 上	*	
	取引種別	1		同 上	*	
	セパレータ	1		同 上	*	
データ部	データ部1-x			同 上	*	
	データ部2-x			同 上	*	
	データ部9-n			同 上	*	
	データ部9-x-x			同 上	*(注3)	

(注1) 取消指令の場合は被仕向経路番号をセットし、取消再指令の場合は取消指令と同一の仕向経路番号をセットする。

(注2) データ部 1-1、「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、ALL0 をセットする。データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。また、対象要求電文にデータ部 9-X-X が存在しなくなる場合、データ部 1-0 の直収 CAT 取扱い区分／追加データ部表示には「0」または「1」をセットする。

(注3) データ部 9-10-4 は、表 3.1-53 の内容を設定します。

表 3.2-12 取消確認（再）処理の電文推移（CAFISセンタ発）

電文項目	電文方向 センタ 桁数	仕向センタ → CAFIS センタ 仕向センタ	CAFIS センタ → カード会社センタ CAFIS センタ	カード会社センタ → CAFIS センタ カード会社センタ	CAFIS センタ → 仕向センタ CAFIS センタ
共通制御部	経路番号	4	対象要求電文内容を保障	*	
	仕向処理通番	6	同 上	*	
	センタ識別番号	2	同 上	*	
	回線番号	3	同 上	*	
	CAFIS処理通番	6	同 上	*	
	仕向会社コード	7	同 上	*	
	仕向会社サブコード	4	同 上	*	
	被仕向会社コード	7	同 上	*	
	被仕向会社サブコード	4	同 上	*	
	電文種別コード	4	8930/8940	8960	
	CAFIS処理月日	4	対象要求電文内容を保障	*	
	CAT送信状態表示	1	同 上	*	
	仕向処理日付	2	同 上	*	
	代行電文報告表示	2	同 上	*	
	予備	4	同 上	*	
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス	*	
データ部 1-0	エラーコード	3	対象要求電文内容を保障	*	
	マスタ電文種別	4	対象要求電文の電文種別をセット	*	
	予備	4	対象要求電文内容を保障	*	
	電文送信区分	1	同 上	*	
	承認番号	7	同 上	*	
	端末機識別番号	13	同 上	*	
	端末処理通番	5	同 上	*	
	処理年月日	6	同 上	*	
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	同 上(注1)	*	
	予備	1	同 上	*	
	取引種別	1	同 上	*	
	セパレータ	1	同 上	*	
データ部	データ部1-x		同 上	*	
	データ部2-x		同 上	*	
	データ部9-n		同 上	*	
	データ部9-X-X		同 上	*(注2)	

(注 1) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、ALL0 をセットする。

データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。

データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に、ALL0 をセットする。また、対象要求電文にデータ部 9-X-X が存在しなくなる場合、データ部 1-0 の直収 CAT 取扱い区分／追加データ部表示には「0」または「1」をセットする。

(注2) データ部 9-10-4 は、表 3.1-53 の内容を設定します。

表 3.2-13 一般要求電文処理の電文推移（異常報告）

電文項目	電文方向		仕向センタ →	CAFIS センタ →
	センタ 桁数		仕向センタ	仕向センタ
			CAFIS センタ	CAFIS センタ
共通制御ヘッダ部	経路番号	4	仕向経路番号	*
	仕向処理通番	6	仕向センタの処理通番をセット	*
	センタ識別番号	2	00	* (注1)
	回線番号	3	000	*
	CAFIS処理通番	6	スペース	* (注1)
	仕向会社コード	7	仕向センタの 接続会社コード	*
	仕向会社サブコード	4	仕向センタの 接続会社サブコード	*
	被仕向会社コード	7	被仕向センタの 接続会社コード	*
	被仕向会社サブコード	4	被仕向センタの 接続会社サブコード	*
	電文種別コード	4	要求電文種別コード	8970をセット
	CAFIS処理月日	4	0000	* (注1)
	CAT送信状態表示	1	0	*
	仕向処理日付	2	仕向センタ処理日	*
	代行電文報告表示	2	00	*
	代行電文エラー表示	3	000	*
	代行再仕向表示	1	0	*
	トレーラ・レンジス	3	トレーラレンジス	*
データ部10	エラーコード	3	スペース	エラーコード(CXX)をセット
	マスタ電文種別	4	0000	*
	予備	4	0000	*
	電文送信区分	1	1または2	*
	承認番号	7	スペース または 承認番号	*
	端末機識別番号	13	端末機識別番号	*
	端末処理通番	5	端末処理通番	*
	処理年月日	6	加盟店センタ 処理年月日	*
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	追加データ部表示をセット	*
	予備	1	0	*
	取引種別	1	取引種別の内容をセット	*
	セパレータ	1	@	*
データ部		要求電文種別に対応したデータ部内容(表 3.1-18～表 3.1-53)をセット。 電文種別毎に設定可能なデータ部について は表 3.1-7～表 3.1-16を参照		*

(注1) エラーコードにC12, C13,C14, C50, C33をセットする場合は以下の内容をセット

センタ識別番号 : 当該センタ識別番号をセット

CAFIS処理通番 : 一連番号をセット

CAFIS処理月日 : CAFIS処理月日をセット

ただし、C33を付与する場合には上記3項目が設定されないケースもあります。

表 3.2-14 障害電文処理の電文推移（異常報告）

電文項目		電文方向		仕向センタ →	CAFIS センタ →	仕向センタ
		センタ 桁数		仕向センタ	CAFIS センタ	仕向センタ
共通制御 部	経路番号	4	(注1)		*	
	仕向処理通番	6	要求電文と同一内容をセット		*	
	センタ識別番号	2	(注2)		*	(注3)
	回線番号	3	要求電文と同一内容をセット		*	
	CAFIS処理通番	6	(注2)		*	(注3)
	仕向会社コード	7	要求電文と同一内容をセット		*	
	仕向会社サブコード	4	同上		*	
	被仕向会社コード	7	同上		*	
	被仕向会社サブコード	4	同上		*	
	電文種別コード	4	当該(指令)の電文種別コードをセット		8970をセット	(注4)
	CAFIS処理月日	4	(注2)		*	(注3)
	CAT送信状態表示	1	要求電文と同一内容をセット		*	
	仕向処理日付	2	同上		*	
	代行電文報告表示	2	同上		*	
	代行電文エラー表示	3	同上		*	
	代行再仕向表示	1	同上		*	
	トレーラ・レングス	3	トレーラレングス		*	
データ部 1-0	エラーコード	3	スペース		エラーコード'(CXX)をセット	
	マスタ電文種別	4	(注5)		*	
	予備	4	要求電文と同一内容をセット		*	
	電文送信区分	1	同上		*	
	承認番号	7	同上		*	
	端末機識別番号	13	同上		*	
	端末処理通番	5	同上		*	
	処理年月日	6	同上		*	
	直収CAT取扱い区分 ／追加データ部表示	1	同上(注6)		*	
	予備	1	同上		*	
	取引種別	1	同上		*	
	セパレータ	1	同上		*	
データ部			要求電文と同一内容をセット(注6)		*	

(注1) 取消指令の場合 仕向経路番号をセット。取消再指令の場合 取消指令と同一の仕向経路番号をセット

取消確認(再)指令の場合 ××要求と同一の仕向経路番号をセット

(注2) 取消(再)指令の場合 ××許可又は××拒否報告電文と同一内容をセット

取消確認(再)指令の場合 要求電文と同一内容をセット

(注3) 取消確認(再)指令の場合でかつエラーコードにC12, C13, C14, C50を設定する場合、該当項目は直前に受信済の要求電文にCAFISセンタが設定した内容をセット。一部C33のエラーコードの場合にも当該項目が設定される場合があります。

(注4) エラーコードにC13, C14, C50, C35をセットする状態の場合は取消報告(8950)または取消確認報告(8960)の電文種別コードをセット

(注5) 取消(再)指令の場合 対象報告電文の電文種別をセット。取消確認(再)指令の場合 対象要求電文の電文種別をセット

(注6) データ部 1-1、2-10「暗証番号」、データ部 9-6-1「セキュリティコード」については、入力された暗証番号もしくは入力されたセキュリティコードと異なる値(ALL0など)をセットする。データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 9-7-3「エンコード内容」については、カード区分が「1」または「5」の場合にカードエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～カードエンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など)をセットする。データ部 2-10「エンコード内容」については、カード区分が「1」の場合にエンコード内容のセパレータから 8 桁目以降～エンコード内容の先頭から 37 桁目までの任意領域に一般要求電文と異なる値(ALL0 など)をセットする。ただし、データ部 1-1「カードエンコード内容」、データ部 2-10、9-7-3「エンコード内容」が対象要求電文内容を保障している場合でも、CAFIS センタではエラーとはせずに取り扱う。また、対象要求電文にデータ部 9-X-X が存在しない場合、データ部 1-0 の直収 CAT 取扱い区分／追加データ部表示には「0」または「1」をセットする。

3.3 処理機能

3.3.1 監視タイマの設定

本業務における、CAFISの被仕向センタ監視タイマを表 3.3-1 に、仕向センタのCAFIS監視タイマを表 3.3-2 に示します。

表 3.3-1 CAFISの被仕向センタ監視タイマ

略号	名称	タイマ値	用途
t 13	報告電文待ちタイマ	55 秒	CAFIS が××要求を送信してから貴社センタから各種報告電文を受信する迄の時間監視
t 15	取消報告、取消確認報告待ちタイマ	55 秒	取消（再）指令又は取消確認（再）指令に対する報告電文を受信する迄の時間監視

表 3.3-2 仕向センタの CAFIS 監視タイマ

略号	名称	タイマ値	用途
t 31	一般電文報告待ちタイマ	58 秒	仕向センタが××要求を送信してから CAFIS より各種報告電文を受信する迄の時間監視
t 32	障害電文報告待ちタイマ	58 秒	障害電文〔取消（再）指令、取消確認（再）指令〕を仕向センタが送信してから各報告電文を受信する迄の時間監視

3.3.2 仕掛中の処理、障害処理、処理原則、経路番号の扱い、送受信電文のチェック

「CAFIS接続条件設計書(業務共通編)」を参照してください。

3.3.3 CAFISカウンタ

(1) CAFISが保有するカウンタ

加盟店ショッピング業務に関して、CAFISが保有するカウンタを表 3.3-3 に示します。

表 3.3-3 CAFISが保有するカウンタ

項番	カウンタ名	概要
1	一般業務カウンタ	加盟店ショッピング業務において取り扱った電文種別毎の通数をカウントするカウンタです。 一般カウンタにおけるカウンタの種類、更新契機等については「CAFIS 接続条件設計書（業務共通編）」を参照してください。

3.3.4 取引カウンタ精査

オンライン業務取引において、提携会社間で仕向取引分、被仕向取引分のカウンタを用意し、許可報告で完了した取引の通数および金額をカウントし、オンライン業務終了時または任意のタイミングで提携会社間でカウンタの精査を行うことができます。

(1) 精査項目

以下の電文種別を用いる取引に対し、許可報告で完了した取引の通数および金額(与信・売上・取消は税送料を含む)を精査します。

- ① 与信
- ② 売上
- ③ 取消
- ④ 照会
- ⑤ その他
- ⑥ 事故カード
- ⑦ CDキャッシング (本業務では使用しない)
- ⑧ CDキャッシング照会 (本業務では使用しない)
- ⑨ ICオンラインオーソリ売上

①～⑧までのカウンタの場合には、データパターンコード=0(表 3.1-42)を、①～⑨までのカウンタの場合にはデータパターンコード=B(表 3.1-43)を使用します。

どのカウンタパターンをご利用になるかは、提携会社間で決定してください。

<参考 データパターンコード='0'と'B'の使用例>

データパターンコード=0

- ・ ICクレジットを利用していない提携会社間でのカウンタ精査の場合
- ・ CAFISで処理を行なったオンライン電文の精査をする場合
(ICオンラインオーソリ売上が売上の件数・金額に計上されるため、実際の売上データの件数／金額とは一致しない場合がある)

データパターンコード=B

- ・ ICクレジットを利用しており、売上件数／金額にICオンラインオーソリ売上を含まずにカウンタ精査を行なう場合

(2)機能仕様

A. 電文処理形態

表 3.3-4 に電文処理形態を示します。

表 3.3-4 電文処理形態

電文種別 コード	電文名	カウンタ精査用 電文名	通信方向		カウンタ情報 の有無	備考
			主局	従局		
3 5 1 0	その他要求	サービス終了予告指令	→	→	無	
3 5 2 0	その他許可報告	サービス終了準備完了報告	←	←	無	
3 5 1 0	その他要求	サービス終了指令	→	→	有	
3 5 2 0	その他許可報告	サービス終了報告	←	←	有	
3 5 5 0	その他拒否報告	—	←	←	—	
3 5 1 0	その他要求	サービスカウンタ照会指令	→	→	有	随時
3 5 2 0	その他許可報告	サービスカウンタ照会報告	←	←	有	
3 5 5 0	その他拒否報告	—	←	←	—	

(注)電文の起動

(a) サービス終了予告及びサービス終了指令の起動

- ① 提携会社双方で決められた終了時刻の到来により、主局よりサービス終了予告及びサービス終了指令を送信する。
- ② 提携会社間で主局、従局を決定する。

(b) サービスカウンタ照会指令の起動

- ① 照会は提携会社双方のサービス時間内であれば随時可能とする。
- ② オンラインサービスが24時間運転でサービス終了手順を行なわない場合には、0時以降に前日分のカウンタを照会することにより精査を行なう。
- ③ 電文の起動は各社任意とする。

B. 電文構成

表 3.3-5 に電文形式の概要を示します。

表 3.3-5 電文形式の概要（取引カウンタ精査）

カウンタ精査用 電文名	電文形式の概要				備考
① サービス終了予告指令 ② サービス終了準備完了報告	共通制御 ヘッダ部 6 3 バイト	データ部 1 - 0 4 7	データ部 1 - 4 4	データ部 9 - n 3	データの構成については表 3.1-18、表 3.1-22、表 3.1-41～表 3.1-44 を参照
① サービス終了指令 ② サービス終了報告 ③ サービスカウンタ照会指令 ④ サービスカウンタ照会報告	共通制御 ヘッダ部 6 3 バイト	データ部 1 - 0 4 7	データ部 1 - 4 4	データ部 9 - n Max302	データの構成については表 3.1-18、表 3.1-22、表 3.1-41～表 3.1-44 を参照

C. 貴社センタで保有するカウンタ

貴社センタでは、2 日分（当日、前日）のカウンタを保有します。

カウンタ 処理日 当日	仕向カウンタ 及び 被仕向カウンタ	カウンタ 処理日 前日	仕向カウンタ 及び 被仕向カウンタ
-------------------	-------------------------	-------------------	-------------------------

D. 貴社センタで保有するカウンタの更新

(a) カウンタ更新日の決定

共通制御ヘッダ部の CAFIS 処理年月日により、前日分、当日分のいずれかのカウンタを更新するかを決定します。

(b) 更新契機

仕向カウンタ		被仕向カウンタ	
加算	仕向センタが XX 許可報告を受信した場合	加算	被仕向センタが XX 許可報告を正常送信した場合
減算	XX 許可報告に対する取消指令を仕向センタが正常送信した場合 但し、すでに取消(再)指令を送信している場合には減算しない	減算	取消(再)指令又は取消確認(再)指令を被仕向センタが受信し、対応する XX 許可報告を送信済の場合 但し、すでに取消(再)指令または取消確認(再)指令を受信し、減算している場合には減算しない

(c) カウンタのクリア

- ① カウンタのクリアは提携会社間オンライン取引終了後、翌日の提携会社間オンライン取引開始前に行ないます。
- ② カウンタクリアの方法は当日分のカウンタを前日分にシフトし、当日分のカウンタをゼロクリアします。

3.3.5 拡張データ部の取扱

(1) 概要

加盟店ショッピング業務では、被仕向センタとして事前に当該データ部を受信する／しないの契約をすることによりCAFISで中継時に当該データ部の取扱を制御します。

この制御により、被仕向センタへ中継時にデータ部の削除が行なわれた場合には、報告電文を仕向センタへ応答する際に、削除したデータ部を要求電文を受信した状態と同じエリアに戻して送信します。

拡張データ部として取り扱うデータ部は複数ありますが、それぞれのデータ部について取扱の契約を保有することになります。

表 3.3-6 に拡張データ部の一覧を示します。

表 3.3-6 拡張データ部一覧

項番	データ部名称	データ部概要	備考
1	データ部 9-6-1	磁気ストライプデータを用いて加盟店ショッピング業務を行なう場合に、読み込んだ磁気ストライプ情報以外の情報を設定することにより、クレジットカードの偽造判定を行なうためのデータ部。(表 3.1-45 参照)	与信 MS 売上
2	データ部 9-7-1	IC処理を行なうために必要な情報を設定するデータ部。ただし、加盟店ショッピング業務を行なう仕向センタは、MS処理においても当該データ部の設定を可能とする。(表 3.1-46 参照)	与信 MS 売上 取消 (注)
3	データ部 9-7-4	IC読み込みによる売上通知に必要となる項目を設定したデータ部。(表 3.1-48 参照)	I C 売上 取消
4	データ部 9-1-2	「3-D Secure」のスキームを利用した場合に必要となる項目を設定したデータ部。(表 3.1-51 参照)	与信 MS 売上
5	データ部 9-1-3	「3-D Secure2」のスキームを利用した場合に必要となる項目を設定したデータ部。(表 3.1-52 参照)	与信 MS 売上
6	データ部 9-10-4	ブランド特有の情報を設定するデータ部。(表 3.1-53 参照) (注1)	与信 MS 売上 I C 売上 取消 アドバイス

(注) ICオンラインオーソリ売上においてはデータ部9-7-1は必須であり、契約による拡張データ部の取扱対象外となります。

(注1) データ部9-10-4は、被仕向センタ中継時のみでなく仕向センタ中継時にも当該データ部の取扱をCAFISで制御します。データ部9-10-4については、「3.3.7.ブランドデータ部中継制御」に従います。

(2) 拡張データ部に対する電文編集条件

拡張データ部「データ部9-x-y」に対するCAFISでの取扱条件を以下に示します。
また、処理の流れについて、図 3.3-1 に示します。

① 拡張データ部(データ部9-x-y)の中継条件

- a) 仕向センタから加盟店ショッピング業務の拡張データ部対象業務を受信した。
 - b) CAFISが受信したデータに拡張データ部(データ部9-x-y)が存在している。
(検索方法については後続の(3)を参照)
 - c) 被仕向となるカード会社センタが、検索したデータ部に対する使用契約を保有している。
- 上記3条件を満たした場合に、拡張データ部を被仕向センタへ中継します。

② 拡張データ部(データ部9-x-y)の削除条件

- a) 仕向センタから加盟店ショッピング業務の拡張データ部対象業務を受信した。
 - b) CAFISが受信したデータに拡張データ部(データ部9-x-y)が存在している。
(検索方法については後続の(3)を参照)
 - c) 被仕向となるカード会社センタが、検索したデータ部に対する使用契約を保有していない。
- 上記3条件を満たした場合に、拡張データ部を削除して被仕向センタへ中継します。

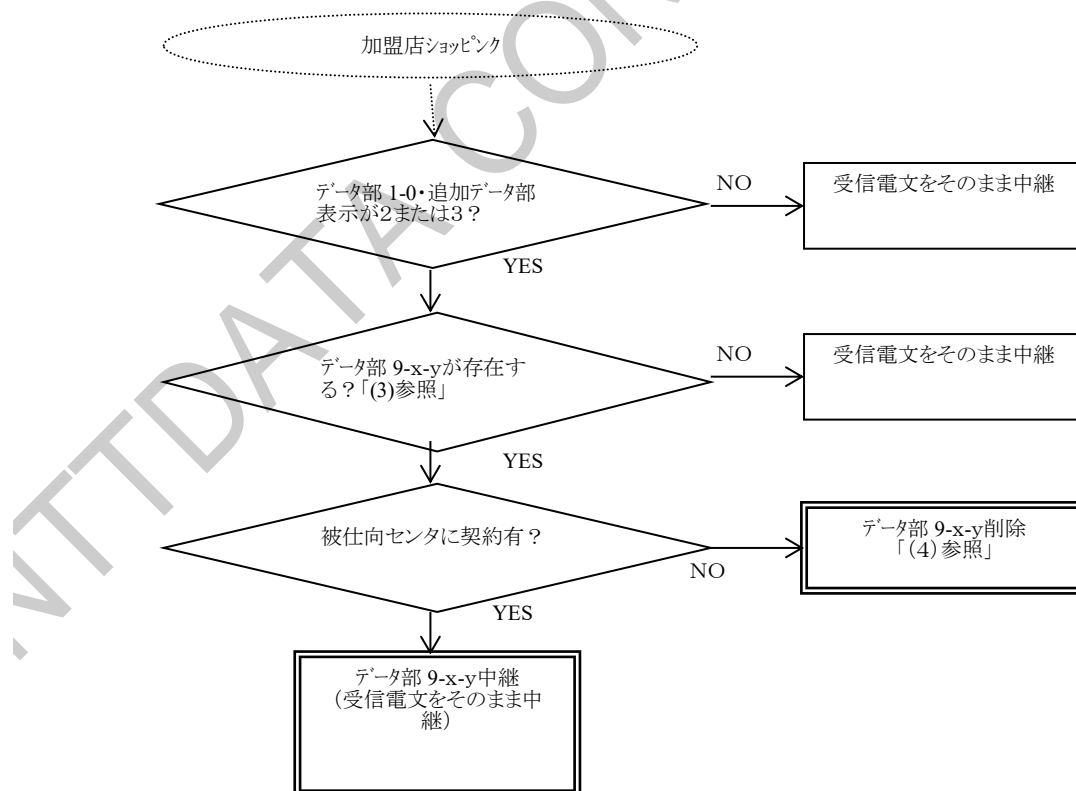


図 3.3-1 CAFIS での処理フロー

(3) 拡張データ部の検索方法

CAFISセンタでの拡張データ部(データ部9-x-y)の検索は、本接続条件設計書「3.1.3 電文構成」に準拠して行ないます。



① 固定フォーマット検索

固定フォーマットは共通制御ヘッダ部からデータ部2-Xまでとします。
本書「3.1.3 電文構成」に従い、要求電文種別に対応したデータ部長の判定を行ないます。可変長となるデータ部2-Xについては、セパレータ(@)を検索することにより、データ部2-Xの最終位置を特定します。

② 拡張データ部検索

固定フォーマットエリアの後ろから拡張データ部エリア(データ部 9-x-y)の検索を行ないます。
拡張データ部エリアから以下の流れによりデータ部9-x-yを検索します。
流れについての説明を(a)~(e)に、フロー図を図 3.3-2 に示します。

- 拡張データ部エリアの先頭4桁(任意データ部種別)を検索し、データ部9-x-yの識別であるかどうか判定する。(例:データ部9-6-1の場合は‘0601’)
- 識別が検索対象の値であった場合には、データ部9-x-yのデータ長のところにセパレータ(@)が設定されているかどうか判定する。
 - @の場合 ⇒ データ部9-x-yが存在したと判断。
 - @以外の場合 ⇒ 検索対象のデータ部9-x-yではないと判断し、(C)のセパレータ検索を行なう。
- 識別が検索対象外であった場合には、検索中のエリアは検索対象のデータ部9-x-yではないと判断し、データ部の終了(@)を検索する。
- (C)のセパレータ検索終了後、セパレータの後ろ4桁を任意データ部種別とし、検索対象のデータ部9-x-yの識別であるかどうか判断する。

上記(a)~(d)を検索対象が見つかるか、データの最終となるまで繰り返します。

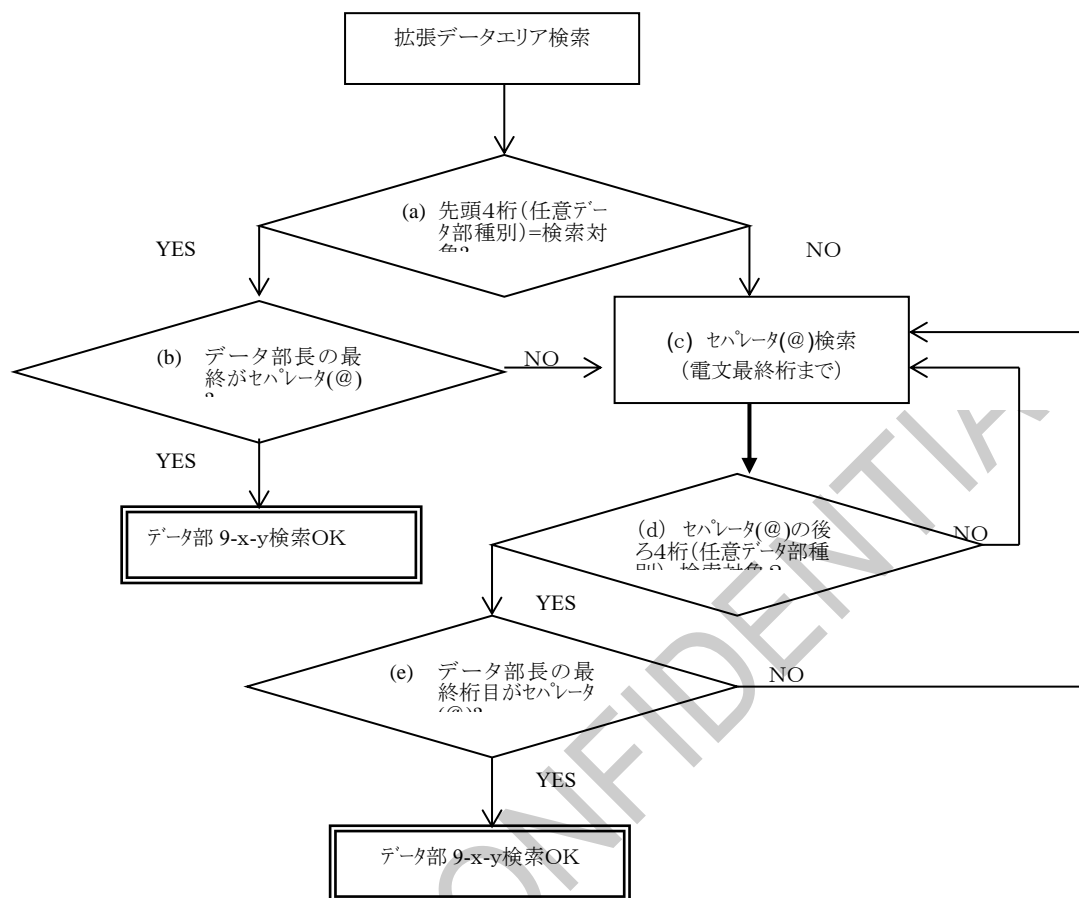


図 3.3-2 拡張データエリアでのデータ部9-x-y検索フロー

(4) 拡張データ部削除時の電文編集

「(2) 拡張データ部に対する電文編集条件」により、CAFISセンタにてデータ部9-x-yの削除が必要となった場合に、CAFISで電文の編集を行なう内容について以下に示します。

(1) 要求電文時（一般要求・取消(再)指令・取消確認(再)指令）

① 「共通制御ヘッダ部 トレーラ leng ス」の編集

データ部9-x-yを削除することにより、共通制御ヘッダ部のトレーラ leng スの値を変更します。

② 「データ部1-0 追加データ部表示」の編集

データ部9-x-yを削除することにより、拡張データ部が存在しない場合以下のように編集します。

追加データ部表示=2の場合 ⇒ 0

追加データ部表示=3の場合 ⇒ 1

③ 「データ部9-x-y」の削除

(3)の検索により、データ部9-x-yと判定されたエリアを削除します。

データ部9-x-yに後続データが存在する場合には、後続データ部は残します。

(2) 報告電文時（一般報告・取消報告・取消確認報告）

カード会社センタへ要求電文を中継時に電文編集を行なった場合には、仕向センタへ報告電文中継時、元の状態に戻します。

元の状態とは、要求電文受信時に削除対象のデータ部が存在していた箇所(データの最初からの桁数により判定)に削除したデータ部の内容を設定します。

また、挿入箇所の後ろにデータ部が存在していた場合には、当該データ部を挿入した後、後続のデータ部はそのまま保障します。

3.3.6 アドバイス要求電文中継制御

アドバイス要求は取引が完結した後結果を通知する電文であるため、拒否応答はできません。

また、CAFISセンタでは受信データのフォーマット異常またはCAFISセンタでの内部異常以外の場合において、仕向センタからのアドバイス電文に対して異常報告を応答することはせず、カード会社センタへの送信が不可能になった場合にはCAFISセンタ内部に当該アドバイス電文を保留し、送信可能となった場合にカード会社センタに対して再送を行ないます。

表 3.3-7 にアドバイス電文に関する電文制御パターン一覧を、図 3.3-3～図 3.3-13 に対応する電文フローを示します。

表 3.3-7 アドバイス電文制御パターン一覧

項番	電文パターン	対応図	備考
1	正常中継（許可）	図 3.3-3	
2	被仕向センタ休止／障害（代行契約有）	図 3.3-4	
3	被仕向会社センタ休止／障害（代行契約無）	図 3.3-5	
4	被仕向センタタイムアウト	図 3.3-6	
5	被仕向センタ送信異常	図 3.3-7	
6	仕向センタ送信異常	図 3.3-8	
7	仕向センタタイムアウト 1	図 3.3-9	
8	仕向センタタイムアウト 2	図 3.3-10	
9	仕向センタからの取消指令	図 3.3-11	
1 0	被仕向センタ拒否応答	図 3.3-12	
1 1	CAFISセンタ異常報告応答	図 3.3-13	

（注）アドバイス電文はCAFIS代行センタの休止／障害代行対象となります。

アドバイス電文に対する配信電文における電文制御は通常の中継型の代行配信時と同様となります。

(1) 正常中継

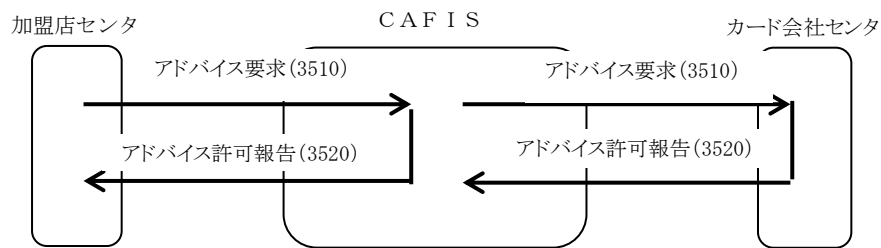


図 3.3-3 正常中継時

(2) 被仕向センタ休止／障害(代行契約有)

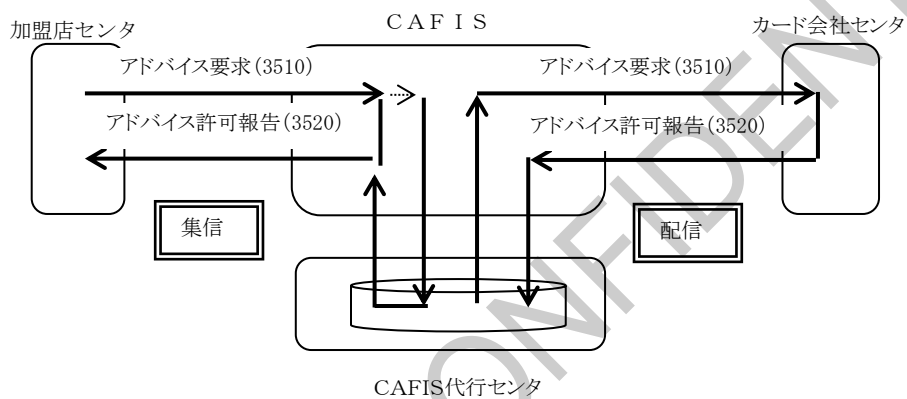


図 3.3-4 被仕向センタ休止／障害（代行契約有）

(3) 被仕向センタ休止／障害(代行契約無)

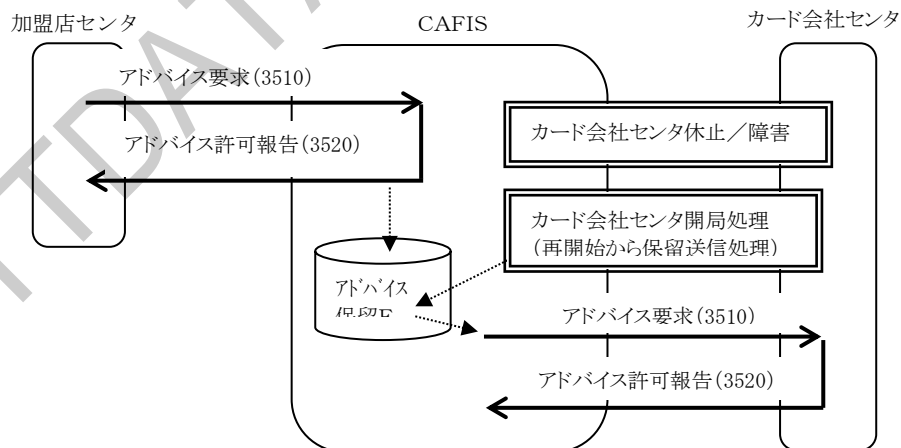


図 3.3-5 被仕向センタ休止／障害（代行契約無）

(4) 被仕向センタタイムアウト

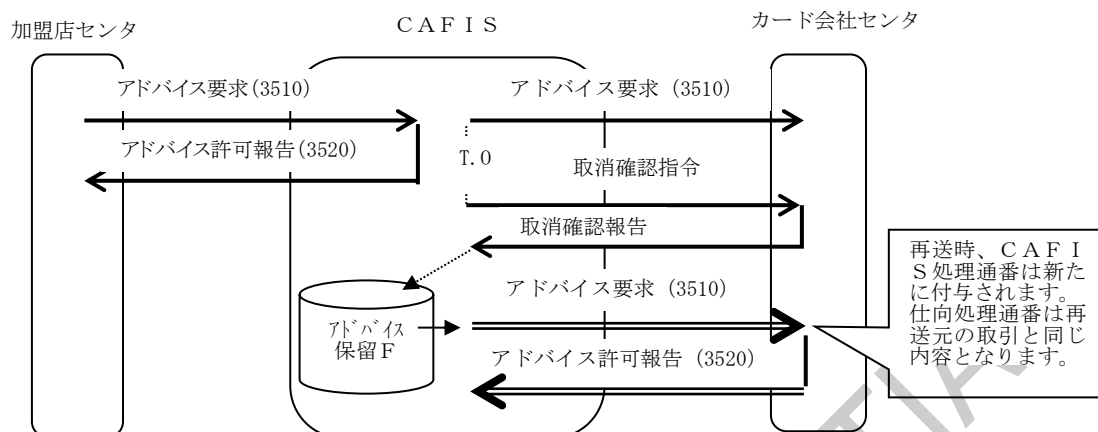


図 3.3-6 被仕向センタタイムアウト

(5) 被仕向センタ送信異常

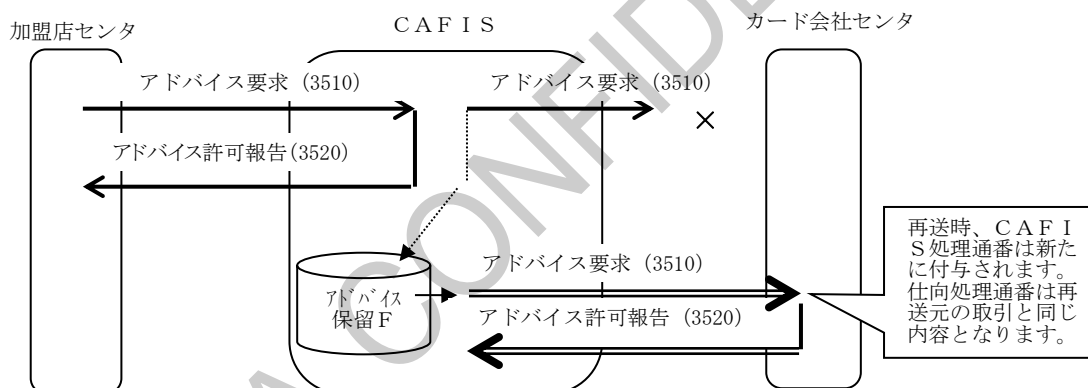


図 3.3-7 被仕向センタ送信異常

(6) 仕向センタ送信異常

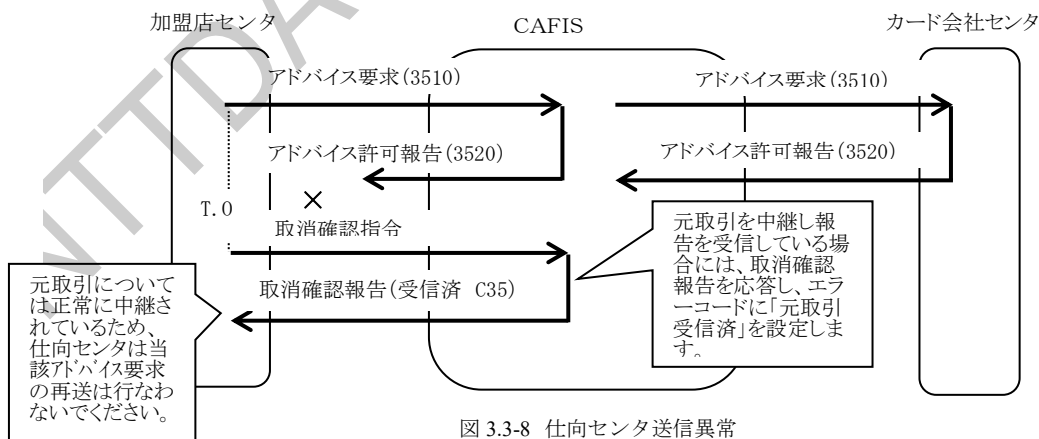


図 3.3-8 仕向センタ送信異常

(7) 仕向センタタイムアウト1

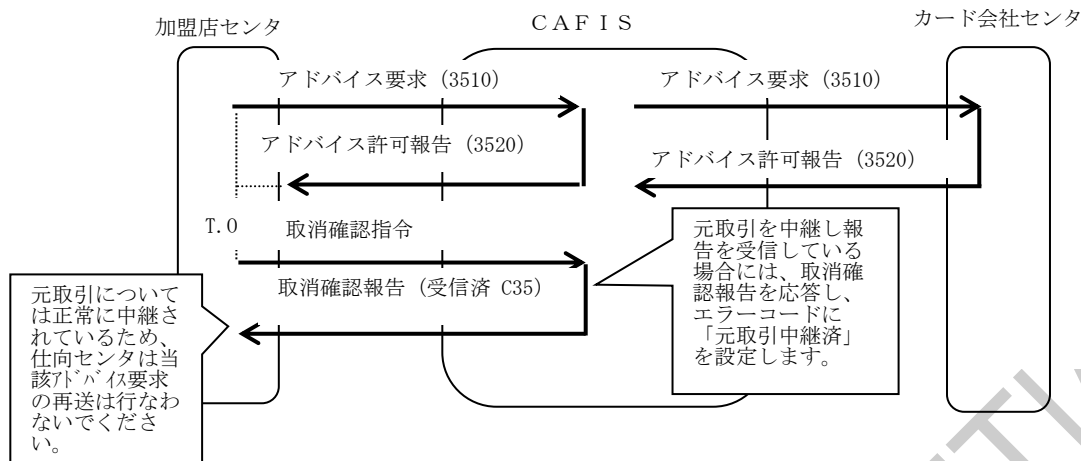


図 3.3-9 仕向センタタイムアウト1

(8) 仕向センタタイムアウト2

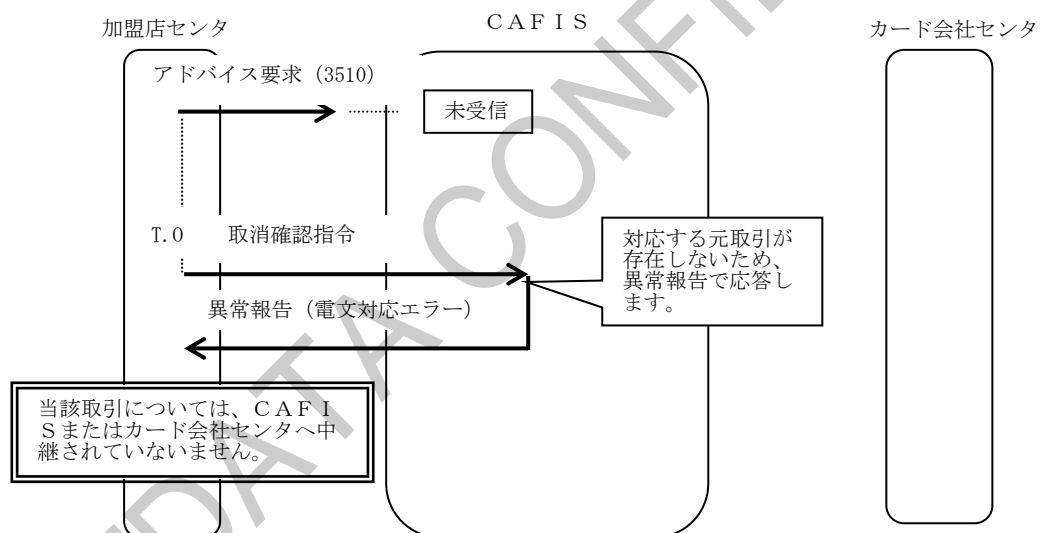


図 3.3-10 仕向センタタイムアウト2

3.3.7 ブランドデータ部(9-10-4)中継制御

(1)概要

ブランドデータ部(9-10-4)は、ブランド特有の情報を仕向センタ・被仕向センタで送受信するためのデータ部です。

CAFIS は、仕向センタ・被仕向センタの「フィールド利用有無」に応じて、ブランドデータ部 (9-10-4) を中継します。

(2)情報登録

仕向センタ・被仕向センタはブランドデータ部(9-10-4)を利用する場合、フィールド利用有無情報の登録が必要です。

フィールド利用有無情報登録により、自センタが受信するブランド情報を、ブランド単位・Field-SubField 単位で指定します。

フィールド利用有無情報の登録内容を、表 3.3-8 に示します。

表 3.3-8 フィールド利用有無情報 登録内容

項番	情報名	内容	指定内容
1	ブランド (注 1)	処理区分 (注 2)	対象ブランドの情報登録の処理区分を選択する
2	Field-SubField (注 3)	処理対象	受信する Field-SubField を選択する
3	Field-SubField (注 3)	利用区分	Field-SubField を、仕向として受信するか被仕向として受信するかを選択する

(注 1) ブランド単位で項番1～3を指定可能です。

(注 2) 同一ブランドでは一度の登録申込で複数の処理区分は選択できません。

(注 3) 各ブランドで利用可能な Field-SubField 分の登録が可能です。

(3)中継制御

CAFISは、中継先の「利用有無契約」に応じて中継します。中継するField-SubFieldが1つも存在しない場合、CAFISはデータ部9-10-4を削除します。

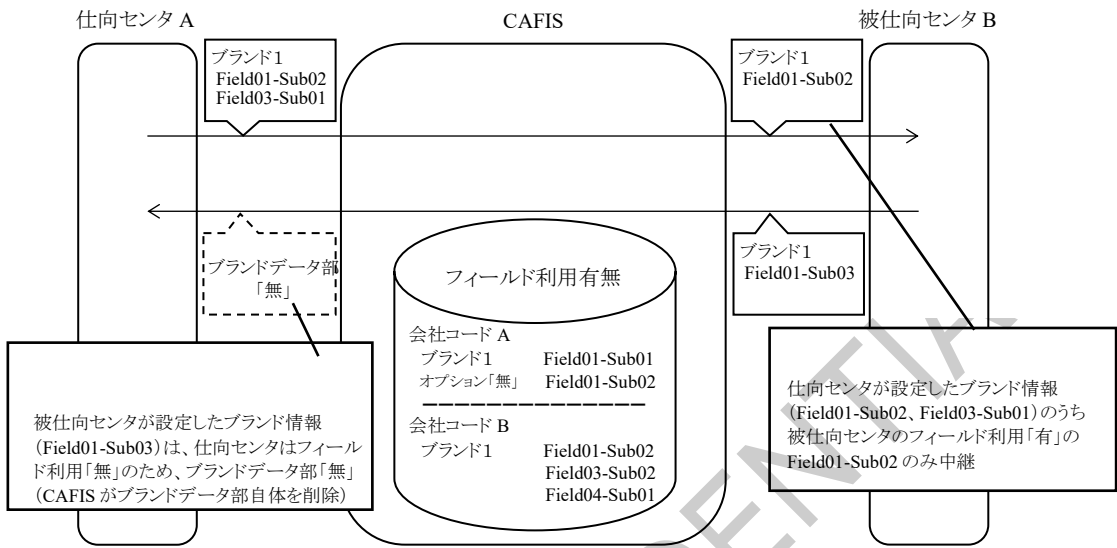


図 3.3-14 中継制御 (基本) 例

中継制御(基本)における、仕向センタ・被仕向センタの接続条件を表 3.3-9 に、CAFIS の中継仕様を表 3.3-10～表 3.3-11 に示します。

表 3.3-9 仕向センタ・被仕向センタ接続条件(基本)

	仕向センタ	被仕向センタ
要求電文	以下の通り、要求電文を送信 ・送信するブランド情報が存在する場合、 ブランドデータ部 9-10-4 のブランド情報に設定 ・送信するブランド情報が存在しない場合、 ブランドデータ部 9-10-4「無」	ブランドデータ部「有」または「無」の要求電文を受信
報告電文	ブランドデータ部「有」または「無」の報告電文を受信	以下の通り、報告電文を送信 ・送信するブランド情報が存在する場合、 ブランドデータ部 9-10-4 のブランド情報に設定 ・送信するブランド情報が存在しない場合、 ブランドデータ部 9-10-4「無」

表 3.3-10 CAFIS の要求時中継処理(基本)

仕向センタ→CAFIS	CAFIS→被仕向センタ
ブランドデータ部 9-10-4「有」	仕向センタが設定したブランド情報が、被仕向センタの「フィールド利用有無」に存在する場合、ブランドデータ部 9-10-4「有」で当該 Field-SubField を中継 (被仕向センタの「フィールド利用有無」に存在しない Field-SubField は中継しません) 仕向センタが設定したブランド情報が、被仕向センタの「フィールド利用有無」に1つも存在しない場合、ブランドデータ部 9-10-4 を削除して中継
ブランドデータ部 9-10-4「無」	ブランドデータ部 9-10-4「無」で中継

表 3.3-11 CAFIS の報告時中継処理(基本)

被仕向センタ→CAFIS	CAFIS→仕向センタ
ブランドデータ部 9-10-4「有」	被仕向センタが設定したブランド情報が、仕向センタの「フィールド利用有無」に存在する場合、ブランドデータ部 9-10-4「有」で当該 Field-SubField を中継 (仕向センタの「フィールド利用有無」に存在しない Field-SubField は中継しません) 被仕向センタが設定したブランド情報が、仕向センタの「フィールド利用有無」に1つも存在しない場合、ブランドデータ部 9-10-4 を削除して中継
ブランドデータ部 9-10-4「無」	ブランドデータ部 9-10-4「無」で中継

(5) 拡張データ部の検索方法

「3.3.5.拡張データ部の取扱」の「(3) 拡張データ部の検索方法」と同様に実施します。

(6) 拡張データ部削除時の電文編集

要求時、報告時ともに、「3.3.5.拡張データ部の取扱」の「(4) 拡張データ部削除時の電文編集」の「(1) 要求電文時（一般要求・取消(再)指令・取消確認(再)指令)」の①～③と同様に実施します。

VTTDATA CONFIDENTIAL

3.4 チェック仕様

加盟店ショッピング業務における業務固有のCAFISでのチェック内容について表 3.4-1、表 3.4-2 に示します。

尚、他のCAFIS共通のチェック条件については「CAFIS接続条件設計書(業務共通編)」を参照してください。

(1) 拡張データ部存在チェック

表 3.4-1 拡張データ部チェック内容

項番	業務	チェック内容	エラーコード
1	与信	データ部 1-1・カード区分=5, 6 のとき、データ部 9-6-1 が存在しないこと	C 3 4 電文種別 : 8 9 7 0
2		データ部 1-0・電文送信区分=4 の時に、データ部 9-7-1、9-6-1 が存在しないこと	
3		データ部 9-1-3 が存在する場合、 ・データ部 9-1-2・3DSecure2 用データ部表示=1 であること ・データ部 9-1-2 の直後に設定されていること	
4		データ部 9-7-4 が存在しないこと	
5	売上	データ部 1-1・カード区分=5, 6 のとき、データ部 9-6-1 が存在しないこと	
6		データ部 9-7-4 が存在する場合、データ部 1-0・電文送信区分=4 であること	
7		データ部 1-0・電文送信区分=4 のとき、データ部 9-6-1、または 9-7-1 が存在しないこと	
8		データ部 9-1-3 が存在する場合、 ・データ部 9-1-2・3DSecure2 用データ部表示=1 であること ・データ部 9-1-2 の直後に設定されていること	
9	取消	データ部 9-6-1 が存在しないこと	
10		データ部 9-7-4 が存在する場合、データ部 1-0・電文送信区分=4 であること	
11		データ部 1-0・電文送信区分=4 のとき、データ部 9-7-1、9-6-1 が存在しないこと	

(2) IC関連データ妥当性チェック

表 3.4-2 IC関連データチェック内容

項番	業務	チェック内容	エラーコード
1	—	データ部1-1・カード区分=5, 6の場合、与信・売上・取消のいずれかであること	C34 電文種別 :8970
2	与信 売上 取消	データ部1-1・カード区分=5, 6の場合で、データ部9-7-1が存在した場合、データ部9-7-1・PAN入力モードが‘05’または‘07’であること データ部1-1・カード区分≠5, 6の場合で、データ部9-7-1が存在した場合、データ部9-7-1のPAN入力モードが‘05’または‘07’ではないこと	
3	与信 取消	・電文送信区分=2の場合、 データ部1-1・カード区分=5, 6の場合で、データ部9-7-1が存在した場合、データ部9-7-1・IC関連データ中の格納データレグスが0000であること ・電文送信区分=1の場合 データ部9-7-1が存在した場合、データ部9-7-1・IC関連データ中の格納データレグスが0000であること	
4	売上	データ部1-1・カード区分=5, 6の場合で、データ部9-7-1が存在した場合、データ部1-0・電文送信区分=1, 4のとき、データ部9-7-1・IC関連データ中の格納データレグスが0000であること	
5	取消	データ部1-0・電文送信区分=1, 4の場合でデータ部9-7-4が存在した場合、IC関連データ中の格納データレグスが0000であること	
6	与信 売上 取消	データ部9-7-1・フォーマット種別=Bであること	
7	アドバイス	データ部9-7-3・フォーマット種別=Bであること	
8	売上 取消	データ部9-7-4・フォーマット種別=Bであること	

3.5 エラーコード

(1) CAFISで使用するエラーコード

エラーコード	事象	エラーの内容および原因	エラー発生時の想定される対応
C 0 1	被仕向会社コードエラー	要求電文中の被仕向会社コードがCAFISセンタに登録されていない場合。	仕向センタにて処理を中止し、被仕向会社コードが誤っていないか確認する。
C 0 3	最大電文長エラー	要求電文の電文長が規定値を超えている場合。	仕向センタは処理を中止し電文長が規定値を超えていないか確認する。
C 1 2	被仕向センタビジー	被仕向センタの経路が全て使用中の場合。	再度当該電文を送信する。
C 1 3	被仕向センタ障害中	被仕向センタが障害中の場合。	処理を中止する。
C 1 4	被仕向センタ個別終了	被仕向センタが終了している場合。	処理を中止する。
C 1 5	CAFISセンタ終了	CAFISセンタのオンラインが終了している場合。	処理を中止し、オンライン開始後当該電文を送信する。
C 1 7	エンコード不正	接続手順で許容されているエンコード種別を設定していない。 エンコード種別＝1 (Base64) の時、Base64で規定されている文字以外を使用した	処理を中止し、調査する。
C 3 3	CAFIS輻輳中	CAFISが輻輳している場合	再度当該電文を送信する。
C 3 4	加盟店ショッピングデータフォーマット不正	加盟店ショッピング業務のフォーマットが正しくない場合。	仕向センタにて処理を中止し、電文に誤りがないか確認する。
C 3 5	アドバイス電文受信済	アドバイス電文に対する取消確認（再）指令受信時、元取引に対するアドバイス電文処理が正常に完了している場合	取消確認報告を受信し、処理を終了させる。 （アドバイス電文の再送は不要）
C 5 0	タイムアウト	CAFISセンタでタイムアウトを検出した場合	当該処理を完了する。
C 5 1	経路重複	使用中の仕向経路で再度電文を受信した場合	当該電文の処理を中止し仕向センタにて同一経路で電文を送信していないか確認する。
C 5 3	仕向会社コードエラー	仕向会社コードが受信した会社と異なる場合。	仕向センタにて処理を中止し、仕向会社コードに誤りがないか確認する。
C 5 4	電文種別エラー	CAFISセンタのサービス対象外の電文種別を受信した場合。	仕向センタにて処理を中止し、電文種別に誤りがないか確認する。
C 5 5	経路範囲外エラー	当該仕向センタで保有する経路範囲外の場合。	仕向センタにて処理を中止し、定義されている経路範囲外の要求電文を送信していないか調査する。
C 5 6	電文対応エラー	保障項目が保証されていない場合。	仕向センタにて処理を中止し、電文内容に誤りがないか確認する。
C 5 7	当該会社サービスなし	当該被仕向センタで対センタ間サービスを行っていない場合。	仕向センタにて処理を中止し、電文内容に誤りがないか確認する。
C 5 8	ニューメリックチェックエラー	ニューメリックチェックでエラーとなった場合。	仕向センタにて処理を中止し、ニューメリック項目に数字以外が設定されていないか確認する。
C 6 0	受信不可能状態で電文受信	受信不可能状態で電文を受信した場合。 （個別終了中、障害中のセンタから要求電文を受信した場合）	再開要求を送信しCAFISとのステータスをオンラインにしたのち、再度電文を送信する。

(2) 被仕向センタにて拒否報告応答時に使用するGXXエラーコード(推奨)

使用するエラーコードは、提携会社間で調整の上決定してください。

本表で指定しているレスポンスコードはあくまでも設定例です。設定するカード会社センタにより設定内容が異なる場合がありますので、仕向センタにおいて、エラーコードとの関連チェックは実施しないでください。

エラーコード	事象	エラーの内容および原因	レスポンスコード
G 1 2	カード使用不可	カードが使用不可である。	0 5
G 3 0	取引判定保留（有人判定）	取引の判定が保留と見なされた。	0 1
G 4 2	暗証番号エラー	お客様の入力した暗証番号が誤っていた。	5 5
G 4 4	セキュリティコード誤り	セキュリティコードが正しくない。	9 6
G 4 5	セキュリティコード入力無	セキュリティコードの入力が行われていない。	9 6
G 4 6	J I S 2 面情報エラー	J I S 2 面情報が正しく設定されていない。	9 6
G 5 4	1 口座利用回数又は金額オーバー	1 日の利用回数または金額をオーバーしている。	5 1
G 5 5	1 日利用限度額オーバー	1 日の利用限度額をオーバーしている。	5 1
G 5 6	クレジットカード取り込み	無効カードが使用され、カードの取り込みが必要である。	0 4
G 6 0	事故カード	事故カードが使用された	0 4
G 6 1	無効カード	無効カードが使用された	0 4
G 6 5	会員番号エラー	会員番号の入力が誤っていた。	1 4
G 6 7	商品コードエラー	商品コードの入力が誤っていた。	1 2
G 6 8	金額エラー	金額の入力が誤っていた。	1 3
G 6 9	税送料エラー	税・その他の入力が誤っていた。	1 3
G 7 0	ボーナス回数エラー	ボーナス回数の入力が誤っていた。	1 2
G 7 1	ボーナス月エラー	ボーナス月の入力が誤っていた。	1 2
G 7 2	ボーナス額エラー	ボーナス額の入力が誤っていた。	1 2

エラーコード	事象	エラーの内容および原因	レスポンスコード
G 7 3	支払開始月エラー	支払開始月の入力が誤っていた。	1 2
G 7 4	分割回数エラー	分割回数の入力が誤っていた。	1 2
G 7 5	分割金額エラー	分割払いの下限額を下回っていた。	1 2
G 7 6	初回金額エラー	初回金額の入力が誤っていた。	1 2
G 7 7	業務区分エラー	業務区分が誤っていた。	1 2
G 7 8	支払区分エラー	支払方法の入力が誤っていた。	1 2
G 7 9	照会区分エラー	照会区分が誤っていた。	1 2
G 8 0	取消区分エラー	取消区分の入力が誤っていた。	1 2
G 8 1	取扱区分エラー	取扱区分が誤っていた。	1 2
G 8 3	有効期限エラー	有効期限切れのカードが使用された。	5 4
G 8 5	サービス対象外カード	利用できないカードが使用された。	9 6
G 9 5	当該業務オンライン終了	当該業務が終了している。	9 1
G 9 6	事故カードデータエラー	事故カードデータにエラーがある。	9 6
G 9 7	当該要求拒否	何らかの理由により要求電文を処理できない。	1 2
G 9 8	当該自社対象業務エラー	対象業務以外の電文を受信した。	1 2
G 9 9	接続要求自社受付拒否	契約のないセンタからデータを受信した。	9 6

(Blank Page)

<付録> I C 関連データ設定内容（参考値）

加盟店ショッピング業務で使用する I C 関連データの設定内容について以降に示します。

尚、本資料は、各ブランド毎に規定されているアプリケーション仕様を参考に作成しているため、内容が変更になる場合があります。

CAFISでは、I C 関連データについては設定項目および内容の妥当性についてはチェックは行いません。（イシュー認証代行サービスにおいて必要な項目については受信内容をチェックします。）

<目次>

1.	データ部9-7-1 IC関連データ（IC オンラインオーソリ売上）	<付>1-1
1.1	要求電文	<付>1-1
1.2	報告電文	<付>1-2
2.	データ部9-7-3 IC関連データ（アドバイス要求）	<付>2-1
2.1	要求電文	<付>2-1
3.	データ部9-7-4 IC関連データ（IC 売上結果通知）	<付>3-1
3.1	要求電文	<付>3-1

(Blank Page)

修正履歴		資料名	C A F I S 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編<付録>		
項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
1	1.1 IC 関連データの内容 (VISA アプリケーション) (1) ① 要求電文 項番 4 として「暗号情報データ (Tag:9F27)」を追加 以降項番をずらす。	記述もれ	付録 1. 1-1	同左	2001. 11.01
2	1.3 IC 関連データの内容 (国内アプリケーション) (1) ① 要求電文 項番 18 の AID (Tag:4F) を削除し、以降の項番を繰り上げ	誤記	付録 1.3-1	同左	2002.2
3	2.1 IC 関連データの内容 項番1 AIDの Tag 値を修正 4F→84	変更	付録 2.1-1	同左	2002.2
4	1.4 IC 関連データの内容 (JCB アプリケーション)	追加	付録 1.4-1		2002.5
5	1.5 IC 関連データの内容 (AMEX アプリケーション)	追加	付録 1.5-1		2002.5
6	<div>ICクレジット 本格開始に伴う全取扱アプリケーションへの対応に伴う様式変更</div> (1)構成変更 1. データ部 9-7-1 の IC 関連データ (IC オンライン専用用) 2. データ部 9-7-3 の IC 関連データ (IC アドバイス要求用) 3. データ部 9-7-4 の IC 関連データ (IC 売上結果通知用) (2)内容 1. データ部 9-7-1 の IC 関連データ (IC オンライン専用用) 各ブランドアプリケーション仕様をもとに、IC 関連データ設定項目を規定。取扱については基本的に設定可能な場合は必ず設定するという方針とした。 2. データ部 9-7-3 の IC 関連データ (IC アドバイス要求用) 3. データ部 9-7-4 の IC 関連データ (IC 売上結果通知用) 全ブランドアプリケーション共通とする。 各項目に対する取扱については、設定可能な場合には必ず設定するという方針とした。	様式変更 項目追加	全頁		2002.6
7	2.1 データ部 9-7-3 IC 関連データ (アドバイス要求) 項番 21 DF7F の属性およびレングスの修正 (旧) 属性 b..60 レングス max60 (新) 属性 b5 × 2 レングス max10 項番 22 5F34 のデータ名称および属性の修正 (旧) データ名称 アプリケーション PAN シーケンスカウンタ 属性 b1 (新) データ名称 PAN シーケンスナンバー 属性 n2	誤記修正	付録 2.1-1	同左	2003.3
8	3.1 データ部 9-7-4 IC 関連データ (IC 売上結果通知) 項番 25 9F08 (ICC アプリケーションバージョン番号) の追加	CARDNET センタ相互 接続のため	付録 3.1-1	同左	
9	3.1 データ部 9-7-4 IC 関連データ (IC 売上結果通知) 項番21 データ名称の修正 (旧) カード通番 (新) PAN シーケンスナンバー	誤記修正	付-5	同左	2005.4
10	1.1 データ部 9-7-1 IC 関連データ (IC オンライン専用売上) 項番 32、33 Visa payWave に関する IC 関連データを追加	追加	付-1	同左	2013.04
11	1. データ部 9-7-1 IC 関連データ (IC オンライン専用売上) 項番 16 非接触決済 J/Speedy、American Express®Contactless の場合、設定することが可能となる (注 5) を追加	追加	付-1	同左	2015.12

修正履歴		資料名	C A F I S 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編<付録>			
項番	修 正 内 容		修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月
12	1. データ部 9-7-1 IC 関連データ(IC オンラインオーソリ売上) 2. データ部 9-7-3 I C 関連データ (アドバイス要求) 3. データ部 9-7-4 I C 関連データ (IC 売上結果通知) Diners アプリケーションに関する記述を修正		D-PAS の サービス開始	付-1 付-3 付-5	同左	2015.12
13	1. データ部 9-7-1 IC 関連データ(IC オンラインオーソリ売上) 2. データ部 9-7-3 I C 関連データ (アドバイス要求) JCB アプリケーションに関する記述を修正		追加	付-1 付-3	付-1 付-3	2020.03
14	1. データ部 9-7-1 IC 関連データ(IC オンラインオーソリ売上)		追加	付-1	付-1	2025.03

1. データ部9-7-1 IC関連データ (IC オンラインオーソリ売上)

1.1 要求電文

項番	Tag	データ名称	属性	レングス (バイト)	VISA アプリケ-ション (VSDC)	MasterCard アプリケ-ション (M/Chip)	JCB アプリ リケ-ション (注3) (J/Smart)	AMEX アプリケ-ション (AMEIPS)	Diners アプリ ケ-ション	国内クレジット アプリケ-ション 検討協議会
1	9F26	アプリケ-ション暗号文	Application Cryptogram	b8	8	○	○	○	○	○
2	9F27	暗号情報データ	Cryptogram Information Data	b1	1	○	○	○	—	○
3	9F10	発行者アプリケ-ションデータ	Issuer Application Data	b...32	max32	○	○	○	○	○
4	9F37	予測不能数	Unpredictable Number	b4	4	○	○	○	○	○
5	9F36	アプリケ-ション取引カウンタ	Application Transaction Counter	b2	2	○	○	○	○	○
6	95	端末検証結果	Terminal Verification Result	b5	5	○	○	○	○	○
7	9A	取引日付	Transaction Date	cnr6	3	○	○	○	○	○
8	9C	取引種別	Transaction Type	cnr2	1	○	○	○	○	○
9	9F02	取引金額	Amount, Authorized	cnr12	6	○	○	○	○	○
10	5F2A	取引通貨コード*	Transaction Currency Code	cnr3	2	○	○	○	○	○
11	82	アプリケ-ション交換プロファイル	Application Interchange Profile	b2	2	○	○	○	○	○
12	9F1A	端末国コード*	Terminal Country Code	cnr3	2	○	○	○	○	○
13	9F03	金額, その他	Amount, Other	cnr12	6	○	○	○	○	○
14	9F33	端末能力	Terminal Capabilities	b3	3	○	○	—	—	○
15	9F34	CVM 結果	CVM Results	b3	3	○	○	○	—	○
16	9F35	端末タイプ	Terminal Type	cnr2	1	—	○	(注5)	—	○
17	9F1E	IFD シリアルナンバー	IFD Serial Number	an8	8	○	○	—	—	○
18	5F25	アプリケ-ション開始日付	Application Effective Date	cnr6	3	—	—	○	—	—
19	5A	アプリケ-ション PAN	Application PAN	cn...19	max10	○	○	○	—	○
20	5F24	アプリケ-ション有効期限	Application Expiration Date	cnr6	3	○	○	○	—	○
21	9F21	取引時刻	Transaction Time	cnr6	3	○	○	○	—	○
22	9F07	アプリケ-ション使用制御	Application Usage Control	b2	2	○	○	○	—	○
23	9F0D	イシューアクションコード* - デフォルト	Issuer Action Code - Default	b5	5	○	○	○	—	○
24	9F0E	イシューアクションコード* - 拒否	Issuer Action Code - Denial	b5	5	○	○	○	—	○
25	9F0F	イシューアクションコード* - オンライン	Issuer Action Code - Online	b5	5	○	○	○	—	○
26	9F09	端末アプリケ-ションバージョン番号	Terminal Application Version Number	b2	2	○	○	○	—	○
27	9F08	ICC アプリケ-ションバージョン番号	IC Card Application Version Number	b2	2	○	○	○	—	○
28	8E	CVM List	CVM List	b...252	max252	—	—	—	—	—
29	9F41	取引シーケンスカウンタ	Transaction Sequence Counter	b2to4	max4	—	○	—	—	—
30	9F53	取引分類コード*	Transaction Category Code	b1	1	—	○	—	—	—
31	9F53	チャージタイプコード*	Charge Type Code	b1	1	—	—	—	—	—
32	9F7C	CED	Customer Exclusive Data	b...32	max32	(注4)	—	—	—	—
33	9F6E	FFI	Form Factor Indicator	b...32	max32	○	○	—	—	—

(注1) 表中の凡例 ○: 設定可能な状態である場合には必ず設定 —: ブランド仕様上規定されていない (電文中に設定することは可)

尚、○項目について CAFIS ではイシュー認証代行サービスに必要な項目を除き、チェックを実施しません。

(注2) AID(Tag:84 または 4F) および PAN シーケンスナンバー(Tag:5F34) および POS エントリーモード(Tag:9F39) については、データ部 9-7-1 の IC 関連データ以外のエリアに設定します。

(注3) 当該情報は、株式会社ジェーシービーにより作成された J/Smart に関する情報であり、一切の著作権は株式会社ジェーシービーが有し、無断で複製および転写をすることは禁じられています。

(注4) 非接触決済 Visa payWave の場合、設定することが可能。

(注5) 非接触決済 American Express®Contactless の場合、設定することが可能。

1.2 報告電文

項番	Tag	データ名称		属性	長さ (バイト)	VISA アプリケーション (VSDC)	MasterCard アプリケーション (M/Chip)	JCB アプリケーション (注3) (J/Smart)	AMEX アプリケーション (AMEIPS)	Diners アプリケーション	国内クレジット アプリケーション 検討協議会
1	91	発行者認証データ	Issuer Authentication Data	b10	10	△	△	△	△	△	△
2	71	イシュアスクリプトテンプレート1	Issuer Script Template 1	b..128	max128	—	△	△	△	△	△
3	72	イシュアスクリプトテンプレート2	Issuer Script Template 2	b..128	max128	△	△	△	△	△	△

(注 1) 表中の凡例 △：設定可能な状態である場合には設定 —：ブランド仕様上規定されていない（電文中に設定することは可）
(注 2) 当該情報は、株式会社ジェーシービーにより作成された J/Smart に関する情報であり、一切の著作権は株式会社ジェーシービーが有し、無断で複製および転写をすることは禁じられています。

2. データ部9-7-3 IC関連データ (アドバイス要求)

2.1 要求電文

項番	Tag	データ名称		属性	レングス (バイト)	全ブランド共通
1	9F26	アプリケション暗号文	Application Cryptogram	b8	8	○
2	9F27	暗号情報データ	Cryptogram Information Data	b1	1	○ (注3)
3	9F10	発行者アプリケションデータ	Issuer Application Data	b..32	max32	○
4	9F37	予測不能数	Unpredictable Number	b4	4	○
5	9F36	アプリケション取引カウンタ	Application Transaction Counter	b2	2	○
6	95	端末検証結果	Terminal Verification Result	b5	5	○
7	9A	取引日付	Transaction Date	cnr6	3	○
8	9C	取引種別	Transaction Type	cnr2	1	○
9	9F02	取引金額	Amount, Authorized	cnr12	6	○
10	5F2A	取引通貨コード	Transaction Currency Code	cnr3	2	○
11	82	アプリケション交換プロファイル	Application Interchange Profile	b2	2	○
12	9F1A	端末国コード	Terminal Country Code	cnr3	2	○
13	9F03	金額、その他	Amount, Other	cnr12	6	○
14	9F33	端末能力	Terminal Capabilities	b3	3	○
15	9F34	CVM 結果	CVM Results	b3	3	○
16	9F35	端末タイプ	Terminal Type	cnr2	1	○
17	8A	オーソリゼーション報告コード	Authorization Response Code	an2	2	○
18	9F1E	IFDシリアルナンバー	IFD Serial Number	an8	8	○
19	5F25	アプリケション開始日付	Application Effective Date	cnr6	3	○
20	5A	アプリケションPAN	Application PAN	cn..19	max10	○ (注3)
21	DF7F	イシューアスクリプト結果	Issuer Script Result	b5 ×2	Max10	○
22	5F34	PANシーケンスナンバー	Application PAN Sequence Counter	n2	1	○
23	5F24	アプリケション有効期限	Application Effective Date	cnr6	3	○
24	9F21	取引時刻	Transaction Time	cnr6	3	○
25	9F07	アプリケション使用制御	Application Usage Control	b2	2	○
26	9F0D	イシューアクションコード - デフォルト	Issuer Action Code - Default	b5	5	○
27	9F0E	イシューアクションコード - 拒否	Issuer Action Code - Denial	b5	5	○
28	9F0F	イシューアクションコード - オンライン	Issuer Action Code - Online	b5	5	○
29	9F09	端末アプリケションバージョン番号	Terminal Application Version Number	b2	2	○
30	9F08	ICC アプリケションバージョン番号	IC Card Application Version Number	b2	2	○
31	9F60	イシューアスクリプト結果	Issuer Script Results	b5/b10	5/10	(注4)

(注1) 表中の凡例 ○：設定可能な状態である場合には必ず設定 —：ブランド仕様上規定されていない（電文中に設定することは可）

(注2) AID(Tag:84 または 4F)およびPOS エントリモード(Tag:9F39)については、データ部 9-7-3 の IC 関連データ以外のエリアに設定します。

(注3) Diners アプリケーションの場合、設定は任意

(注4) JCB アプリケーションの場合のみ設定

(Blank Page)

3. データ部9-7-4 IC関連データ (IC 売上結果通知)

1.1 要求電文

項番	Tag	データ名称		属性	長さ (バイト)	全ブランド共通
1	84	A I D	Application Identifier	b..16	max16	○
2	9F26	アプリケーション暗号文	Application Cryptogram (AC)	b8	8	○
3	9F27	暗号情報データ	Cryptogram Information Data	b1	1	○ (注2)
4	9F10	発行者アプリケーションデータ	Issuer Application Data (IAD)	b..32	max32	○
5	9F37	予測不能数	Unpredictable Number	b4	4	○
6	9F36	アプリケーション取引カウンタ	Application Transaction Counter	b2	2	○
7	95	端末検証結果	Terminal Verification Result (TVR)	b5	5	○
8	9A	取引日付	Transaction Date	n6	3	○
9	9C	取引種別	Transaction Type	n2	1	○
10	9F02	取引金額	Amount, Authorized (Numeric)	n12	6	○
11	5F2A	取引通貨コード	Transaction Currency Code	n3	2	○
12	82	アプリケーション交換プロファイル	Application Interchange Profile	b2	2	○
13	9F1A	端末国コード	Terminal Country Code	n3	2	○
14	9F03	金額、その他	Amount Other (Numeric)	n12	6	○
15	8A	オーソリゼーション報告コード	Authorization Response Code	an2	2	○
16	9F33	端末能力	Terminal Capabilities	b3	3	○
17	9F35	端末タイプ	Terminal Type	n2	1	○
18	9F34	CVM結果	CVM Result	b3	3	○
19	5A	アプリケーションPAN	Application PAN	Cn..19	max10	○ (注2)
20	9F21	取引時間	Transaction Time	n6	3	○
21	5F34	PAN シーケンスナンバー	Application PAN Sequence Number	n2	1	○
22	9F1E	I F Dシリアル番号	Interface Device (IFD) Serial Number	an8	8	○
23	5F25	アプリケーション開始日付	Application Effective Date	n6	3	○
24	DF7F	イシュアスクリプト結果	Issuer Script Result	b..5	max5	○
25	9F08	ICC アプリケーションバージョン番号	IC Card Application Version Number	b2	2	○

(注1) 表中の凡例 ○：設定可能な状態である場合には必ず設定 —：ブランド仕様上規定されていない（電文中に設定することは可）

(注2) Diners アプリケーションの場合、設定は任意

(Blank Page)

<付録 2> ブランド情報取り扱い項目一覧

ブランドデータ部（9-10-4）のブランド情報に設定可能な各ブランドの Field-SubField について示します。

尚、本資料は、各ブランド毎に規定されているアプリケーション仕様を参考に作成しているため、内容が変更になる場合があります。

CAFISでは本書で規定している Field-SubField のみ利用可能です。

CAFISでは、ブランド情報について設定項目および内容の妥当性のチェックは行いません。

<目次>

1.	VISA	<付>1-1
1.1	IC 取引以外での POS エントリーモードの設定	<付>1-2
1.2	MIT 時の CIT と紐づけ情報の設定	<付>1-2
1.3	INAPP/COF トークン取引時に必要な情報	<付>1-2
1.4	トークン取引かつ 3D-SECURE 取引の TAVV の設定	<付>1-4
2.	MASTERCARD	<付>2-1
2.1	IC 取引以外での POS エントリーモードの設定	<付>2-1
2.2	MIT 時の CIT と紐づけ情報の設定	<付>2-2
2.3	トークン取引かつ 3D-SECURE 取引の TAVV の設定	<付>2-2
3.	JCB	<付>2-2
4.	ID	<付>2-2

(Blank Page)

修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 加盟店ショッピング業務・基本接続編<付録2>			
項番	修 正 内 容	修正理由	修正頁	旧 頁	修正年月	
1	新規作成	-	-	-	2021.9	
2	VISA の Field22 SubField0 のレングスを修正	誤記修正	付録 2 1-1	付録 2 1-1	2022.6	
3	MasterCard の Field,Subfield を新規追加	サービス追加	付録 2 2-1	付録 2 2-1	2022.6	
4	各ブランドレギュレーションに応じた、ブランドデータ部 9-10-4 の基本的な使い方を追加。 ※詳細は各ブランドレギュレーションをご確認の上、仕向／被仕向間で確認・調整してください	記述改善	付録 2 1-1 付録 2 1-2 付録 2 1-3 付録 2 2-1	付録 2 1-1 付録 2 1-2 付録 2 1-3 付録 2 2-1	2022.9	
5	VISA の Field,Subfield を新規追加(項番 10)	サービス追加	付録 2 1-1	付録 2 1-1	2023.4	
6	1-3 inApp/COFトークン取引時に必要な情報 加盟店からカード会社への要求電文に設定する項目に以下を追加 ・Additional Authorization Indicator	サービス追加	付録 2 1-3	付録 2 1-3		
7	VISA、MasterCard の MIT 時の CIT と紐づけ情報の設定に CIT/MIT 取引の留意事項を追加	記述追加	付録 2 1-2 付録 2 2-2	付録 2 1-2 付録 2 2-2		
8	表 付録 2 1-1 VISA ブランド情報 に Field39 を追加 表 付録 2 1-1 VISA ブランド情報 の Field の並び順を変更 表 付録 2 1-1 VISA ブランド情報 の Field104 を追加	記述追加	付録 2 1-1	付録 2 1-1	2024.4	
9	表 付録 2 1-1 VISA ブランド情報 に項番 9,10 を追加 表 付録 2 2-1 Mastercard ブランド情報 に項番 1,4 を追加	記述追加	付録 2 1-1 付録 2 2-1	付録 2 1-1 付録 2 2-1	2025.3	

(Blank Page)

1. VISA

VISA ブランドのブランド情報に設定可能な Field-SubFieldを示します。

表 付録 2 1-1 VISA ブランド情報(1/2)

[illegible]

表 付録 2 1-1 VISA ブランド情報(2/2)

項番	FieldNo	SubFieldNo	Length	Value
13	'0x7B' ('123')	'0x00' ('0')	可変 (注 3)	Visa レギュレーションの Field 123(Verification Data)の値を「Dataset ID (1 byte) + Dataset length (Binary, 2 byte) + Verification Data TLV elements (可変長)」形式で設定 (例) Dataset ID 68 (Token data)、Tag 03 (Token Requestor ID) Token Requestor ID = 9999999999 (11byte) の場合 '0x68000D030BF9F9F9F9F9F9F9F9F9F9'
14	'0x7E' ('126')	'0x08' ('8')	'0x14' (20 byte)	・Visa レギュレーションの Field 126.8(Transaction ID(XID))の値を Binary で設定。(注 4) ・Token Authentication Verification Value の値を Binary で設定。(注 2)

(注 1) データ部 9-7-1 が存在しない場合のみ設定。データ部 9-7-1 が存在する場合は「POS エントリーモード」に設定。

(注 2) Token 取引かつ 3D-Secure 取引の場合のみ設定。Token 取引のみの場合はデータ部 9-1-2 の「Token Authentication Verification Value」エリアに設定。

(注 3) Value 全体の byte 数をバイナリで設定。

(注 4) 3D-Secure 取引の Transaction ID(XID)については、データ部 9-1-2 (3-D Secure 用)の「Transaction Identifier」項目に設定。

1.1 IC 取引以外での POS エントリーモードの設定

データ部 9-7-1 が存在しない取引において POS エントリーモードを設定する必要がある場合、Point-of-Service Entry Mode Code (Visa レギュレーションの Field 22) はデータ部 9-10-4 に設定してください。

1.2 MIT 時の CIT と紐づけ情報の設定

MIT (加盟店実施の取引) ではカード保有者検証が実施されませんが、トークン取引の場合はカード保有者検証結果が存在しない取引は VISA のネットワークで承認されません。

このケース「MIT かつトークン取引」の対応として、CIT (カードホルダー実施の取引) と紐づけることによりカード保有者検証の割愛が許容されています。紐づけに必要な以下の値はデータ部 9-10-4 に設定してください。

- ・Transaction Identifier (Visa レギュレーションの Field 62.2) ※CIT 時にブランドから受信し、MIT 時に設定
- ・Message Reason Code (Visa レギュレーションの Field 63.3) ※MIT 時に設定

1.2.1 CIT/MIT 取引の留意事項

CIT/MIT 取引におけるユースケースにより、各設定値の設定方法が異なるため、以下に参考情報を記載します。
(詳細はブランドルールをご確認ください。)

分類	ユースケース	補足説明	データ部 1-0 取引種別	Field22	Field62.2	Field63.3	データ部 9-1-2.TAVV または Field126.8
CIT	ゲストチェックアウト	会員がカード番号を入力して購入	0	10 以外	—	—	要(※4)
	COF 登録 CIT	会員がカード番号を入力して MIT の登録または初回支払をする	0,R,C(※1)	10 以外	※2	—	要(※4)
	COF CIT	会員が加盟店に登録済みのカード番号(トークン番号)を利用して購入	0	10	—	—	要(※4)
MIT	継続払い	加盟店が登録されたカード番号(トークン番号)を利用して継続払いを行う	R,C	10	要(※3)	—	—
	業界慣行による後続処理	加盟店が登録されたカード番号(トークン番号)を利用して後続オーソリを行う	0	01,10	要(※3)	要	—

※1 後続 MIT で使用する種別を設定する

※2 応答時の値を後続 MIT に利用するため、仕向センタ側で管理が必要となる

※3 対応する CIT 取引の応答時の値を設定する

※4 トークン取引の場合は TAVV を設定する

1.3 inApp/COFトークン取引時に必要な情報

inApp/COFトークン取引では、以下の情報が Visa レギュレーション上必要となります。

1.3.1 加盟店からカード会社への要求電文

- ・Point-of-Service Entry Mode Code (Visa レギュレーションの Field 22)
- ・Token Requestor ID (Visa レギュレーションの Field 123、Dataset ID 68、Tag 03)
- ・Token Authentication Verification Value (「1.4 トークン取引かつ 3D-Secure 取引の TAVV の設定」参照)
- ・POS Environment (Visa レギュレーションの Field 126.13) (※)
- ・Additional Authorization Indicator (Visa レギュレーションの Field 60.10)

(※) データ部 1-0 の「取引種別」に設定

1.3.2 カード会社から加盟店への報告電文

- ・Authentication Program (Visa レギュレーションの Field 34、Dataset ID 01、Tag C0)
- ・Additional Token Response Information (Visa レギュレーションの Field 44.3)
- ・Primary Account Number, Last Four Digits for Receipt (Visa レギュレーションの Field 44.15)
- ・Payment Account Reference (Visa レギュレーションの Field 56、Dataset ID 01、Tag 01)

1.4 トークン取引かつ 3D-Secure 取引の TAVV の設定

トークン(inApp、COF) 取引ではトークン取引に関する情報をデータ部 9-1-2 に設定します。

ただし、トークン取引かつ 3D-Secure 取引である場合、データ部 9-1-2 には 3D-Secure 取引の情報を設定し、Token Authentication Verification Value (Visa レギュレーションの Field 126.8) の値は、データ部 9-1-2 ではなくデータ部 9-10-4 に設定してください。

2. MasterCard

MasterCard ブランドのブランド情報に設定可能な Field-SubField を示します。

項番	FieldNo (DE)	SubFieldNo (SE)	Length	Value
1	'0x0F' (15')	'0x00' (0')	'0x04' (4 byte)	MasterCard レギュレーションの DE15(Date, Settlement)の値をキャラクタで設定
2	'0x16' (22')	'0x00' (0')	'0x03' (3 byte)	MasterCard レギュレーションの DE22(Point-of-Service (POS) Entry Mode)の値をキャラクタで設定(注 1)
3	'0x30' (48')	'0x16' (22')	可変 (注 3)	MasterCard レギュレーションの DE48.SE22(Multi-Purpose Merchant Indicator)の値(Subfield ID+Subfield Length+Data Field)をキャラクタで設定 (例) Subfield 05 (Cardholder/Merchant Initiated Transaction Indicator) C1:CIT(01:Credential-on-file)の場合、“0504C101”をキャラクタで設定
4	'0x30' (48')	'0x2A' (42')	'0x07' (7 byte) or '0x13' (19 byte)	MasterCard レギュレーションの DE48.SE42(Electronic Commerce Indicators)の値をキャラクタで設定 当該項目におけるレングスは 7or19。パターンについては以下の通り。 ・ECI がグレードダウンされていない場合、SF01 のみあり 7 桁 (例:0103xxx) ・ECI がグレードダウンされた場合、SF01-SF03 があり 19 桁 (例:0103xxx0203yyy0301z)
5	'0x30' (48')	'0x3F' (63')	'0x0F' (15 byte)	MasterCard レギュレーションの DE48.SE63(Trace ID)の値をキャラクタで設定
6	'0x3F' (63')	'0x00' (0')	可変 (注 4)	MasterCard レギュレーションの DE63 (Network Data)の値をキャラクタで設定
7	'0x68' (104')	'0x01' (001')	'0x1C' (28 byte)	MasterCard レギュレーションの DE104.SE001 (Digital Payment Cryptogram)の値をキャラクタ(Base64 エンコード)で設定(注 2)

表 付録 2 2-1 MasterCard ブランド情報

(注 1) データ部 9-7-1 が存在しない場合のみ設定。データ部 9-7-1 が存在する場合は「POS エントリーモード」に設定。

(注 2) Token 取引かつ 3D-Secure 取引の場合のみ設定。Token 取引のみの場合はデータ部 9-1-2 の「Token Authentication Verification Value」エリアに設定。

(注 3) 当該項目におけるレングスは、Subelement length をバイナリ値で設定。

(注 4) 当該項目におけるレングスは、Data Element length をバイナリ値で設定。

2.1 IC 取引以外での POS エントリーモードの設定

データ部 9-7-1 が存在しない取引において POS エントリーモードを設定する必要がある場合、Point-of-Service (POS) Entry Mode (MasterCard レギュレーションの DE22)はデータ部 9-10-4 に設定してください。

2.2 MIT 時の CIT と紐づけ情報の設定

2022 年 10 月 14 日より、トークン、PAN、および COF 取引のそれぞれにおいて Multi-Purpose Merchant Indicator (MasterCard レギュレーションの DE 48, subelement 22, subfield 05) を設定する必要があります。

データ部 9-10-4 の「Value」に、Subfield ID (05 固定) + Subfield Length (04 固定) + Data Field (CIT/MIT Indicator の値) の形式で設定してください。

また、CIT 時の Trace ID を MIT 時に設定する必要がある場合は、データ部 9-10-4 に設定してください。

- Network Data (MasterCard レギュレーションの DE63) ※CIT 時にブランドから受信
- Trace ID (MasterCard レギュレーションの DE48.63) ※MIT 時に CIT 時にブランドから受信した Network Data を設定

2.2.1 CIT/MIT 取引の留意事項

CIT/MIT 取引におけるユースケースにより、各設定値の設定方法が異なるため、以下に参考情報を記載します。
(詳細はブランドルールをご確認ください。)

分類	ユースケース	補足説明	データ部 1-0 取引種別	DE22	DE48.22	DE48.63	DE63	データ部 9-1-2.TAVV また DE104.001
CIT	COF(adhoc)	会員が加盟店にカードを登録、及び会員が加盟店に登録済みのカード番号(トークン番号)を利用して購入	0	10	C101	—	—	要(※4)
	COF 登録 CIT	会員がカード番号を入力して MIT の登録または初回支払をする	0,R,C(※1)	要	C102,C103	—	※2	要(※4)
MIT	継続払い	加盟店が登録されたカード番号(トークン番号)を利用して継続払いを行う	R,C(※5)	10	M101,M102, M103	要(※3)	—	※3
	業界慣行による 後続処理	加盟店が登録されたカード番号(トークン番号)を利用して後続オーソリを行う	0,P	10	M205,M206, M207,M208	要(※3)	—	※3

※1 後続 MIT で使用する種別を設定する

※2 応答時の値を後続 MIT に利用するため、仕向センタ側で管理が必要となる

※3 TAVVを設定できない場合、DE48.63 に対応する CIT 取引の応答時の値を設定する

※4 トークン取引の場合は TAVV を設定する

※5 COF 登録 CIT 時と同じ値を設定する

2.3 トークン取引かつ 3D-Secure 取引の TAVV の設定

トークン(inApp、COF)取引ではトークン取引に関する情報をデータ部 9-1-2 に設定します。

ただし、トークン取引かつ 3D-Secure 取引である場合、データ部 9-1-2 には 3D-Secure 取引の情報を設定し、Digital Payment Cryptogram (MasterCard レギュレーションの DE104.SE001) の値は、データ部 9-1-2 ではなくデータ部 9-10-4 に設定してください。

3. JCB

JCB ブランドのブランド情報に設定可能な Field-SubField は、決定次第掲載します。

4. iD

iD ブランドのブランド情報に設定可能な Field-SubField は、別冊「接続条件設計書(iD サービス編)」に掲載しています

(Blank Page)

VTTDATA CONFIDENTIAL

(Blank Page)

VTTDATA CONFIDENTIAL

CAFIS 接続条件設計書(加盟店ショッピング業務・基本接続編) [第 4.2 版]

令和 7 年 4 月

作成責任者

株式会社NTTデータ

Copyright©2024 NTT DATA Corporation

複製厳禁・無断転載